授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 商品売買Ⅰ 4 商品売買Ⅱ 5 決算整理 6 精算表 7 現金および預金 8 手形 9 有形固定資産の決算整理 10 その他の債権および債務 11 その他の勘定および訂正仕訳 12 有形固定資産の決算整理 13 費用および収益の決算整理 14 株式会社の純資産 15 英米式決算法
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	２級商業簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５０時間、演習１０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表 2 現金預金 3 債権・債務 4 棚卸資産 5 有価証券1 6 有価証券2 7 固定資産1 8 固定資産2 9 固定資産3 10 固定資産4 11 債務保証 12 引当金 13 収益と費用 14 為替換算会計 15 株式会社の純資産 16 企業結合 17 確認テスト（第1回） 18 税金1 19 税金2 20 伝票と帳簿 21 決算1 22 決算2 23 本支店会計1 24 本支店会計2 25 連結会計1 26 連結会計2 27 連結会計3 28 連結会計4 29 連結会計5 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	２級工業簿記基礎Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５０時間、演習１０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系 3 材料費会計 4 労務費会計 5 経費会計 6 製造間接費会計 7 製造間接費差異の原因別分析 8 単純個別原価計算 9 工企業の財務諸表 10 確認テスト（第1回） 11 部門別計算1 12 部門別計算2 13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系 14 単純総合原価計算 15 工程別総合原価計算 16 組別総合原価計算 17 等級別総合原価計算 18 減損および仕損 19 標準原価計算1 20 標準原価計算2 21 標準原価計算3 22 CVP分析1 23 CVP分析2 24 直接原価計算 25 工業簿記総まとめ1 26 工業簿記総まとめ2 27 工業簿記総まとめ3 28 工業簿記総まとめ4 29 工業簿記総まとめ5 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	２級簿記総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義１０時間、演習８０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記２級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1	24	総合問題対策6（商業簿記と工業簿記）
2	商業簿記総まとめ2	25	総合問題対策7（商業簿記と工業簿記）
3	商業簿記総まとめ3	26	総合問題対策8（商業簿記と工業簿記）
4	商業簿記総まとめ4	27	総合問題対策9（商業簿記と工業簿記）
5	商業簿記総まとめ5	28	総合問題演習1（テスト形式）
6	商業簿記総まとめ6	29	総合問題演習2（テスト形式）
7	商業簿記総まとめ7	30	総合問題演習3（テスト形式）
8	商業簿記総まとめ8	31	総合問題演習4（テスト形式）
9	商業簿記総まとめ9	32	総合問題演習5（テスト形式）
10	商業簿記総まとめ10	33	総合問題演習6（テスト形式）
11	商業簿記総まとめ11	34	総合問題演習7（テスト形式）
12	商業簿記総まとめ12	35	総合問題演習8（テスト形式）
13	工業簿記・原価計算総まとめ1	36	総合問題演習9（テスト形式）
14	工業簿記・原価計算総まとめ2	37	総合問題演習10（テスト形式）
15	工業簿記・原価計算総まとめ3	38	総合問題演習11（テスト形式）
16	工業簿記・原価計算総まとめ4	39	総合問題演習12（テスト形式）
17	工業簿記・原価計算総まとめ5	40	総合問題演習13（テスト形式）
18	工業簿記・原価計算総まとめ6	41	総合問題演習14（テスト形式）
19	総合問題対策1（商業簿記と工業簿記）	42	総合問題演習15（テスト形式）
20	総合問題対策2（商業簿記と工業簿記）	43	総合問題演習16（テスト形式）
21	総合問題対策3（商業簿記と工業簿記）	44	総合問題演習17（テスト形式）
22	総合問題対策4（商業簿記と工業簿記）	45	総合問題演習18（テスト形式）
23	総合問題対策5（商業簿記と工業簿記）		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	３級商業簿記基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義７０時間、演習２０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の目的	24	費用および収益の決算整理
2	簿記一巡	25	税金
3	株式会社の資本1	26	消費税および法人税等の決算整理
4	株式会社の資本2	27	訂正仕訳
5	商品売買1	28	財務諸表の作成1
6	商品売買2	29	財務諸表の作成2
7	商品売買3	30	財務諸表の作成3
8	決算1	31	財務諸表の作成4
9	決算2	32	主要簿と補助簿
10	決算3	33	現金出納帳および当座預金出納帳
11	決算4	34	小口現金出納帳
12	決算5	35	仕入帳と売上帳
13	現金および預金1	36	売掛金元帳と買掛金元帳
14	現金および預金2	37	商品有高帳
15	手形および電子記録債権・債務	38	手形記入帳
16	受取手形および売掛金の決算整理	39	固定資産台帳
17	有形固定資産	40	試算表の作成
18	現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理	41	伝票会計1
19	その他の債権および債務1	42	伝票会計2
20	その他の債権および債務2	43	確認テスト1
21	その他の債権および債務3	44	確認テスト2
22	その他の勘定および訂正仕訳	45	確認テスト3
23	その他の収益および費用		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	３級簿記総合			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義２０時間、演習１００時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ1（基礎）	31	総合問題対策1
	2	商業簿記総まとめ2（基礎）	32	総合問題対策2
	3	商業簿記総まとめ3（基礎）	33	総合問題対策3
	4	商業簿記総まとめ4（基礎）	34	総合問題対策4
	5	商業簿記総まとめ5（基礎）	35	総合問題対策5
	6	商業簿記総まとめ6（基礎）	36	総合問題対策6
	7	商業簿記総まとめ7（基礎）	37	総合問題対策7
	8	商業簿記総まとめ8（基礎）	38	総合問題対策8
	9	商業簿記総まとめ9（基礎）	39	総合問題対策9
	10	商業簿記総まとめ10（基礎）	40	総合問題対策10
	11	商業簿記総まとめ11（基礎）	41	総合問題対策11
	12	商業簿記総まとめ12（基礎）	42	総合問題対策12
	13	商業簿記総まとめ13（基礎）	43	総合問題対策13
	14	商業簿記総まとめ14（基礎）	44	総合問題対策14
	15	商業簿記総まとめ15（基礎）	45	総合問題対策15
	16	商業簿記総まとめ1（応用）	46	総合問題演習1
	17	商業簿記総まとめ2（応用）	47	総合問題演習2
	18	商業簿記総まとめ3（応用）	48	総合問題演習3
	19	商業簿記総まとめ4（応用）	49	総合問題演習4
	20	商業簿記総まとめ5（応用）	50	総合問題演習5
	21	商業簿記総まとめ6（応用）	51	総合問題演習6
	22	商業簿記総まとめ7（応用）	52	総合問題演習7
	23	商業簿記総まとめ8（応用）	53	総合問題演習8
	24	商業簿記総まとめ9（応用）	54	総合問題演習9
	25	商業簿記総まとめ10（応用）	55	総合問題演習10
	26	商業簿記総まとめ11（応用）	56	総合問題演習11
	27	商業簿記総まとめ12（応用）	57	総合問題演習12
	28	商業簿記総まとめ13（応用）	58	総合問題演習13
	29	商業簿記総まとめ14（応用）	59	総合問題演習14
	30	商業簿記総まとめ15（応用）	60	総合問題演習15
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス行動論
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５６時間、演習４時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	サービス・接遇の基本的知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	サービス接遇検定２級レベルのサービスと接遇の知識について理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 必要とされる条件1 2 必要とされる条件2 3 社会常識1 4 社会常識2 5 従業要件1 6 従業要件2 7 サービス知識1 8 サービス知識2 9 従業知識1 10 従業知識2 11 人間関係1 12 人間関係2 13 接遇知識1 14 接遇知識2 15 話し方1 16 話し方2 17 服装1 18 服装2 19 問題処理1 20 問題処理2 21 環境整備1 22 環境整備2 23 金品管理1 24 金品管理2 25 金品搬送1 26 金品搬送2 27 社交業務1 28 社交業務2 29 問題演習1 30 問題演習2
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記初級Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５０時間、演習１０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	簿記の基本原理および企業の日常業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 簿記の基本原理（基礎概念） 2 簿記の基本原理（取引1） 3 簿記の基本原理（取引2） 4 簿記の基本原理（勘定1） 5 簿記の基本原理（勘定2） 6 簿記の基本原理（帳簿1） 7 簿記の基本原理（帳簿2） 8 簿記の基本原理（証ひょうと伝票1） 9 簿記の基本原理（証ひょうと伝票2） 10 期中取引の処理（現金預金1） 11 期中取引の処理（現金預金2） 12 期中取引の処理（売掛金と買掛金） 13 期中取引の処理（その他の債権と債務1） 14 期中取引の処理（その他の債権と債務2） 15 期中取引の処理（手形1） 16 期中取引の処理（手形2） 17 期中取引の処理（商品1） 18 期中取引の処理（商品2） 19 期中取引の処理（固定資産1） 20 期中取引の処理（固定資産2） 21 期中取引の処理（純資産） 22 期中取引の処理（収益と費用1） 23 期中取引の処理（収益と費用2） 24 期中取引の処理（税金1） 25 期中取引の処理（税金2） 26 月次の集計1 27 月次の集計2 28 月次の集計3 29 月次の集計4 30 月次の集計5
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記の基本原理と合わせて企業の日常業務及び月次の集計業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記初級総まとめ1 2 簿記初級総まとめ2 3 簿記初級総まとめ3 4 簿記初級総まとめ4 5 簿記初級総まとめ5 6 簿記初級総まとめ6 7 簿記初級総まとめ7 8 簿記初級総まとめ8 9 簿記初級総まとめ9 10 簿記初級総まとめ10 11 簿記初級試験対策1 12 簿記初級試験対策2 13 簿記初級試験対策3 14 簿記初級試験対策4 15 簿記初級試験対策5
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	簿記の学習の有無を問わず原価計算の基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 原価計算の基礎概念1 2 原価計算の基礎概念2 3 原価計算の基礎概念3 4 原価計算の基礎概念4 5 原価計算の基礎概念5 6 原価計算の基礎概念6 7 原価計算の基礎概念7 8 原価計算の基礎概念8 9 原価計算の基礎概念9 10 原価計算の基礎概念10 11 利益の計画と統制1 12 利益の計画と統制2 13 利益の計画と統制3 14 利益の計画と統制4 15 利益の計画と統制5 16 利益の計画と統制6 17 利益の計画と統制7 18 利益の計画と統制8 19 利益の計画と統制9 20 利益の計画と統制10 21 製品別（サービス別）期間損益計算1 22 製品別（サービス別）期間損益計算2 23 製品別（サービス別）期間損益計算3 24 製品別（サービス別）期間損益計算4 25 製品別（サービス別）期間損益計算5 26 製品別（サービス別）期間損益計算6 27 製品別（サービス別）期間損益計算7 28 製品別（サービス別）期間損益計算8 29 製品別（サービス別）期間損益計算9 30 製品別（サービス別）期間損益計算10
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	原価計算の基本原理および企業の日常業務における実践的な原価計算の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 原価計算初級総まとめ1 2 原価計算初級総まとめ2 3 原価計算初級総まとめ3 4 原価計算初級総まとめ4 5 原価計算初級総まとめ5 6 原価計算初級総まとめ6 7 原価計算初級総まとめ7 8 原価計算初級総まとめ8 9 原価計算初級総まとめ9 10 原価計算初級総まとめ10 11 原価計算初級試験対策1 12 原価計算初級試験対策2 13 原価計算初級試験対策3 14 原価計算初級試験対策4 15 原価計算初級試験対策5
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	１級会計学入門Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義７０時間、演習２０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引1 7 リース取引2 8 固定資産の減損 9 研究開発費とソフトウェア 10 繰延資産 11 社債 12 引当金1 13 引当金2 14 退職給付1 15 退職給付2 16 資産除去債務 17 純資産 18 新株予約権と新株予約権付社債 19 ストック・オプション 20 税効果会計1 21 税効果会計2 22 外貨建取引1 23 外貨建取引2 24 商品売買等1 25 商品売買等2 26 商品売買等3 27 工事契約 28 本支店会計1 29 本支店会計2 30 連結財務諸表総論 31 資本連結 32 成果連結 33 持分法 34 連結税効果会計 35 包括利益 36 在外子会社 37 企業結合 38 事業分離1 39 事業分離2 40 キャッシュフロー計算書1 41 キャッシュフロー計算書2 42 キャッシュフロー計算書3 43 連結キャッシュフロー計算書1 44 連結キャッシュフロー計算書2 45 連結キャッシュフロー計算書3
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	１級原価計算入門Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義７０時間、演習２０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記と原価計算	24	予算管理2
	2	費目別計算1	25	予算管理3
	3	費目別計算2	26	意思決定会計1
	4	部門別計算1	27	意思決定会計2
	5	部門別計算2	28	意思決定会計3
	6	部門別計算3	29	意思決定会計4
	7	個別原価計算1	30	意思決定会計5
	8	個別原価計算2	31	意思決定会計6
	9	個別原価計算3	32	意思決定会計7
	10	総合原価計算1	33	意思決定会計8
	11	総合原価計算2	34	工業簿記と原価計算まとめ1
	12	総合原価計算3	35	工業簿記と原価計算まとめ2
	13	総合原価計算4	36	工業簿記と原価計算まとめ3
	14	標準原価計算1	37	工業簿記と原価計算まとめ4
	15	標準原価計算2	38	工業簿記と原価計算まとめ5
	16	標準原価計算3	39	工業簿記と原価計算まとめ6
	17	標準原価計算4	40	工業簿記と原価計算まとめ7
	18	標準原価計算5	41	工業簿記と原価計算まとめ8
	19	標準原価計算6	42	工業簿記と原価計算まとめ9
	20	直接原価計算	43	工業簿記と原価計算まとめ10
	21	短期利益計画1	44	工業簿記と原価計算まとめ11
	22	短期利益計画2	45	工業簿記と原価計算まとめ12
	23	予算管理1		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	２級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義７０時間、演習２０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	総論	24	株式会社の純資産2
	2	簿記一巡の手続、財務諸表	25	株式会社の純資産3
	3	現金預金、銀行勘定調整表	26	企業結合
	4	債権・債務	27	税金1
	5	棚卸資産	28	税金2
	6	有価証券1	29	税金3
	7	有価証券2	30	帳簿組織
	8	有価証券3	31	伝票会計
	9	有価証券4	32	決算1
	10	固定資産1	33	決算2
	11	固定資産2	34	製造業を営む会社の決算処理
	12	固定資産3	35	本支店会計1
	13	固定資産4	36	本支店会計2
	14	固定資産5	37	連結会計1
	15	固定資産6	38	連結会計2
	16	債務保証	39	連結会計3
	17	引当金1	40	連結会計4
	18	引当金2	41	連結会計5
	19	引当金3	42	連結会計6
	20	収益と費用	43	連結会計7
	21	為替換算会計1	44	確認テスト1
	22	為替換算会計2	45	確認テスト2
	23	株式会社の純資産1		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	２級工業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義７０時間、演習２０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記の基礎	24	総合原価計算2
	2	工業簿記の記帳体系1	25	総合原価計算3
	3	工業簿記の記帳体系2	26	総合原価計算4
	4	材料費会計1	27	総合原価計算5
	5	材料費会計2	28	総合原価計算6
	6	労務費会計1	29	工程別総合原価計算1
	7	労務費会計2	30	工程別総合原価計算2
	8	労務費会計3	31	組別総合原価計算
	9	経費会計	32	等級別総合原価計算1
	10	製造間接費会計1	33	等級別総合原価計算2
	11	製造間接費会計2	34	標準原価計算1
	12	単純個別原価計算1	35	標準原価計算2
	13	単純個別原価計算2	36	標準原価計算3
	14	部門別計算1	37	標準原価計算4
	15	部門別計算2	38	標準原価計算5
	16	部門別計算3	39	標準原価計算6
	17	部門別計算4	40	原価・営業量・利益関係の分析
	18	部門別計算5	41	直接原価計算1
	19	部門別計算6	42	直接原価計算2
	20	工企業の財務諸表1	43	工場会計の独立
	21	工企業の財務諸表2	44	確認テスト1
	22	工業簿記の記帳体系	45	確認テスト2
	23	総合原価計算1		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	１級会計学基礎Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 有価証券 2 有形固定資産 3 リース取引 4 固定資産の減損 5 退職給付 6 純資産 7 新株予約権と新株予約権付社債 8 ストック・オプション 9 税効果会計 10 外貨建取引 11 商品売買等 12 資本連結 13 連結税効果会計 14 在外子会社、事業分離 15 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	１級原価計算基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別原価計算 2 部門別計算 3 総合原価計算 4 標準原価計算 5 直接原価計算 6 短期利益計画 7 予算管理 8 事業部制 9 業務的意思決定1 10 業務的意思決定2 11 構造的意思決定1 12 構造的意思決定2 13 構造的意思決定3 14 戦略的原価計算1 15 戦略的原価計算2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	２級商業簿記応用Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金 2 債権・債務、棚卸資産 3 有価証券 4 固定資産1 5 固定資産2 6 固定資産3 7 債務保証、引当金 8 収益と費用、為替換算会計 9 株式会社の純資産 10 企業結合、税金 11 決算 12 本支店会計 13 連結会計1 14 連結会計2 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容	
授業科目	２級工業簿記応用Ｉ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の記帳体系
	2	材料費会計
	3	労務費会計
	4	経費会計、製造間接費会計
	5	単純個別原価計算
	6	部門別計算1
	7	部門別計算2
	8	工企業の財務諸表、総合原価計算
	9	工程別総合原価計算
	10	組別総合原価計算、等級別総合原価計算
	11	標準原価計算1
	12	標準原価計算2
	13	原価・営業量・利益関係の分析
	14	直接原価計算
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要

タイトル	内容
授業科目	１級会計学総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	項目ごとに問題演習と解説を通じて知識の定着を図る。後半は総合問題の演習を通じて総合的な理解度を確認する。
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引	24	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題5
2	貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計	25	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題6
3	資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション	26	総合問題対策1
4	自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳	27	総合問題対策2
5	売価還元原価法、転換社債	28	総合問題対策3
6	電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産	29	総合問題対策4
7	連結会計	30	総合問題対策5
8	キャッシュフロー計算書、企業結合	31	総合問題対策6
9	返品調整引当金、外貨建有価証券、ヘッジ会計	32	総合問題演習1
10	本支店会計総合問題	33	総合問題演習2
11	本支店会計総合問題	34	総合問題演習3
12	決算整理後残高試算表作成	35	総合問題演習4
13	決算整理後残高試算表作成	36	総合問題演習5
14	損益計算書作成	37	総合問題演習6
15	損益計算書作成	38	総合問題演習7
16	連結損益計算書	39	総合問題演習8
17	連結貸借対照表	40	総合問題演習9
18	会計上の変更	41	総合問題演習10
19	包括利益	42	総合問題演習11
20	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題1	43	総合問題演習12
21	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題2	44	総合問題演習13
22	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題3	45	総合問題演習14
23	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題4		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	１級原価計算総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	項目ごとに問題演習と解説を通じて知識の定着を図る。後半は総合問題の演習を通じて総合的な理解度を確認する。
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	実際単純個別原価計算	24	戦略的原価計算2
	2	部門別計算	25	戦略的原価計算3
	3	部門別個別原価計算	26	総合問題対策1
	4	実際工程別総合原価計算1	27	総合問題対策2
	5	実際工程別総合原価計算2	28	総合問題対策3
	6	連産品原価の計算および追加加工の意思決定	29	総合問題対策4
	7	標準総合原価計算1	30	総合問題対策5
	8	標準総合原価計算2	31	総合問題対策6
	9	標準総合原価計算3	32	総合問題演習1
	10	標準総合原価計算4	33	総合問題演習2
	11	実際直接工程別総合原価計算	34	総合問題演習3
	12	実際直接部門別個別原価計算	35	総合問題演習4
	13	CVP分析	36	総合問題演習5
	14	直接標準総合原価計算1	37	総合問題演習6
	15	直接標準総合原価計算2	38	総合問題演習7
	16	予算統制	39	総合問題演習8
	17	直接標準原価計算	40	総合問題演習9
	18	事業部の業績測定	41	総合問題演習10
	19	業務的意思決定1	42	総合問題演習11
	20	業務的意思決定2	43	総合問題演習12
	21	構造的意思決定1	44	総合問題演習13
	22	構造的意思決定2	45	総合問題演習14
	23	戦略的原価計算1		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	２級簿記総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、 総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を通じて知識の定着を図る。
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1	24	総合問題対策6
2	商業簿記総まとめ2	25	総合問題対策7
3	商業簿記総まとめ3	26	総合問題対策8
4	商業簿記総まとめ4	27	総合問題対策9
5	商業簿記総まとめ5	28	総合問題演習1
6	商業簿記総まとめ6	29	総合問題演習2
7	商業簿記総まとめ7	30	総合問題演習3
8	商業簿記総まとめ8	31	総合問題演習4
9	商業簿記総まとめ9	32	総合問題演習5
10	商業簿記総まとめ10	33	総合問題演習6
11	商業簿記総まとめ11	34	総合問題演習7
12	商業簿記総まとめ12	35	総合問題演習8
13	工業簿記・原価計算総まとめ1	36	総合問題演習9
14	工業簿記・原価計算総まとめ2	37	総合問題演習10
15	工業簿記・原価計算総まとめ3	38	総合問題演習11
16	工業簿記・原価計算総まとめ4	39	総合問題演習12
17	工業簿記・原価計算総まとめ5	40	総合問題演習13
18	工業簿記・原価計算総まとめ6	41	総合問題演習14
19	総合問題対策1	42	総合問題演習15
20	総合問題対策2	43	総合問題演習16
21	総合問題対策3	44	総合問題演習17
22	総合問題対策4	45	総合問題演習18
23	総合問題対策5		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要

タイトル	内容
授業科目	２級簿記総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を通じて知識の定着を図る。
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1	24	総合問題対策6
2	商業簿記総まとめ2	25	総合問題対策7
3	商業簿記総まとめ3	26	総合問題対策8
4	商業簿記総まとめ4	27	総合問題対策9
5	商業簿記総まとめ5	28	総合問題演習1
6	商業簿記総まとめ6	29	総合問題演習2
7	商業簿記総まとめ7	30	総合問題演習3
8	商業簿記総まとめ8	31	総合問題演習4
9	商業簿記総まとめ9	32	総合問題演習5
10	商業簿記総まとめ10	33	総合問題演習6
11	商業簿記総まとめ11	34	総合問題演習7
12	商業簿記総まとめ12	35	総合問題演習8
13	工業簿記・原価計算総まとめ1	36	総合問題演習9
14	工業簿記・原価計算総まとめ2	37	総合問題演習10
15	工業簿記・原価計算総まとめ3	38	総合問題演習11
16	工業簿記・原価計算総まとめ4	39	総合問題演習12
17	工業簿記・原価計算総まとめ5	40	総合問題演習13
18	工業簿記・原価計算総まとめ6	41	総合問題演習14
19	総合問題対策1	42	総合問題演習15
20	総合問題対策2	43	総合問題演習16
21	総合問題対策3	44	総合問題演習17
22	総合問題対策4	45	総合問題演習18
23	総合問題対策5		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義４０時間、演習８０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	商業簿記・会計学総まとめ1	31	総合問題対策1
	2	商業簿記・会計学総まとめ2	32	総合問題対策2
	3	商業簿記・会計学総まとめ3	33	総合問題対策3
	4	工業簿記・原価計算総まとめ1	34	総合問題対策4
	5	工業簿記・原価計算総まとめ2	35	総合問題対策5
	6	工業簿記・原価計算総まとめ3	36	総合問題対策6
	7	商業簿記・会計学総まとめ4	37	総合問題対策7
	8	商業簿記・会計学総まとめ5	38	総合問題対策8
	9	商業簿記・会計学総まとめ6	39	総合問題対策9
	10	工業簿記・原価計算総まとめ4	40	総合問題対策10
	11	工業簿記・原価計算総まとめ5	41	総合問題対策11
	12	工業簿記・原価計算総まとめ6	42	総合問題対策12
	13	商業簿記・会計学総まとめ7	43	総合問題対策13
	14	商業簿記・会計学総まとめ8	44	総合問題対策14
	15	商業簿記・会計学総まとめ9	45	総合問題対策15
	16	工業簿記・原価計算総まとめ7	46	総合問題演習1（テスト形式）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ8	47	総合問題演習2（テスト形式）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ9	48	総合問題演習3（テスト形式）
	19	商業簿記・会計学総まとめ10	49	総合問題演習4（テスト形式）
	20	商業簿記・会計学総まとめ11	50	総合問題演習5（テスト形式）
	21	商業簿記・会計学総まとめ12	51	総合問題演習6（テスト形式）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ10	52	総合問題演習7（テスト形式）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ11	53	総合問題演習8（テスト形式）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ12	54	総合問題演習9（テスト形式）
	25	商業簿記・会計学総まとめ13	55	総合問題演習10（テスト形式）
	26	商業簿記・会計学総まとめ14	56	総合問題演習11（テスト形式）
	27	商業簿記・会計学総まとめ15	57	総合問題演習12（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ13	58	総合問題演習13（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ14	59	総合問題演習14（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ15	60	総合問題演習15（テスト形式）

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	１級会計学入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５０時間、演習１０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産、社債 10 引当金 11 退職給付 12 資産除去債務、純資産 13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 商品売買等 17 工事契約 18 本支店会計 19 連結財務諸表総論 20 資本連結 21 成果連結 22 持分法 23 連結税効果会計 24 包括利益 25 在外子会社 26 企業結合 27 事業分離 28 キャッシュフロー計算書 29 連結キャッシュフロー計算書 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	１級原価計算入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義５０時間、演習１０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算1 3 費目別計算2 4 部門別計算1 5 部門別計算2 6 個別原価計算1 7 個別原価計算2 8 総合原価計算1 9 総合原価計算2 10 総合原価計算3 11 標準原価計算1 12 標準原価計算2 13 標準原価計算3 14 標準原価計算4 15 標準原価計算5 16 直接原価計算 17 短期利益計画 18 予算管理1 19 予算管理2 20 意思決定会計1 21 意思決定会計2 22 意思決定会計3 23 意思決定会計4 24 意思決定会計5 25 意思決定会計6 26 意思決定会計7 27 意思決定会計8 28 戦略的原価計算1 29 戦略的原価計算2 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正1 8 誤字訂正2・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方1 11 漢字の意味・使い方2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習1 3 電卓演習2 4 電卓演習3 5 電卓演習4 6 電卓演習5 7 電卓演習6 8 電卓演習7 9 電卓演習8 10 電卓演習9 11 電卓演習10 12 電卓演習11 13 電卓演習12 14 電卓演習13 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義８時間、演習２２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己ＰＲ作成1 5 自己ＰＲ作成2 6 自己ＰＲ作成3 7 面接質問項目1 8 面接質問項目2 9 面接質問項目3 10 会計事務所・企業研究1 11 会計事務所・企業研究2 12 模擬面接練習1 13 模擬面接練習2 14 模擬面接練習3 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義８時間、演習２２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは1 2 グループディスカッションとは2 3 グループディスカッションの役割1 4 グループディスカッションの役割2 5 抽象テーマ型グループディスカッション1 6 抽象テーマ型グループディスカッション2 7 抽象テーマ型グループディスカッション3 8 課題解決型グループディスカッション1 9 課題解決型グループディスカッション2 10 課題解決型グループディスカッション3 11 KJ法1 12 KJ法2 13 資料読み取り型グループディスカッション1 14 資料読み取り型グループディスカッション2 15 資料読み取り型グループディスカッション3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ1 2 簿記の概要Ⅰ2 3 簿記の概要Ⅰ3 4 簿記の概要Ⅰ4 5 現金預金Ⅰ1 6 現金預金Ⅰ2 7 現金預金Ⅰ3 8 債権債務Ⅰ1 9 債権債務Ⅰ2 10 商品売買Ⅰ1 11 商品売買Ⅰ2 12 商品売買Ⅰ3 13 給料等Ⅰ1 14 給料等Ⅰ2 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎 2 個別注記表 3 現金及び預金 4 債権債務 5 関係会社概念 6 売上原価の算定 7 貸倒れ 8 給料等 9 その他の引当金 10 退職給付会計 11 有形固定資産 12 無形固定資産 13 株主資本 14 財務諸表論の基礎概念 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 課税の対象3 5 課税の対象4 6 非課税1 7 非課税2 8 非課税3 9 非課税4 10 輸出免税等1 11 輸出免税等2 12 輸出免税等3 13 輸出免税等4 14 資産の譲渡等の時期 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要 3 相続税法と民法 4 相続人、代襲相続 5 養子の子の取扱い 6 相続の承認と放棄 7 相続分（法定相続分、代襲相続分） 8 遺言による財産の取得 9 相続税の納税義務者 10 生命保険金等 11 相続税の非課税財産 12 相続税額の計算方法 13 生命保険金等の非課税金額 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 納税義務者 3 課税所得の範囲 4 交際費等の損金不算入 5 減価償却1 6 減価償却2 7 減価償却3 8 受取配当等の益金不算入 9 寄附金の損金不算入 10 租税公課等 11 納税充当金1 12 納税充当金2 13 別表四の作成 14 事業年度 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 非課税1 5 非課税2 6 輸出免税等1 7 輸出免税等2 8 資産の譲渡等の時期 9 控除対象仕入税額1 10 控除対象仕入税額2 11 売上げに係る対価の返還等 12 貸倒れが生じた場合 13 課税仕入れの範囲1 14 課税仕入れの範囲2 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	固定資産Ⅰ1	24	退職給付会計Ⅰ6
2	固定資産Ⅰ2	25	退職給付会計Ⅰ7
3	固定資産Ⅰ3	26	退職給付会計Ⅰ8
4	固定資産Ⅰ4	27	税金Ⅰ1
5	固定資産Ⅰ5	28	税金Ⅰ2
6	固定資産Ⅰ6	29	税金Ⅰ3
7	固定資産Ⅰ7	30	税金Ⅰ4
8	固定資産Ⅰ8	31	社債Ⅰ1
9	固定資産Ⅰ9	32	社債Ⅰ2
10	固定資産Ⅰ10	33	社債Ⅰ3
11	ソフトウェアⅠ1	34	社債Ⅰ4
12	ソフトウェアⅠ2	35	社債Ⅰ5
13	債権債務Ⅰ1	36	社債Ⅰ6
14	債権債務Ⅰ2	37	純資産会計Ⅰ1
15	債権債務Ⅰ3	38	純資産会計Ⅰ2
16	貸倒れⅠ1	39	純資産会計Ⅰ3
17	貸倒れⅠ2	40	純資産会計Ⅰ4
18	貸倒れⅠ3	41	有価証券Ⅰ1
19	退職給付会計Ⅰ1	42	有価証券Ⅰ2
20	退職給付会計Ⅰ2	43	有価証券Ⅰ3
21	退職給付会計Ⅰ3	44	有価証券Ⅰ4
22	退職給付会計Ⅰ4	45	確認テスト
23	退職給付会計Ⅰ5		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券 2 満期保有目的の債券 3 子会社株式・関連会社株式 4 その他有価証券 5 ソフトウェア 6 法人税等・追徴還付 7 現在価値計算 8 社債 9 利益剰余金 10 自己株式 11 配当 12 外形基準、租税公課 13 源泉所得税、社会保険料 14 税効果会計 15 税効果注記 16 源泉所得税、社会保険料 17 株主資本等変動計算書 18 減損会計 19 配当を受けた株主の処理 20 圧縮記帳 21 外貨建取引 22 退職給付会計簡便法 23 繰延資産 24 為替予約 25 仕入・売上げの計上基準 26 消費税等 27 他勘定振替 28 外貨建有価証券 29 リース会計 30 証券投資信託 31 ゴルフ会員権 32 売価還元法 33 製造業会計 34 研究開発費 35 新株予約権 36 キャッシュ・フロー計算書 37 損益計算書総論 38 貸借対照表総論 39 資産総論 40 棚卸資産に関する会計基準 41 連続意見書 42 引当金 43 会計観 44 金融商品 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額1	24	課税売上割合1
2	控除対象仕入税額2	25	課税売上割合2
3	控除対象仕入税額3	26	課税売上割合3
4	控除対象仕入税額4	27	課税売上割合4
5	控除対象仕入税額5	28	課税売上割合5
6	控除対象仕入税額6	29	課税売上割合6
7	売上げに係る対価の返還等1	30	課税売上割合7
8	売上げに係る対価の返還等2	31	課税期間における課税売上高1
9	売上げに係る対価の返還等3	32	課税期間における課税売上高2
10	貸倒れが生じた場合1	33	課税期間における課税売上高3
11	貸倒れが生じた場合2	34	課税売上割合に準ずる割合1
12	貸倒れが生じた場合3	35	課税売上割合に準ずる割合2
13	課税仕入れの範囲1	36	課税売上割合に準ずる割合3
14	課税仕入れの範囲2	37	仕入れに係る対価の返還等1
15	課税仕入れの範囲3	38	仕入れに係る対価の返還等2
16	課税仕入れの範囲4	39	仕入れに係る対価の返還等3
17	課税仕入れの範囲5	40	納税義務の免除1
18	課税仕入れの範囲6	41	納税義務の免除2
19	課税仕入れ等の時期1	42	納税義務の免除3
20	課税仕入れ等の時期2	43	納税義務の免除4
21	課税仕入れ等の時期3	44	納税義務の免除5
22	課税仕入れ等の時期4	45	確認テスト(理論)
23	課税仕入れ等の時期5		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 贈与税の概要 2 贈与税の納税義務者 3 弔慰金等 4 債務控除 5 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算 6 相続時精算課税適用財産 7 生前贈与加算相続税の総額 8 算出相続税額の計算 9 相続税額の加算 10 贈与税額控除（暦年） 11 配偶者の税額軽減 12 未成年者控除 13 障害者控除 14 確認テスト1(理論) 15 特定納税義務者 16 特定納税義務者の債務控除 17 特定納税義務者の障害者控除 18 贈与税額控除（精算） 19 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式） 20 自用家屋 21 家屋と構造上一体となっている設備 22 特別養子制度 23 生命保険契約に関する権利 24 被保険者でない保険契約者が死亡した場合 25 法定相続人の数 26 本来の財産 27 自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地） 28 地区区分の異なる宅地 29 側方路線等に宅地の一部が接している場合 30 普通借地権（自用借地権） 31 貸宅地 32 貸家建付地 33 貸家建付借地権 34 貸家 35 一般動産 36 たな卸商品等 37 書画骨とう品 38 預貯金 39 上場株式 40 構築物 41 貸付金債権等 42 受取手形等 43 間口が狭小な宅地等 44 角切り宅地の間口距離 45 確認テスト2(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	貸倒損失1	24	収用等4
	2	貸倒損失2	25	所得税額控除1
	3	貸倒損失3	26	所得税額控除2
	4	貸倒損失4	27	所得税額控除3
	5	貸倒引当金1	28	所得税額控除4
	6	貸倒引当金2	29	国庫補助金等1
	7	貸倒引当金3	30	国庫補助金等2
	8	貸倒引当金4	31	国庫補助金等3
	9	欠損金1	32	国庫補助金等4
	10	欠損金2	33	別表五㈠の作成1
	11	欠損金3	34	別表五㈠の作成2
	12	欠損金4	35	別表五㈠の作成3
	13	外貨建取引1	36	別表五㈠の作成4
	14	外貨建取引2	37	圧縮記帳1
	15	外貨建取引3	38	圧縮記帳2
	16	外貨建取引4	39	圧縮記帳3
	17	有価証券1	40	圧縮記帳4
	18	有価証券2	41	圧縮記帳5
	19	有価証券3	42	圧縮記帳6
	20	有価証券4	43	圧縮記帳7
	21	収用等1	44	圧縮記帳8
	22	収用等2	45	確認テスト（理論）
	23	収用等3		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期1
	2	課税仕入れ等の時期2
	3	課税売上割合1
	4	課税売上割合2
	5	課税期間における課税売上高1
	6	課税期間における課税売上高2
	7	課税売上割合に準ずる割合1
	8	課税売上割合に準ずる割合2
	9	仕入れに係る対価の返還等
	10	納税義務の免除
	11	国境を越えた役務の提供1
	12	国境を越えた役務の提供2
	13	国境を越えた役務の提供3
	14	中間申告に係る納付税額の計算
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ1	31	外貨建会計Ⅰ5
	2	税効果会計Ⅰ2	32	外貨建会計Ⅰ6
	3	税効果会計Ⅰ3	33	リース会計Ⅰ1
	4	税効果会計Ⅰ4	34	リース会計Ⅰ2
	5	税効果会計Ⅰ5	35	リース会計Ⅰ3
	6	税効果会計Ⅰ6	36	リース会計Ⅰ4
	7	税効果会計Ⅰ7	37	リース会計Ⅰ5
	8	税効果会計Ⅰ8	38	リース会計Ⅰ6
	9	現在価値計算Ⅰ1	39	試用販売Ⅰ1
	10	現在価値計算Ⅰ2	40	試用販売Ⅰ2
	11	現在価値計算Ⅰ3	41	試用販売Ⅰ3
	12	保険金Ⅰ1	42	試用販売Ⅰ4
	13	保険金Ⅰ2	43	試用販売Ⅰ5
	14	保険金Ⅰ3	44	試用販売Ⅰ6
	15	新株予約権付社債Ⅰ1	45	割賦販売Ⅰ1
	16	新株予約権付社債Ⅰ2	46	割賦販売Ⅰ2
	17	新株予約権付社債Ⅰ3	47	割賦販売Ⅰ3
	18	新株予約権付社債Ⅰ4	48	割賦販売Ⅰ4
	19	新株予約権付社債Ⅰ5	49	割賦販売Ⅰ5
	20	新株予約権付社債Ⅰ6	50	割賦販売Ⅰ6
	21	減損会計Ⅰ1	51	未着品販売Ⅰ1
	22	減損会計Ⅰ2	52	未着品販売Ⅰ2
	23	減損会計Ⅰ3	53	未着品販売Ⅰ3
	24	減損会計Ⅰ4	54	未着品販売Ⅰ4
	25	資産除去債務Ⅰ1	55	委託販売・受託販売Ⅰ1
	26	資産除去債務Ⅰ2	56	委託販売・受託販売Ⅰ2
	27	外貨建会計Ⅰ1	57	委託販売・受託販売Ⅰ3
	28	外貨建会計Ⅰ2	58	委託販売・受託販売Ⅰ4
	29	外貨建会計Ⅰ3	59	委託販売・受託販売Ⅰ5
	30	外貨建会計Ⅰ4	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正1	31	純資産会計1
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正2	32	純資産会計2
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正3	33	純資産会計3
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正4	34	純資産会計4
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正5	35	純資産会計5
	6	分配可能額1	36	企業結合会計1
	7	分配可能額2	37	企業結合会計2
	8	分配可能額3	38	企業結合会計3
	9	分配可能額4	39	企業結合会計4
	10	分配可能額5	40	企業結合会計5
	11	ストック・オプション1	41	事業分離会計1
	12	ストック・オプション2	42	事業分離会計2
	13	ストック・オプション3	43	事業分離会計3
	14	ストック・オプション4	44	事業分離会計4
	15	ストック・オプション5	45	事業分離会計5
	16	セール＆リースバック1	46	四半期財務諸表1
	17	セール＆リースバック2	47	四半期財務諸表2
	18	セール＆リースバック3	48	四半期財務諸表3
	19	セール＆リースバック4	49	四半期財務諸表4
	20	セール＆リースバック5	50	四半期財務諸表5
	21	財務諸表等規則1	51	ヘッジ会計1
	22	財務諸表等規則2	52	ヘッジ会計2
	23	財務諸表等規則3	53	ヘッジ会計3
	24	財務諸表等規則4	54	ヘッジ会計4
	25	財務諸表等規則5	55	ヘッジ会計5
	26	負債1	56	包括利益1
	27	負債2	57	包括利益2
	28	負債3	58	包括利益3
	29	負債4	59	包括利益4
	30	負債5	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	国境を越えた役務の提供1	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1
2	国境を越えた役務の提供2	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2
3	国境を越えた役務の提供3	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算3
4	国境を越えた役務の提供4	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算4
5	国境を越えた役務の提供5	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整1
6	中間申告に係る納付税額の計算1	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整2
7	中間申告に係る納付税額の計算2	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整3
8	課税仕入れ等の分類1	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整4
9	課税仕入れ等の分類2	39	課税標準1
10	課税仕入れ等の分類3	40	課税標準2
11	課税仕入れ等の分類4	41	課税標準3
12	課税仕入れ等の分類5	42	課税標準4
13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例1	43	課税標準5
14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例2	44	課税標準6
15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例3	45	簡易課税制度1
16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1	46	簡易課税制度2
17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2	47	簡易課税制度3
18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整3	48	簡易課税制度4
19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整4	49	簡易課税制度5
20	納税義務の免除の特例1	50	簡易課税制度6
21	納税義務の免除の特例2	51	簡易課税制度7
22	納税義務の免除の特例3	52	簡易課税制度8
23	納税義務の免除の特例4	53	簡易課税制度9
24	納税義務の免除の特例5	54	簡易課税制度10
25	納税義務の免除の特例6	55	簡易課税制度11
26	納税義務の免除の特例7	56	簡易課税制度12
27	納税義務の免除の特例8	57	簡易課税制度13
28	納税義務の免除の特例9	58	簡易課税制度14
29	納税義務の免除の特例10	59	簡易課税制度15
30	納税義務の免除の特例11	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	使用貸借により借り受けた宅地等	31	地積規模の大きな宅地
2	使用貸借により貸し付けられた宅地等	32	がけ地等を有する宅地
3	使用貸借により貸し付けられた家屋	33	旗竿状の宅地等
4	小規模宅地等の減額1	34	容積率の異なる宅地
5	小規模宅地等の減額2	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地
6	小規模宅地等の減額3	36	確認テスト2(理論)
7	小規模宅地等の減額4	37	私道の用に供されている宅地
8	小規模宅地等の減額5	38	セットバックを必要とする宅地
9	小規模宅地等の減額6	39	上場株式（権利落）
10	確認テスト1(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利
11	取引相場のない株式1	41	宅地等の評価単位
12	取引相場のない株式2	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林
13	取引相場のない株式3	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林
14	取引相場のない株式4	44	立木、立木の評価減
15	取引相場のない株式5	45	配当期待権
16	取引相場のない株式6	46	贈与税が課税される場合
17	取引相場のない株式7	47	相続税が課税される場合
18	取引相場のない株式8	48	負担付遺贈・贈与
19	取引相場のない株式9	49	贈与税の非課税財産
20	取引相場のない株式10	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税
21	取引相場のない株式11	51	契約者貸付金等がある場合の保険金
22	取引相場のない株式12	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例
23	取引相場のない株式13	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税
24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等	54	証券投資信託受益証券
25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地	55	ゴルフ会員権
26	相当の地代を支払っている場合の借地権	56	不動産投資信託証券
27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地	57	措法７０の非課税
28	利用区分が異なる建物	58	権利義務の承継
29	建築中の家屋	59	贈与税の配偶者控除
30	不整形地	60	確認テスト3(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定1	31	保険料1
	2	役員判定2	32	保険料2
	3	役員給与1	33	設立事業年度1
	4	役員給与2	34	設立事業年度2
	5	使用人給与1	35	組織再編税制1
	6	使用人給与2	36	組織再編税制2
	7	特定資産の買換え1	37	工事の請負1
	8	特定資産の買換え2	38	工事の請負2
	9	外国税額控除1	39	修正申告1
	10	外国税額控除2	40	修正申告2
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入1	41	税効果会計1
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入2	42	税効果会計2
	13	みなし配当金1	43	賃上げ・投資促進税制1
	14	みなし配当金2	44	賃上げ・投資促進税制2
	15	資本等取引1	45	スピンオフ税制1
	16	資本等取引2	46	スピンオフ税制2
	17	交換差益1	47	特定同族会社の特別税率1
	18	交換差益2	48	特定同族会社の特別税率2
	19	別表五㈡1	49	適用除外事業者1
	20	別表五㈡2	50	適用除外事業者2
	21	リース取引1	51	地方法人税1
	22	リース取引2	52	地方法人税2
	23	繰延資産1	53	外国子会社配当1
	24	繰延資産2	54	外国子会社配当2
	25	確定決算型1	55	借地権等1
	26	確定決算型2	56	借地権等2
	27	グループ法人税制1	57	償還差損益1
	28	グループ法人税制2	58	償還差損益2
	29	資産の評価損益1	59	未収還付税金
	30	資産の評価損益2	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ1	31	貸倒れⅠ1
	2	簿記の概要Ⅰ2	32	貸倒れⅠ2
	3	簿記の概要Ⅰ3	33	貸倒れⅠ3
	4	簿記の概要Ⅰ4	34	退職給付会計Ⅰ1
	5	現金預金Ⅰ1	35	退職給付会計Ⅰ2
	6	現金預金Ⅰ2	36	退職給付会計Ⅰ3
	7	現金預金Ⅰ3	37	退職給付会計Ⅰ4
	8	債権債務Ⅰ1	38	退職給付会計Ⅰ5
	9	債権債務Ⅰ2	39	退職給付会計Ⅰ6
	10	商品売買Ⅰ1	40	退職給付会計Ⅰ7
	11	商品売買Ⅰ2	41	退職給付会計Ⅰ8
	12	商品売買Ⅰ3	42	税金Ⅰ1
	13	給料等Ⅰ1	43	税金Ⅰ2
	14	給料等Ⅰ2	44	税金Ⅰ3
	15	給料等Ⅰ3	45	税金Ⅰ4
	16	固定資産Ⅰ1	46	社債Ⅰ1
	17	固定資産Ⅰ2	47	社債Ⅰ2
	18	固定資産Ⅰ3	48	社債Ⅰ3
	19	固定資産Ⅰ4	49	社債Ⅰ4
	20	固定資産Ⅰ5	50	社債Ⅰ5
	21	固定資産Ⅰ6	51	社債Ⅰ6
	22	固定資産Ⅰ7	52	純資産会計Ⅰ1
	23	固定資産Ⅰ8	53	純資産会計Ⅰ2
	24	固定資産Ⅰ9	54	純資産会計Ⅰ3
	25	固定資産Ⅰ10	55	純資産会計Ⅰ4
	26	ソフトウェアⅠ1	56	有価証券Ⅰ1
	27	ソフトウェアⅠ2	57	有価証券Ⅰ2
	28	債権債務Ⅰ1	58	有価証券Ⅰ3
	29	債権債務Ⅰ2	59	有価証券Ⅰ4
	30	債権債務Ⅰ3	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎	31	株主資本等変動計算書
	2	個別注記表	32	減損会計
	3	現金及び預金	33	配当を受けた株主の処理
	4	債権債務	34	圧縮記帳
	5	関係会社概念	35	外貨建取引
	6	売上原価の算定	36	退職給付会計簡便法
	7	貸倒れ	37	繰延資産
	8	給料等	38	為替予約
	9	その他の引当金	39	仕入・売上げの計上基準
	10	退職給付会計	40	消費税等
	11	有形固定資産	41	他勘定振替
	12	無形固定資産	42	外貨建有価証券
	13	株主資本	43	リース会計
	14	財務諸表論の基礎概念	44	証券投資信託
	15	売買目的有価証券	45	ゴルフ会員権
	16	満期保有目的の債券	46	売価還元法
	17	子会社株式・関連会社株式	47	製造業会計
	18	その他有価証券	48	研究開発費
	19	ソフトウェア	49	新株予約権
	20	法人税等・追徴還付	50	キャッシュ・フロー計算書
	21	現在価値計算	51	損益計算書総論
	22	社債	52	貸借対照表総論
	23	利益剰余金	53	資産総論
	24	自己株式	54	棚卸資産に関する会計基準
	25	配当	55	連続意見書
	26	外形基準、租税公課	56	引当金
	27	源泉所得税、社会保険料	57	会計観
	28	税効果会計	58	金融商品
	29	税効果注記	59	収益性の低下
	30	源泉所得税、社会保険料	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類1 2 課税仕入れ等の分類2 3 課税仕入れ等の分類3 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2 7 納税義務の免除の特例1 8 納税義務の免除の特例2 9 納税義務の免除の特例3 10 納税義務の免除の特例4 11 納税義務の免除の特例5 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目1 15 課税標準1 16 課税標準2 17 簡易課税制度1 18 簡易課税制度2 19 簡易課税制度3 20 簡易課税制度4 21 軽減税率1 22 軽減税率2 23 旧税率に関する経過措置1 24 旧税率に関する経過措置2 25 複数税率の場合の計算1 26 複数税率の場合の計算2 27 国等に対する特例1 28 国等に対する特例2 29 特殊項目2（税抜経理方式） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで 3 強制換価手続 4 担保の種類 5 滞納処分の概要 6 国税に優先する権利 7 国税相互間の優先関係 8 財産の調査 9 最優先される被担保債権 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権 12 不動産賃貸の先取特権等 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収） 14 譲受前にある担保権 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収 16 差押の制限等、解除 17 差押の共通手続 18 第三者からの差押換え 19 差押換え（換価申立ての細部） 20 相続人からの差押換え 21 動産又は有価証券の差押え 22 第三者が占有する動産等の差押手続 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護 24 国税徴収法第26条の計算 25 債権の差押え 26 不動産等の差押え 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え 29 国税徴収法第24条（譲渡担保） 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける。
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役で販売接客職に従事している講師が、実務者の観点から職場でのビジネスマナー等に関する講義を行う。
授業計画	1 職場での心構え1 2 職場での心構え2 3 職場に必要な能力1 4 職場に必要な能力2 5 職場の役割と機能1 6 職場の役割と機能2 7 秘書の職務1 8 秘書の職務2 9 企業の基礎知識1 10 企業の基礎知識2 11 企業組織の活動1 12 企業組織の活動2 13 社会常識1 14 社会常識2 15 社会常識3
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務応用Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義２０時間、演習４０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける.
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役で販売接客職に従事している講師が、実務者の観点から職場でのビジネススキル等に関する講義を行う。
授業計画	1 人間関係と話し方・聞き方1 2 人間関係と話し方・聞き方2 3 人間関係と話し方・聞き方3 4 人間関係と話し方・聞き方4 5 敬語と接遇用語1 6 敬語と接遇用語2 7 敬語と接遇用語3 8 敬語と接遇用語4 9 電話応対1 10 電話応対2 11 電話応対3 12 電話応対4 13 来客応対1 14 来客応対2 15 来客応対3 16 交際業務1 17 交際業務2 18 ビジネス文書の作成1 19 ビジネス文書の作成2 20 ビジネス文書の作成3 21 ビジネス文書の作成4 22 文書・資料管理1 23 文書・資料管理2 24 文書・資料管理3 25 日程管理1 26 日程管理2 27 日程管理3 28 日程管理4 29 環境整備1 30 環境整備2
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ1 2 本支店会計Ⅰ2 3 本支店会計Ⅰ3 4 本支店会計Ⅰ4 5 本支店会計Ⅰ5 6 本支店会計Ⅰ6 7 組織再編会計Ⅰ1 8 組織再編会計Ⅰ2 9 組織再編会計Ⅰ3 10 組織再編会計Ⅰ4 11 建設業会計Ⅰ1 12 建設業会計Ⅰ2 13 連結会計Ⅰ1 14 連結会計Ⅰ2 15 連結会計Ⅰ3 16 連結会計Ⅰ4 17 製造業会計Ⅰ1 18 製造業会計Ⅰ2 19 製造業会計Ⅰ3 20 製造業会計Ⅰ4 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4 25 繰延資産Ⅰ1 26 繰延資産Ⅰ2 27 圧縮記帳Ⅰ1 28 圧縮記帳Ⅰ2 29 ストック・オプションⅠ 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 金利スワップ1 2 金利スワップ2 3 金利スワップ3 4 金利スワップ4 5 金利スワップ5 6 資産及び負債の貸借対照表能力1 7 資産及び負債の貸借対照表能力2 8 資産及び負債の貸借対照表能力3 9 資産及び負債の貸借対照表能力4 10 資産及び負債の貸借対照表能力5 11 投資のリスクからの解放1 12 投資のリスクからの解放2 13 投資のリスクからの解放3 14 投資のリスクからの解放4 15 投資のリスクからの解放5 16 配分と評価1 17 配分と評価2 18 配分と評価3 19 配分と評価4 20 配分と評価5 21 収益認識1 22 収益認識2 23 収益認識3 24 収益認識4 25 収益認識5 26 組織再1 27 組織再2 28 組織再3 29 組織再4 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 軽減税率1 2 軽減税率2 3 軽減税率3 4 軽減税率4 5 軽減税率5 6 軽減税率6 7 旧税率に関する経過措置1 8 旧税率に関する経過措置2 9 旧税率に関する経過措置3 10 旧税率に関する経過措置4 11 旧税率に関する経過措置5 12 旧税率に関する経過措置6 13 複数税率の場合の計算1 14 複数税率の場合の計算2 15 複数税率の場合の計算3 16 複数税率の場合の計算4 17 複数税率の場合の計算5 18 複数税率の場合の計算6 19 国等に対する特例1 20 国等に対する特例2 21 国等に対する特例3 22 国等に対する特例4 23 国等に対する特例5 24 国等に対する特例6 25 国等に対する特例7 26 国等に対する特例8 27 特殊項目1（事業承継があった場合の控除税額の調整等） 28 特殊項目2（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点） 29 特殊項目3（税抜経理方式） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利 2 未成年者控除・障害者控除（重ね受け） 3 相次相続控除 4 増改築等があった場合 5 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税 6 確認テスト1(理論) 7 無道路地 8 定期借地権等 9 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地） 10 土砂災害特別警戒区域内にある宅地 11 造成費相当額の算定（平坦地） 12 公社債 13 雇用主が保険料を負担している場合 14 保険金の評価 15 確認テスト2(理論) 16 定期金に関する権利 17 保証期間付定期金に関する権利 18 契約に基づかない定期金に関する権利 19 財産の所在 20 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額 21 相続税の外国税額控除 22 贈与税の外国税額控除 23 確認テスト3(理論) 24 養子の子の応用的な取扱い 25 農地等の相続税の納税猶予 26 非上場株式の贈与税の納税猶予 27 非上場株式の相続税の納税猶予 28 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 29 個人の事業用資産の相続税の納税猶予 30 確認テスト4(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結納税制度1 2 連結納税制度2 3 連結納税制度3 4 連結納税制度4 5 連結納税制度5 6 連結納税制度6 7 連結納税制度7 8 連結納税制度8 9 連結納税制度9 10 連結納税制度10 11 連結納税制度11 12 連結納税制度12 13 連結納税制度13 14 連結納税制度14 15 連結納税制度15 16 連結納税制度16 17 連結納税制度17 18 連結納税制度18 19 連結納税制度19 20 連結納税制度20 21 試験研究費の特別控除1 22 試験研究費の特別控除2 23 試験研究費の特別控除3 24 試験研究費の特別控除4 25 資産除去債務1 26 資産除去債務2 27 資産除去債務3 28 解散税制1 29 解散税制2 30 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金Ⅱ1	46	項目別答練2
2	現金預金Ⅱ2	47	項目別答練3
3	商品売買Ⅱ1	48	項目別答練4
4	商品売買Ⅱ2	49	項目別答練5
5	商品売買Ⅱ3	50	項目別答練6
6	固定資産Ⅱ1	51	基礎答練1
7	固定資産Ⅱ2	52	基礎答練2
8	固定資産Ⅱ3	53	基礎答練3
9	退職給付会計Ⅱ1	54	基礎答練4
10	退職給付会計Ⅱ2	55	基礎答練5
11	退職給付会計Ⅱ3	56	基礎答練6
12	債権債務Ⅱ1	57	基礎答練7
13	債権債務Ⅱ2	58	基礎答練8
14	税金Ⅱ	59	基礎答練9
15	社債Ⅱ1	60	基礎答練10
16	社債Ⅱ2	61	応用答練1
17	社債Ⅱ3	62	応用答練2
18	純資産会計Ⅱ1	63	応用答練3
19	純資産会計Ⅱ2	64	応用答練4
20	純資産会計Ⅱ3	65	応用答練5
21	有価証券Ⅱ1	66	応用答練6
22	有価証券Ⅱ2	67	応用答練7
23	有価証券Ⅱ3	68	応用答練8
24	外貨建会計Ⅱ1	69	応用答練9
25	外貨建会計Ⅱ2	70	応用答練10
26	リース会計Ⅱ1	71	過去問演習1
27	リース会計Ⅱ2	72	過去問演習2
28	試用販売Ⅱ1	73	過去問演習3
29	試用販売Ⅱ2	74	過去問演習4
30	割賦販売Ⅱ1	75	過去問演習5
31	割賦販売Ⅱ2	76	過去問演習6
32	割賦販売Ⅱ3	77	過去問演習7
33	未着品販売Ⅱ1	78	過去問演習8
34	未着品販売Ⅱ2	79	過去問演習9
35	委託販売・受託販売Ⅱ1	80	過去問演習10
36	委託販売・受託販売Ⅱ2	81	問題演習実践1
37	本支店会計Ⅱ1	82	問題演習実践2
38	本支店会計Ⅱ2	83	問題演習実践3
39	組織再編会計Ⅱ1	84	問題演習実践4
40	組織再編会計Ⅱ2	85	問題演習実践5
41	連結会計Ⅱ1	86	問題演習実践6
42	連結会計Ⅱ2	87	問題演習実践7
43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1	88	問題演習実践8
44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2	89	問題演習実践9
45	項目別答練1	90	模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ1	46	総合問題対策6
	2	財務諸表論総まとめ2	47	総合問題対策7
	3	財務諸表論総まとめ3	48	総合問題対策8
	4	財務諸表論総まとめ4	49	総合問題対策9
	5	財務諸表論総まとめ5	50	総合問題対策10
	6	財務諸表論総まとめ6	51	総合問題対策11
	7	財務諸表論総まとめ7	52	総合問題対策12
	8	財務諸表論総まとめ8	53	総合問題対策13
	9	財務諸表論総まとめ9	54	総合問題対策14
	10	財務諸表論総まとめ10	55	総合問題対策15
	11	財務諸表論総まとめ11	56	総合問題対策16
	12	財務諸表論総まとめ12	57	総合問題対策17
	13	財務諸表論総まとめ13	58	総合問題対策18
	14	財務諸表論総まとめ14	59	総合問題対策19
	15	財務諸表論総まとめ15	60	総合問題対策20
	16	財務諸表論総まとめ16	61	総合問題対策21
	17	財務諸表論総まとめ17	62	総合問題対策22
	18	財務諸表論総まとめ18	63	総合問題対策23
	19	財務諸表論総まとめ19	64	総合問題対策24
	20	財務諸表論総まとめ20	65	総合問題対策25
	21	財務諸表論総まとめ21	66	総合問題対策26
	22	財務諸表論総まとめ22	67	総合問題対策27
	23	財務諸表論総まとめ23	68	総合問題対策28
	24	財務諸表論総まとめ24	69	総合問題対策29
	25	財務諸表論総まとめ25	70	総合問題対策30
	26	財務諸表論総まとめ26	71	総合問題対策31
	27	財務諸表論総まとめ27	72	総合問題対策32
	28	財務諸表論総まとめ28	73	総合問題対策33
	29	財務諸表論総まとめ29	74	総合問題対策34
	30	財務諸表論総まとめ30	75	総合問題対策35
	31	財務諸表論総まとめ31	76	総合問題対策36
	32	財務諸表論総まとめ32	77	総合問題対策37
	33	財務諸表論総まとめ33	78	総合問題対策38
	34	財務諸表論総まとめ34	79	総合問題対策39
	35	財務諸表論総まとめ35	80	総合問題対策40
	36	財務諸表論総まとめ36	81	総合問題対策41
	37	財務諸表論総まとめ37	82	総合問題対策42
	38	財務諸表論総まとめ38	83	総合問題対策43
	39	財務諸表論総まとめ39	84	総合問題対策44
	40	財務諸表論総まとめ40	85	総合問題対策45
	41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
	42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
	43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
	44	総合問題対策4	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策5	90	模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別問題対策1	46	総合問題対策19
	2	個別問題対策2	47	総合問題対策20
	3	個別問題対策3	48	総合問題対策21
	4	個別問題対策4	49	総合問題対策22
	5	個別問題対策5	50	総合問題対策23
	6	個別問題対策6	51	総合問題対策24
	7	個別問題対策7	52	総合問題対策25
	8	個別問題対策8	53	総合問題対策26
	9	個別問題対策9	54	総合問題対策27
	10	個別問題対策10	55	総合問題対策28
	11	個別問題対策11	56	総合問題対策29
	12	個別問題対策12	57	総合問題対策30
	13	個別問題対策13	58	総合問題対策31
	14	個別問題対策14	59	総合問題対策32
	15	理論問題対策1	60	総合問題対策33
	16	理論問題対策2	61	総合問題対策34
	17	理論問題対策3	62	総合問題対策35
	18	理論問題対策4	63	総合問題対策36
	19	理論問題対策5	64	総合問題対策37
	20	理論問題対策6	65	総合問題対策38
	21	理論問題対策7	66	総合問題対策39
	22	理論問題対策8	67	総合問題対策40
	23	理論問題対策9	68	総合問題対策41
	24	理論問題対策10	69	総合問題対策42
	25	理論問題対策11	70	総合問題対策43
	26	理論問題対策12	71	総合問題演習1
	27	理論問題対策13	72	総合問題演習2
	28	総合問題対策1	73	総合問題演習3
	29	総合問題対策2	74	総合問題演習4
	30	総合問題対策3	75	総合問題演習5
	31	総合問題対策4	76	総合問題演習6
	32	総合問題対策5	77	総合問題演習7
	33	総合問題対策6	78	総合問題演習8
	34	総合問題対策7	79	総合問題演習9
	35	総合問題対策8	80	総合問題演習10
	36	総合問題対策9	81	総合問題演習11
	37	総合問題対策10	82	総合問題演習12
	38	総合問題対策11	83	総合問題演習13
	39	総合問題対策12	84	総合問題演習14
	40	総合問題対策13	85	総合問題演習15
	41	総合問題対策14	86	総合問題演習16
	42	総合問題対策15	87	総合問題演習17
	43	総合問題対策16	88	総合問題演習18
	44	総合問題対策17	89	総合問題演習19
	45	総合問題対策18	90	総合問題演習20
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	相続税法総まとめ1	46	総合問題対策6
	2	相続税法総まとめ2	47	総合問題対策7
	3	相続税法総まとめ3	48	総合問題対策8
	4	相続税法総まとめ4	49	総合問題対策9
	5	相続税法総まとめ5	50	総合問題対策10
	6	相続税法総まとめ6	51	総合問題対策11
	7	相続税法総まとめ7	52	総合問題対策12
	8	相続税法総まとめ8	53	総合問題対策13
	9	相続税法総まとめ9	54	総合問題対策14
	10	相続税法総まとめ10	55	総合問題対策15
	11	相続税法総まとめ11	56	総合問題対策16
	12	相続税法総まとめ12	57	総合問題対策17
	13	相続税法総まとめ13	58	総合問題対策18
	14	相続税法総まとめ14	59	総合問題対策19
	15	相続税法総まとめ15	60	総合問題対策20
	16	相続税法総まとめ16	61	総合問題対策21
	17	相続税法総まとめ17	62	総合問題対策22
	18	相続税法総まとめ18	63	総合問題対策23
	19	相続税法総まとめ19	64	総合問題対策24
	20	相続税法総まとめ20	65	総合問題対策25
	21	相続税法総まとめ21	66	総合問題対策26
	22	相続税法総まとめ22	67	総合問題対策27
	23	相続税法総まとめ23	68	総合問題対策28
	24	相続税法総まとめ24	69	総合問題対策29
	25	相続税法総まとめ25	70	総合問題対策30
	26	相続税法総まとめ26	71	総合問題対策31
	27	相続税法総まとめ27	72	総合問題対策32
	28	相続税法総まとめ28	73	総合問題対策33
	29	相続税法総まとめ29	74	総合問題対策34
	30	相続税法総まとめ30	75	総合問題対策35
	31	相続税法総まとめ31	76	総合問題対策36
	32	相続税法総まとめ32	77	総合問題対策37
	33	相続税法総まとめ33	78	総合問題対策38
	34	相続税法総まとめ34	79	総合問題対策39
	35	相続税法総まとめ35	80	総合問題対策40
	36	相続税法総まとめ36	81	総合問題対策41
	37	相続税法総まとめ37	82	総合問題対策42
	38	相続税法総まとめ38	83	総合問題対策43
	39	相続税法総まとめ39	84	総合問題対策44
	40	相続税法総まとめ40	85	総合問題対策45
	41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
	42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
	43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
	44	総合問題対策4	89	総合問題対策49
	45	総合問題対策5	90	総合問題対策50
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1	46	総合問題対策46
	2	総合問題対策2	47	総合問題対策47
	3	総合問題対策3	48	総合問題対策48
	4	総合問題対策4	49	総合問題対策49
	5	総合問題対策5	50	総合問題対策50
	6	総合問題対策6	51	総合問題対策51
	7	総合問題対策7	52	総合問題対策52
	8	総合問題対策8	53	総合問題対策53
	9	総合問題対策9	54	総合問題対策54
	10	総合問題対策10	55	総合問題対策55
	11	総合問題対策11	56	総合問題対策56
	12	総合問題対策12	57	総合問題対策57
	13	総合問題対策13	58	総合問題対策58
	14	総合問題対策14	59	総合問題対策59
	15	総合問題対策15	60	総合問題対策60
	16	総合問題対策16	61	総合問題対策61
	17	総合問題対策17	62	総合問題対策62
	18	総合問題対策18	63	総合問題対策63
	19	総合問題対策19	64	総合問題対策64
	20	総合問題対策20	65	総合問題対策65
	21	総合問題対策21	66	総合問題対策66
	22	総合問題対策22	67	総合問題対策67
	23	総合問題対策23	68	総合問題対策68
	24	総合問題対策24	69	総合問題対策69
	25	総合問題対策25	70	総合問題対策70
	26	総合問題対策26	71	総合問題演習1（計算）
	27	総合問題対策27	72	総合問題演習1（理論）
	28	総合問題対策28	73	総合問題演習2（計算）
	29	総合問題対策29	74	総合問題演習2（理論）
	30	総合問題対策30	75	総合問題演習3（計算）
	31	総合問題対策31	76	総合問題演習3（理論）
	32	総合問題対策32	77	総合問題演習4（計算）
	33	総合問題対策33	78	総合問題演習4（理論）
	34	総合問題対策34	79	総合問題演習5（計算）
	35	総合問題対策35	80	総合問題演習5（理論）
	36	総合問題対策36	81	総合問題演習6（計算）
	37	総合問題対策37	82	総合問題演習6（理論）
	38	総合問題対策38	83	総合問題演習7（計算）
	39	総合問題対策39	84	総合問題演習7（理論）
	40	総合問題対策40	85	総合問題演習8（計算）
	41	総合問題対策41	86	総合問題演習8（理論）
	42	総合問題対策42	87	総合問題演習9（計算）
	43	総合問題対策43	88	総合問題演習9（理論）
	44	総合問題対策44	89	総合問題演習10（計算）
	45	総合問題対策45	90	総合問題演習10（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ1 2 税効果会計Ⅰ2 3 税効果会計Ⅰ3 4 現在価値計算Ⅰ1 5 現在価値計算Ⅰ2 6 保険金Ⅰ1 7 保険金Ⅰ2 8 新株予約権付社債Ⅰ1 9 新株予約権付社債Ⅰ2 10 減損会計Ⅰ1 11 減損会計Ⅰ2 12 資産除去債務Ⅰ1 13 資産除去債務Ⅰ2 14 外貨建会計Ⅰ1 15 外貨建会計Ⅰ2 16 外貨建会計Ⅰ3 17 リース会計Ⅰ1 18 リース会計Ⅰ2 19 試用販売Ⅰ1 20 試用販売Ⅰ2 21 試用販売Ⅰ3 22 割賦販売Ⅰ1 23 割賦販売Ⅰ2 24 割賦販売Ⅰ3 25 未着品販売Ⅰ1 26 未着品販売Ⅰ2 27 未着品販売Ⅰ3 28 委託販売・受託販売Ⅰ1 29 委託販売・受託販売Ⅰ2 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正1 2 会計上の変更及び誤謬の訂正2 3 分配可能額1 4 分配可能額2 5 ストック・オプション1 6 ストック・オプション2 7 セール＆リースバック1 8 セール＆リースバック2 9 財務諸表等規則1 10 財務諸表等規則2 11 負債1 12 負債2 13 負債3 14 純資産会計1 15 純資産会計2 16 純資産会計3 17 企業結合会計1 18 企業結合会計2 19 企業結合会計3 20 事業分離会計1 21 事業分離会計2 22 事業分離会計3 23 四半期財務諸表1 24 四半期財務諸表2 25 ヘッジ会計1 26 ヘッジ会計2 27 包括利益1 28 包括利益2 29 包括利益3 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ1	46	純資産会計Ⅱ2
2	本支店会計Ⅰ2	47	有価証券Ⅱ1
3	本支店会計Ⅰ3	48	有価証券Ⅱ2
4	本支店会計Ⅰ4	49	外貨建会計Ⅱ1
5	本支店会計Ⅰ5	50	外貨建会計Ⅱ2
6	本支店会計Ⅰ6	51	リース会計Ⅱ1
7	組織再編会計Ⅰ1	52	リース会計Ⅱ2
8	組織再編会計Ⅰ2	53	試用販売Ⅱ1
9	組織再編会計Ⅰ3	54	試用販売Ⅱ2
10	組織再編会計Ⅰ4	55	割賦販売Ⅱ1
11	建設業会計Ⅰ1	56	割賦販売Ⅱ2
12	建設業会計Ⅰ2	57	未着品販売Ⅱ1
13	連結会計Ⅰ1	58	未着品販売Ⅱ2
14	連結会計Ⅰ2	59	委託販売・受託販売Ⅱ1
15	連結会計Ⅰ3	60	委託販売・受託販売Ⅱ2
16	連結会計Ⅰ4	61	本支店会計Ⅱ1
17	製造業会計Ⅰ1	62	本支店会計Ⅱ2
18	製造業会計Ⅰ2	63	組織再編会計Ⅱ1
19	製造業会計Ⅰ3	64	組織再編会計Ⅱ2
20	製造業会計Ⅰ4	65	連結会計Ⅱ1
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1	66	連結会計Ⅱ2
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4	69	項目別答練1
25	繰延資産Ⅰ1	70	項目別答練2
26	繰延資産Ⅰ2	71	項目別答練3
27	圧縮記帳Ⅰ1	72	項目別答練4
28	圧縮記帳Ⅰ2	73	項目別答練5
29	ストック・オプションⅠ1	74	項目別答練6
30	ストック・オプションⅠ2	75	基礎答練1
31	現金預金Ⅱ1	76	基礎答練2
32	現金預金Ⅱ2	77	基礎答練3
33	商品売買Ⅱ1	78	応用答練1
34	商品売買Ⅱ2	79	応用答練2
35	商品売買Ⅱ3	80	応用答練3
36	固定資産Ⅱ1	81	過去問演習1
37	固定資産Ⅱ2	82	過去問演習2
38	退職給付会計Ⅱ1	83	過去問演習3
39	退職給付会計Ⅱ2	84	過去問演習4
40	債権債務Ⅱ1	85	過去問演習5
41	債権債務Ⅱ2	86	問題演習実践1
42	税金Ⅱ	87	問題演習実践2
43	社債Ⅱ1	88	問題演習実践3
44	社債Ⅱ2	89	問題演習実践4
45	純資産会計Ⅱ1	90	模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ1	46	総合問題対策6
	2	財務諸表論総まとめ2	47	総合問題対策7
	3	財務諸表論総まとめ3	48	総合問題対策8
	4	財務諸表論総まとめ4	49	総合問題対策9
	5	財務諸表論総まとめ5	50	総合問題対策10
	6	財務諸表論総まとめ6	51	総合問題対策11
	7	財務諸表論総まとめ7	52	総合問題対策12
	8	財務諸表論総まとめ8	53	総合問題対策13
	9	財務諸表論総まとめ9	54	総合問題対策14
	10	財務諸表論総まとめ10	55	総合問題対策15
	11	財務諸表論総まとめ11	56	総合問題対策16
	12	財務諸表論総まとめ12	57	総合問題対策17
	13	財務諸表論総まとめ13	58	総合問題対策18
	14	財務諸表論総まとめ14	59	総合問題対策19
	15	財務諸表論総まとめ15	60	総合問題対策20
	16	財務諸表論総まとめ16	61	総合問題対策21
	17	財務諸表論総まとめ17	62	総合問題対策22
	18	財務諸表論総まとめ18	63	総合問題対策23
	19	財務諸表論総まとめ19	64	総合問題対策24
	20	財務諸表論総まとめ20	65	総合問題対策25
	21	財務諸表論総まとめ21	66	総合問題対策26
	22	財務諸表論総まとめ22	67	総合問題対策27
	23	財務諸表論総まとめ23	68	総合問題対策28
	24	財務諸表論総まとめ24	69	総合問題対策29
	25	財務諸表論総まとめ25	70	総合問題対策30
	26	財務諸表論総まとめ26	71	総合問題対策31
	27	財務諸表論総まとめ27	72	総合問題対策32
	28	財務諸表論総まとめ28	73	総合問題対策33
	29	財務諸表論総まとめ29	74	総合問題対策34
	30	財務諸表論総まとめ30	75	総合問題対策35
	31	財務諸表論総まとめ31	76	総合問題対策36
	32	財務諸表論総まとめ32	77	総合問題対策37
	33	財務諸表論総まとめ33	78	総合問題対策38
	34	財務諸表論総まとめ34	79	総合問題対策39
	35	財務諸表論総まとめ35	80	総合問題対策40
	36	財務諸表論総まとめ36	81	総合問題対策41
	37	財務諸表論総まとめ37	82	総合問題対策42
	38	財務諸表論総まとめ38	83	総合問題対策43
	39	財務諸表論総まとめ39	84	総合問題対策44
	40	財務諸表論総まとめ40	85	総合問題対策45
	41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
	42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
	43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
	44	総合問題対策4	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策5	90	模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合Ｉ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1	24	総合問題対策24
	2	総合問題対策2	25	総合問題対策25
	3	総合問題対策3	26	総合問題対策26
	4	総合問題対策4	27	総合問題対策27
	5	総合問題対策5	28	総合問題対策28
	6	総合問題対策6	29	総合問題対策29
	7	総合問題対策7	30	総合問題対策30
	8	総合問題対策8	31	総合問題対策31
	9	総合問題対策9	32	総合問題対策32
	10	総合問題対策10	33	総合問題対策33
	11	総合問題対策11	34	総合問題対策34
	12	総合問題対策12	35	総合問題対策35
	13	総合問題対策13	36	総合問題演習1
	14	総合問題対策14	37	総合問題演習2
	15	総合問題対策15	38	総合問題演習3
	16	総合問題対策16	39	総合問題演習4
	17	総合問題対策17	40	総合問題演習5
	18	総合問題対策18	41	総合問題演習6
	19	総合問題対策19	42	総合問題演習7
	20	総合問題対策20	43	総合問題演習8
	21	総合問題対策21	44	総合問題演習9
	22	総合問題対策22	45	総合問題演習10
	23	総合問題対策23		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ1 2 簿記の概要Ⅰ2 3 簿記の概要Ⅰ3 4 簿記の概要Ⅰ4 5 現金預金Ⅰ1 6 現金預金Ⅰ2 7 現金預金Ⅰ3 8 債権債務Ⅰ1 9 債権債務Ⅰ2 10 商品売買Ⅰ1 11 商品売買Ⅰ2 12 商品売買Ⅰ3 13 給料等Ⅰ1 14 給料等Ⅰ2 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎 2 個別注記表 3 現金及び預金 4 債権債務 5 関係会社概念 6 売上原価の算定 7 貸倒れ 8 給料等 9 その他の引当金 10 退職給付会計 11 有形固定資産 12 無形固定資産 13 株主資本 14 財務諸表論の基礎概念 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 課税の対象3 5 課税の対象4 6 非課税1 7 非課税2 8 非課税3 9 非課税4 10 輸出免税等1 11 輸出免税等2 12 輸出免税等3 13 輸出免税等4 14 資産の譲渡等の時期 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要 3 相続税法と民法 4 相続人、代襲相続 5 養子の子の取扱い 6 相続の承認と放棄 7 相続分（法定相続分、代襲相続分） 8 遺言による財産の取得 9 相続税の納税義務者 10 生命保険金等 11 相続税の非課税財産 12 相続税額の計算方法 13 生命保険金等の非課税金額 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 納税義務者 3 課税所得の範囲 4 交際費等の損金不算入 5 減価償却1 6 減価償却2 7 減価償却3 8 受取配当等の益金不算入 9 寄附金の損金不算入 10 租税公課等 11 納税充当金1 12 納税充当金2 13 別表四の作成 14 事業年度 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 非課税1 5 非課税2 6 輸出免税等1 7 輸出免税等2 8 資産の譲渡等の時期 9 控除対象仕入税額1 10 控除対象仕入税額2 11 売上げに係る対価の返還等 12 貸倒れが生じた場合 13 課税仕入れの範囲1 14 課税仕入れの範囲2 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	情報処理基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義９０時間、演習３０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	基礎理論1	31	セキュリティ5
2	基礎理論2	32	企業活動1
3	基礎理論3	33	企業活動2
4	アルゴリズムとプログラミング1	34	企業活動3
5	アルゴリズムとプログラミング2	35	法務1
6	アルゴリズムとプログラミング3	36	法務2
7	アルゴリズムとプログラミング4	37	法務3
8	コンピュータ構成要素、システム構成要素1	38	経営戦略マネジメント1
9	コンピュータ構成要素、システム構成要素2	39	経営戦略マネジメント2
10	コンピュータ構成要素、システム構成要素3	40	経営戦略マネジメント3
11	ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース1	41	技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ1
12	ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース2	42	技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ2
13	ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース3	43	技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ3
14	ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース4	44	技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ4
15	マルチメディア、データベース1	45	システム戦略、システム企画1
16	マルチメディア、データベース2	46	システム戦略、システム企画2
17	マルチメディア、データベース3	47	システム戦略、システム企画3
18	マルチメディア、データベース4	48	システム戦略、システム企画4
19	マルチメディア、データベース5	49	システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術1
20	マルチメディア、データベース6	50	システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術2
21	ネットワーク1	51	システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術3
22	ネットワーク2	52	システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術4
23	ネットワーク3	53	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント1
24	ネットワーク4	54	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント2
25	ネットワーク5	55	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント3
26	ネットワーク6	56	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント4
27	セキュリティ1	57	システム監査1
28	セキュリティ2	58	システム監査2
29	セキュリティ3	59	システム監査3
30	セキュリティ4	60	システム監査4

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成1 2 プレゼンテーションの作成2 3 スライドの挿入、書式設定1 4 スライドの挿入、書式設定2 5 配布資料、ノートの変更1 6 配布資料、ノートの変更2 7 配布資料、ノートの変更3 8 スライドの並べ替え、グループ化1 9 スライドの並べ替え、グループ化2 10 スライドの並べ替え、グループ化3 11 オプションの変更1 12 オプションの変更2 13 オプションの変更3 14 スライドショーの設定、実行1 15 スライドショーの設定、実行2 16 スライドショーの設定、実行3 17 テキストの挿入、書式設定1 18 テキストの挿入、書式設定2 19 テキストの挿入、書式設定3 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定1 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定2 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定3 23 図の挿入、書式設定1 24 図の挿入、書式設定2 25 図の挿入、書式設定3 26 図の挿入、書式設定4 27 図形の並び替え、グループ化1 28 図形の並び替え、グループ化2 29 図形の並び替え、グループ化3 30 図形の並び替え、グループ化4
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定1 3 グラフの挿入、書式設定2 4 SmartArtの挿入、書式設定1 5 SmartArtの挿入、書式設定2 6 メディアの挿入、管理1 7 メディアの挿入、管理2 8 画面切り替えの設定1 9 画面切り替えの設定2 10 アニメーションの設定1 11 アニメーションの設定2 12 複数のコンテンツの結合1 13 複数のコンテンツの結合2 14 プレゼンテーションの保護、共有1 15 プレゼンテーションの保護、共有2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成1 2 文章の作成2 3 文章内の移動1 4 文章内の移動2 5 文章の書式設定1 6 文章の書式設定2 7 文章の書式設定3 8 文章の書式設定4 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ1 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ2 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ3 13 文章の印刷、保存1 14 文章の印刷、保存2 15 文章の印刷、保存3 16 文章の印刷、保存4 17 文字列・段落の挿入1 18 文字列・段落の挿入2 19 文字列・段落の挿入3 20 文字列・段落の挿入4 21 文字列・段落の書式設定1 22 文字列・段落の書式設定2 23 文字列・段落の書式設定3 24 文字列・段落の書式設定4 25 文字列・段落の書式設定5 26 文字列・段落の並び替え、グループ化1 27 文字列・段落の並び替え、グループ化2 28 文字列・段落の並び替え、グループ化3 29 文字列・段落の並び替え、グループ化4 30 文字列・段落の並び替え、グループ化5
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更1 3 表の変更2 4 リストの作成、変更1 5 リストの作成、変更2 6 参照のための情報・記号の作成、管理1 7 参照のための情報・記号の作成、管理2 8 標準の参考資料作成、管理1 9 標準の参考資料作成、管理2 10 グラフィック要素の挿入1 11 グラフィック要素の挿入2 12 グラフィック要素の書式設定1 13 グラフィック要素の書式設定2 14 SmartArtの挿入、書式設定1 15 SmartArtの挿入、書式設定2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営管理入門
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 企業のライフステージ1 2 企業のライフステージ2 3 経営理念と経営戦略1 4 経営理念と経営戦略2 5 経営企画の必要性、事業承継1 6 経営企画の必要性、事業承継2 7 中小企業の資金調達1 8 中小企業の資金調達2 9 企業を取り巻くリスク1 10 企業を取り巻くリスク2 11 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析1 12 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析2 13 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析3 14 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析4 15 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析5 16 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析6 17 利益管理、予算管理1 18 利益管理、予算管理2 19 企業形態としての会社、株式会社の機関1 20 企業形態としての会社、株式会社の機関2 21 株式の譲渡と相続、株主総会1 22 株式の譲渡と相続、株主総会2 23 取締役、代表取締役、取締役会1 24 取締役、代表取締役、取締役会2 25 会社の事業の拡大と整理1 26 会社の事業の拡大と整理2 27 コンプライアンス経営の実践1 28 コンプライアンス経営の実践2 29 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇1 30 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇2
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役で販売接客職に従事している講師が、実務者の観点から職場でのビジネスマナー等に関する講義を行う。
授業計画	1 職場での心構え1 2 職場での心構え2 3 職場に必要な能力1 4 職場に必要な能力2 5 職場の役割と機能1 6 職場の役割と機能2 7 秘書の職務1 8 秘書の職務2 9 企業の基礎知識1 10 企業の基礎知識2 11 企業組織の活動1 12 企業組織の活動2 13 社会常識1 14 社会常識2 15 社会常識3
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務応用Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義２０時間、演習４０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役で販売接客職に従事している講師が、実務者の観点から職場でのビジネススキル等に関する講義を行う。
授業計画	1 人間関係と話し方・聞き方1 2 人間関係と話し方・聞き方2 3 人間関係と話し方・聞き方3 4 人間関係と話し方・聞き方4 5 敬語と接遇用語1 6 敬語と接遇用語2 7 敬語と接遇用語3 8 敬語と接遇用語4 9 電話応対1 10 電話応対2 11 電話応対3 12 電話応対4 13 来客応対1 14 来客応対2 15 来客応対3 16 交際業務1 17 交際業務2 18 ビジネス文書の作成1 19 ビジネス文書の作成2 20 ビジネス文書の作成3 21 ビジネス文書の作成4 22 文書・資料管理1 23 文書・資料管理2 24 文書・資料管理3 25 日程管理1 26 日程管理2 27 日程管理3 28 日程管理4 29 環境整備1 30 環境整備2
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	秘書としての考え方、職務知識、マナー・接遇について体系的に学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 2 秘書に求められる能力 3 秘書の役割・機能、職務内容 4 一般知識 5 報告・説明の仕方 6 敬語の用法 7 電話応対1 8 電話応対2 9 来客応対1 10 来客応対2 11 社内文章・社外文章1 12 社内文章・社外文章2 13 メール・郵便・書類整理の知識1 14 メール・郵便・書類整理の知識2 15 出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	販売接客職に従事する講師が、販売員の役割や関連法令知識、形態別小売業に関し、実務者の観点から講義を行う。
授業計画	1 販売員の役割1 2 販売員の役割2 3 販売員の役割3 4 販売員の法廷知識1 5 販売員の法廷知識2 6 販売員の法廷知識3 7 小売業の計数管理1 8 小売業の計数管理2 9 小売業の計数管理3 10 店舗管理1 11 店舗管理2 12 店舗管理3 13 店舗管理4 14 店舗管理5 15 店舗管理6 16 流通における小売業1 17 流通における小売業2 18 流通における小売業3 19 流通における小売業4 20 流通における小売業5 21 流通における小売業6 22 組織形態別小売業1 23 組織形態別小売業2 24 組織形態別小売業3 25 店舗形態別小売業1 26 店舗形態別小売業2 27 店舗形態別小売業3 28 商業集積1 29 商業集積2 30 商業集積3 31 商業集積4 32 商業集積5 33 商業集積6 34 小売業のマーケティング1 35 小売業のマーケティング2 36 小売業のマーケティング3 37 小売業のマーケティング4 38 小売業のマーケティング5 39 小売業のマーケティング6 40 顧客満足経営1 41 顧客満足経営2 42 顧客満足経営3 43 顧客満足経営4 44 顧客満足経営5 45 顧客満足経営6
成績評価方法 （試験実施方法）	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	販売接客職に従事する講師が、ストアオペレーションやマーチャンダイジングに関して、実務者の観点から講義を行う。
授業計画	1 証券の設定と出店1 2 証券の設定と出店2 3 証券の設定と出店3 4 リージョナルプロモーション1 5 リージョナルプロモーション2 6 リージョナルプロモーション3 7 顧客志向型売り場づくり1 8 顧客志向型売り場づくり2 9 顧客志向型売り場づくり3 10 ストアオペレーション1 11 ストアオペレーション2 12 ストアオペレーション3 13 ストアオペレーション4 14 ストアオペレーション5 15 ストアオペレーション6 16 梱包技術1 17 梱包技術2 18 梱包技術3 19 ディスプレイ1 20 ディスプレイ2 21 ディスプレイ3 22 商品1 23 商品2 24 商品3 25 マーチャンダイジング1 26 マーチャンダイジング2 27 マーチャンダイジング3 28 マーチャンダイジング4 29 マーチャンダイジング5 30 マーチャンダイジング6 31 商品計画1 32 商品計画2 33 商品計画3 34 販売計画及び仕入れ計画1 35 販売計画及び仕入れ計画2 36 販売計画及び仕入れ計画3 37 価格設定1 38 価格設定2 39 価格設定3 40 在庫管理1 41 在庫管理2 42 在庫管理3 43 販売管理1 44 販売管理2 45 販売管理3
成績評価方法 （試験実施方法）	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理1 2 ワークシートやブックの作成と管理2 3 セルやセル範囲のデータの管理1 4 セルやセル範囲のデータの管理2 5 テーブルの作成1 6 テーブルの作成2 7 テーブルの作成3 8 関数を使用してのデータ集計1 9 関数を使用してのデータ集計2 10 関数を使用してのデータ集計3 11 関数を使用しての条件付き計算1 12 関数を使用しての条件付き計算2 13 関数を使用しての条件付き計算3 14 関数を使用した文字列の整形や変更1 15 関数を使用した文字列の整形や変更2 16 関数を使用した文字列の整形や変更3 17 グラフの作成1 18 グラフの作成2 19 グラフの作成3 20 グラフの書式設定1 21 グラフの書式設定2 22 グラフの書式設定3 23 グラフの書式設定4 24 グラフの書式設定5 25 オブジェクトの挿入や書式設定1 26 オブジェクトの挿入や書式設定2 27 オブジェクトの挿入や書式設定3 28 オブジェクトの挿入や書式設定4 29 オブジェクトの挿入や書式設定5 30 オブジェクトの挿入や書式設定6
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ネットビジネス基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ビジネスショップのビジネス環境1 2 ビジネスショップのビジネス環境2 3 ビジネスショップのビジネス環境3 4 ビジネスショップのビジネス環境4 5 ビジネスショップのビジネス環境5 6 小売業の分類と特徴1 7 小売業の分類と特徴2 8 小売業の分類と特徴3 9 小売業の分類と特徴4 10 小売業の分類と特徴5 11 ネットショップの位置づけ1 12 ネットショップの位置づけ2 13 ネットショップの位置づけ3 14 ネットショップの位置づけ4 15 ネットショップの位置づけ5 16 ネットショップの動向1 17 ネットショップの動向2 18 ネットショップの動向3 19 ネットショップの動向4 20 ネットショップの動向5 21 ネットショップの出店形態と特徴1 22 ネットショップの出店形態と特徴2 23 ネットショップの出店形態と特徴3 24 ネットショップの出店形態と特徴4 25 ネットショップの出店形態と特徴5 26 ネットショップ事務の共通知識1 27 ネットショップ事務の共通知識2 28 ネットショップ事務の共通知識3 29 ネットショップ事務の共通知識4 30 ネットショップ事務の共通知識5
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 事務職に適したスーツの着こなし 2 事務職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 事務職で良く聞かれる質疑応答1 5 事務職で良く聞かれる質疑応答2 6 筆記試験とは（一般常識試験）1 7 筆記試験とは（一般常識試験）2 8 筆記試験とは（適性検査試験）1 9 筆記試験とは（適性検査試験）2 10 作文の目的・形式と内容1 11 作文の目的・形式と内容2 12 作文の実践テクニック1 13 作文の実践テクニック2 14 作文の実践テクニック3 15 作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集1 4 会社四季報、新聞からの情報収集2 5 総合職と一般職 6 事務職職種研究1 7 事務職職種研究2 8 事務職職種研究3 9 事務職職種研究4 10 事務職職種研究5 11 事務職への志望理由1 12 事務職への志望理由2 13 事務職への志望理由3 14 事務職への志望理由4 15 事務職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	販売職に従事する実務家による実習形式の授業
授業計画	1 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし 2 販売・接客・企画職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答1 5 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答2 6 筆記試験とは（一般常識試験）1 7 筆記試験とは（一般常識試験）2 8 筆記試験とは（適性検査試験）1 9 筆記試験とは（適性検査試験）2 10 作文の目的・形式と内容1 11 作文の目的・形式と内容2 12 作文の実践テクニック1 13 作文の実践テクニック2 14 作文の実践テクニック3 15 作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	販売職に従事する実務家による実習形式の授業
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集1 4 会社四季報、新聞からの情報収集2 5 総合職と一般職 6 販売・接客・企画職職種研究1 7 販売・接客・企画職職種研究2 8 販売・接客・企画職職種研究3 9 販売・接客・企画職職種研究4 10 販売・接客・企画職職種研究5 11 販売・接客・企画職への志望理由1 12 販売・接客・企画職への志望理由2 13 販売・接客・企画職への志望理由3 14 販売・接客・企画職への志望理由4 15 販売・接客・企画職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科2年制　税理士コース	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	就職活動および就職試験の対策	
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習	
達成目標	面接時の入退室および自己PRが回答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職の心構え
	2	自己分析1
	3	自己分析2
	4	自己分析3
	5	自己分析4
	6	自己ＰＲ作成1
	7	自己ＰＲ作成2
	8	自己ＰＲ作成3
	9	自己ＰＲ作成4
	10	効果測定　自己ＰR
	11	筆記試験とは
	12	一般常識対策1
	13	一般常識対策2
	14	一般常識対策3
	15	一般常識対策4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	就職活動および就職試験の対策
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	面接時の自己PRおよび志望動機が十分に回答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	面接試験とは	24	面接試試験における質問研究6
2	面接試試験における質問研究1	25	面接トレーニング5
3	面接試試験における質問研究2	26	面接トレーニング6
4	面接試試験における質問研究3	27	エントリーシート作成1
5	説明会・選考試験とは	28	エントリーシート作成2
6	入退室方法の確認	29	エントリーシート作成3
7	面接トレーニング1	30	作文演習1
8	面接トレーニング2	31	作文演習2
9	応募書類の準備	32	インターネットによるアクセス
10	履歴書作成1	33	電子メールによるアクセス
11	履歴書作成2	34	電話によるアクセス
12	履歴書作成3	35	電話応対実践1
13	仕事・会社選びの基礎知識	36	電話応対実践2
14	企業研究シート作成1	37	電話応対実践3
15	企業研究シート作成2	38	効果測定　電話応対
16	企業研究シート作成3	39	就職活動における自己管理
17	志望動機作成1	40	面接トレーニング7
18	志望動機作成2	41	面接トレーニング8
19	志望動機作成3	42	就職活動マニュアルの確認
20	面接トレーニング3	43	就職活動システムの利用方法
21	面接トレーニング4	44	面接トレーニング9
22	面接試試験における質問研究4	45	面接トレーニング10
23	面接試試験における質問研究5		

成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正1 8 誤字訂正2・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方1 11 漢字の意味・使い方2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	IT基礎全般において、基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ハードウェアⅠ	24	問題演習8
	2	基礎理論1	25	ネットワーク1
	3	問題演習1	26	ネットワーク2
	4	基礎理論2	27	問題演習9
	5	基礎理論3	28	ネットワーク3、セキュリティ1
	6	問題演習2	29	セキュリティ2
	7	ハードウェアⅡ1	30	問題演習10
	8	ハードウェアⅡ2	31	セキュリティ3、システム構成要素1
	9	問題演習3	32	システム構成要素2
	10	ハードウェアⅡ3	33	問題演習11
	11	ソフトウェア1	34	システム構成要素3
	12	問題演習4	35	マルチメディア
	13	ソフトウェア2	36	問題演習12
	14	ソフトウェア3	37	システム開発1
	15	問題演習5	38	システム開発2
	16	ソフトウェア4、アルゴリズム1	39	問題演習13
	17	アルゴリズム2	40	マネジメント1
	18	問題演習6	41	マネジメント2
	19	アルゴリズム3	42	問題演習14
	20	データベース1	43	ストラテジ1
	21	問題演習7	44	ストラテジ2
	22	データベース2	45	問題演習15
	23	データベース3		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義			
達成目標	基本情報技術者試験の午前科目試験に合格できるレベルに達する			
教科書	オリジナルテキストおよび答案作成練習問題			
特記				
授業計画	1	項目別問題演習1	24	総合問題演習13
	2	項目別問題演習2	25	総合問題演習14
	3	項目別問題演習3	26	総合問題演習15
	4	項目別問題演習4	27	総合問題演習16
	5	項目別問題演習5	28	総合問題演習17
	6	項目別問題演習6	29	総合問題演習18
	7	項目別問題演習7	30	総合問題演習19
	8	項目別問題演習8	31	総合問題演習20
	9	項目別問題演習9	32	総合問題演習21
	10	項目別問題演習10	33	総合問題演習22
	11	項目別問題演習11	34	総合問題演習23
	12	項目別問題演習12	35	総合問題演習24
	13	項目別問題演習13	36	総合問題演習25
	14	項目別問題演習14	37	直前対策問題演習1
	15	項目別問題演習15	38	直前対策問題演習2
	16	項目別問題演習16	39	直前対策問題演習3
	17	項目別問題演習17	40	直前対策問題演習4
	18	項目別問題演習18	41	直前対策問題演習5
	19	総合問題演習1	42	直前対策問題演習6
	20	総合問題演習2	43	直前対策問題演習7
	21	総合問題演習3	44	直前対策問題演習8
	22	総合問題演習4	45	直前対策問題演習9
	23	総合問題演習5		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義６０時間、演習３０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験の基礎問題に正答できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	アルゴリズム1	24	問題演習8
	2	アルゴリズム2	25	CASLⅡ9
	3	問題演習1	26	CASLⅡ10
	4	アルゴリズム3	27	問題演習9
	5	アルゴリズム4	28	CASLⅡ11
	6	問題演習2	29	CASLⅡ12
	7	アルゴリズム5	30	問題演習10
	8	アルゴリズム6	31	知識の応用1
	9	問題演習3	32	知識の応用2
	10	アルゴリズム7	33	問題演習11
	11	アルゴリズム8	34	知識の応用3
	12	問題演習4	35	知識の応用4
	13	CASLⅡ1	36	問題演習12
	14	CASLⅡ2	37	知識の応用5
	15	問題演習5	38	知識の応用6
	16	CASLⅡ3	39	問題演習13
	17	CASLⅡ4	40	知識の応用7
	18	問題演習6	41	知識の応用8
	19	CASLⅡ5	42	問題演習14
	20	CASLⅡ6	43	知識の応用9
	21	問題演習7	44	知識の応用10
	22	CASLⅡ7	45	問題演習15
	23	CASLⅡ8		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義３０時間、演習９０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義			
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する			
教科書	答案作成練習問題			
特記				
授業計画	1	項目別問題演習1	31	項目別問題演習25
	2	項目別問題演習2	32	項目別問題演習26
	3	項目別問題演習3	33	項目別問題演習27
	4	項目別問題演習4	34	項目別問題演習28
	5	項目別問題演習5	35	項目別問題演習29
	6	項目別問題演習6	36	項目別問題演習30
	7	項目別問題演習7	37	項目別問題演習31
	8	項目別問題演習8	38	項目別問題演習32
	9	項目別問題演習9	39	項目別問題演習33
	10	復習・検証問題演習1	40	復習・検証問題演習7
	11	復習・検証問題演習2	41	復習・検証問題演習8
	12	復習・検証問題演習3	42	復習・検証問題演習9
	13	項目別問題演習10	43	過去問題演習1
	14	項目別問題演習11	44	過去問題演習2
	15	項目別問題演習12	45	過去問題演習3
	16	項目別問題演習13	46	過去問題演習4
	17	項目別問題演習14	47	過去問題演習5
	18	項目別問題演習15	48	過去問題演習6
	19	項目別問題演習16	49	過去問題演習7
	20	項目別問題演習17	50	過去問題演習8
	21	項目別問題演習18	51	過去問題演習9
	22	項目別問題演習19	52	過去問題演習10
	23	項目別問題演習20	53	過去問題演習11
	24	項目別問題演習21	54	過去問題演習12
	25	項目別問題演習22	55	過去問題演習13
	26	項目別問題演習23	56	過去問題演習14
	27	項目別問題演習24	57	過去問題演習15
	28	復習・検証問題演習4	58	公開模擬試験1
	29	復習・検証問題演習5	59	公開模擬試験2
	30	復習・検証問題演習6	60	公開模擬試験3
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コンピュータリテラシー
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Officeソフト：Word、Excel、PowerPointの操作学習
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	Officeソフトの基本的な操作方法を身につける
教科書	情報利活用　基本実習
特記	
授業計画	1 コンピューターの基本操作 2 一般的なビジネス文書の作成 3 シンプルなレポートや報告書の作成 4 表、画像、図形を使った文書の作成 5 効果測定　文書作成 6 プレゼンテーションの企画 7 わかりやすいストーリー構成 8 センスアップするレイアウトデザイン 9 イメージを伝えるイラスト・写真活用 10 効果測定　プレゼンテーション 11 表作成の基本操作 12 見やすく使いやすい表にする編集操作 13 数式・関数を活用した集計表の作成 14 グラフの基本 15 効果測定　表計算
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	HTML／CSS
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	HTML／CSS
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	HTML／CSSを使用してWebページの作成ができる
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本
特記	
授業計画	1 Webサイト作成準備 2 HTMLの基本 3 HTML文書の設計 4 共通ページから個別ページの作成1 5 共通ページから個別ページの作成2 6 CSSの基本1 7 CSSの基本2 8 CSSで共通部分をデザインする1 9 CSSで共通部分をデザインする2 10 コンテンツのデザインを整える1 11 コンテンツのデザインを整える2 12 スマートフォンに対応させる1 13 スマートフォンに対応させる2 14 Webサイトを公開する・機能追加 15 効果測定　HTML/CSS
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	JavaScript
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	６０時間（講義３０時間、実習３０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	JavaScript
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる
教科書	３ステップでしっかり学ぶJavaScript入門
特記	
授業計画	1 JavaScriptの基礎知識 2 はじめてのプログラム1 3 はじめてのプログラム2 4 変数と演算について1 5 変数と演算について2 6 条件分岐1 7 条件分岐2 8 繰り返し1 9 繰り返し2 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作1 12 オブジェクトの操作2 13 オブジェクトの操作3 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 効果測定　JavaScript1 17 Webブラウザのオブジェクト1 18 Webブラウザのオブジェクト2 19 Webブラウザのオブジェクト3 20 デジタル時計の作成 21 イメージを操作する 22 ユーザ定義オブジェクト 23 DOMの操作1 24 DOMの操作2 25 DOMの操作3 26 Ajax1 27 Ajax2 28 Ajax3 29 Ajax4 30 効果測定　JavaScript2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	データベース
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる
教科書	スッキリわかる SQL入門
特記	
授業計画	1 初めてのSQL 2 基本文法と4大命令 3 操作する行の絞り込み1 4 操作する行の絞り込み2 5 検索結果の加工 6 式と関数 7 集計とグループ化 8 副問い合わせ 9 複数テーブルの問い合わせ 10 トランザクション 11 テーブルの作成 12 さまざまな支援機能 13 テーブルの設計1 14 テーブルの設計2 15 効果測定　データベース
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Python			
実務家教員	○			
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	９０時間（講義４５時間、実習４５時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	Pythonの基本文法とプログラムの実装			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる			
教科書	新・明解 Python入門			
特記	現役のITエンジニアの講師が、実務者の観点からPythonの実習を行う。			
授業計画	1	Pythonをはじめる	24	関数の基礎2
	2	画面への表示とキーボードからの入力	25	文書化文字列とアノテーション
	3	制御・条件分岐1	26	名前空間とスコープ
	4	制御・条件分岐2	27	高階関数とラムダ式
	5	制御・条件分岐3	28	モジュール
	6	プログラムの構成要素	29	パッケージ
	7	制御・繰り返し1	30	効果測定　Python2
	8	制御・繰り返し2	31	クラス1
	9	制御・繰り返し3	32	クラス2
	10	オブジェクトと型1	33	クラス変数とクラスメソッド
	11	オブジェクトと型2	34	継承1
	12	文字列の基礎	35	継承2
	13	文字列の操作	36	例外処理1
	14	文字列の書式化	37	例外処理2
	15	効果測定　Python1	38	ファイル処理の基礎1
	16	リスト1	39	ファイル処理の基礎2
	17	リスト2	40	バイナリファイル
	18	リスト3	41	総合実習1
	19	リスト4	42	総合実習2
	20	タプル	43	総合実習3
	21	辞書	44	総合実習4
	22	集合	45	効果測定　Python3
	23	関数の基礎1		
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オブジェクト指向分析設計	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	６０時間（講義３０時間、実習３０時間）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる	
教科書	システムの分析と設計　図解とUMLによるアプローチ	
特記		
授業計画	1	各種ツールの準備
	2	システム分析の本質
	3	図解技法の応用（例題と実習）
	4	実習1
	5	実習2
	6	システム分析・設計の手順
	7	UMLの基本1
	8	UMLの基本2
	9	システム分析の事例実習1－1
	10	システム分析の事例実習1－2
	11	システム分析の事例実習1－3
	12	システム分析の事例実習2－1
	13	システム分析の事例実習2－2
	14	システム分析の事例実習2－3
	15	効果測定　オブジェクト指向分析設計1
	16	システム分析の事例実習3－1
	17	システム分析の事例実習3－2
	18	システム分析の事例実習3－3
	19	UMLを用いたシステムの設計の基礎
	20	システム設計の事例実習1
	21	システム設計の事例実習2
	22	システム設計の事例実習3
	23	総合実習1
	24	総合実習2
	25	総合実習3
	26	総合実習4
	27	総合実習5
	28	総合実習6
	29	総合実習7
	30	効果測定　オブジェクト指向分析設計2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アジャイルソフトウェア開発	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる	
教科書	アジャイル開発への道案内	
特記		
授業計画	1	アジャイル開発の現状と課題
	2	アジャイル開発の概要
	3	アジャイル開発の特徴
	4	アジャイル開発プロセス
	5	アジャイル開発の効果とリスク
	6	上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発
	7	アジャイル開発の事例
	8	まとめと実習
	9	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計1
	10	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計2
	11	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計3
	12	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計4
	13	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計5
	14	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計6
	15	効果測定　アジャイルソフトウェア開発
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Java
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	１２０時間（講義６０時間、実習６０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門、Java8問題集
特記	

授業計画

1	はじめてのJava	31	抽象クラス1
2	変数を使う	32	抽象クラス2
3	制御構文・分岐1　if文1	33	インタフェース1
4	制御構文・分岐2　if文2	34	インタフェース1
5	制御構文・分岐3　switch文 キーワード・識別子・演算子	35	実習2
6	制御構文・繰り返し1　do-while文	36	文字と文字列1
7	制御構文・繰り返し2　while文	37	文字と文字列2
8	制御構文・繰り返し3　for文	38	例外処理1
9	制御構文・繰り返し4	39	例外処理2
10	基本型と演算	40	効果測定　Java3
11	配列1	41	総合実習　ようこそJavaの世界へ
12	配列2	42	総合実習　はじめてのJavaプログラム
13	配列3	43	総合実習　基本的なJavaプログラムの構造
14	実習1	44	総合実習　コンピュータで扱うデータ表現
15	効果測定　Java1	45	総合実習　変数／定数と型
16	メソッド1	46	総合実習　演算と演算子
17	メソッド2	47	総合実習　配列の宣言・生成1
18	メソッド3	48	総合実習　配列の宣言・生成2
19	クラスの基本1	49	総合実習　制御文1
20	クラスの基本2	50	総合実習　制御文2
21	日付クラスの作成1	51	総合実習　クラスとオブジェクト1
22	日付クラスの作成2	52	総合実習　クラスとオブジェクト2
23	クラス変数とクラスメソッド1	53	総合実習　クラスの関係を深める1
24	クラス変数とクラスメソッド2	54	総合実習　クラスの関係を深める2
25	クラス変数とクラスメソッド3	55	総合実習　クラスの継承1
26	パッケージ	56	総合実習　クラスの継承2
27	クラスの派生と多相性1	57	総合実習　例外処理1
28	クラスの派生と多相性1	58	総合実習　例外処理2
29	クラスの派生と多相性1	59	まとめ
30	効果測定　Java2	60	効果測定　Java4

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	PHP
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義６０時間、実習３０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる
教科書	詳細！PHP７＋MySQL 入門ノート
特記	

授業計画				
	1	PHPの概要と準備	24	各種フォームの使用3
	2	変数	25	各種フォームの使用4
	3	演算子	26	セッションとクッキー1
	4	制御構造・分岐文	27	セッションとクッキー2
	5	制御構造・繰り返し文	28	セッションとクッキー3
	6	関数1	29	効果測定　PHP2
	7	関数2	30	ファイルの読み込みと書き出し1
	8	文字列操作1	31	ファイルの読み込みと書き出し2
	9	文字列操作2	32	ファイルの読み込みと書き出し3
	10	文字列操作3	33	phpMyAdminを使う1
	11	配列1	34	phpMyAdminを使う2
	12	配列2	35	MySQLを操作する1
	13	配列3	36	MySQLを操作する2
	14	効果測定　PHP1	37	MySQLを操作する3
	15	オブジェクト指向プログラミング1	38	MySQLを操作する4
	16	オブジェクト指向プログラミング2	39	総合演習1
	17	オブジェクト指向プログラミング3	40	総合演習2
	18	オブジェクト指向プログラミング4	41	総合演習3
	19	フォーム処理の基本1	42	総合演習4
	20	フォーム処理の基本2	43	総合演習5
	21	フォーム処理の基本3	44	総合演習6
	22	各種フォームの使用1	45	効果測定　PHP3
	23	各種フォームの使用2		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フロントエンドフレームワーク
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義３０時間、実習６０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門
特記	

授業計画

1	Vue.jsの概要	24	演習5
2	Vue.jsのインストール方法と実行	25	データの変化を監視する3
3	データを表示する	26	データの変化を監視する4
4	属性を指定する	27	演習6
5	演習1	28	Markdownエディタを作る
6	ユーザの入力をつなぐ1	29	総合演習
7	ユーザの入力をつなぐ2	30	効果測定　フロントエンドフレームワーク2
8	ユーザの入力をつなぐ3	31	アニメーションを表示する1
9	ユーザの入力をつなぐ4	32	アニメーションを表示する2
10	演習2	33	演習7
11	ユーザの操作をつなぐ1	34	Vue.jsでToDoリストを作る1
12	ユーザの操作をつなぐ2	35	Vue.jsでToDoリストを作る2
13	ユーザの操作をつなぐ3	36	演習8
14	演習3	37	部品にまとめる：コンポーネント1
15	効果測定　フロントエンドフレームワーク1	38	部品にまとめる：コンポーネント2
16	条件と繰り返しを使う1	39	部品にまとめる：コンポーネント3
17	条件と繰り返しを使う2	40	部品にまとめる：コンポーネント4
18	条件と繰り返しを使う3	41	演習9
19	条件と繰り返しを使う4	42	JSONデータを表示させる1
20	演習4	43	JSONデータを表示させる2
21	Google Chartsと連動させる	44	JSONデータを表示させる3
22	データの変化を監視する1	45	効果測定　フロントエンドフレームワーク3
23	データの変化を監視する2		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サーバサイドフレームワーク
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義３０時間、実習６０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	PHPサーバサイドフレームワークLaravelを使用したサーバサイドアプリケーションの作成
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる
教科書	PHPフレームワーク　Laravel入門
特記	

授業計画

1	Laravelを準備する	24	Eloquent ORM3
2	ルーティングとコントローラ1	25	Eloquent ORM4
3	ルーティングとコントローラ2	26	Eloquent ORM5
4	ルーティングとコントローラ3	27	演習4
5	演習1	28	Restfulサービス1
6	ビューとテンプレート1	29	Restfulサービス2
7	ビューとテンプレート2	30	Restfulサービス3
8	ビューとテンプレート3	31	Restfulサービス4
9	ビューとテンプレート4	32	Restfulサービス5
10	演習2	33	効果測定　サーバサイドフレームワーク2
11	リクエスト・レスポンスを補完する1	34	サーバサイドアプリ構築演習1
12	リクエスト・レスポンスを補完する2	35	サーバサイドアプリ構築演習2
13	リクエスト・レスポンスを補完する3	36	サーバサイドアプリ構築演習3
14	リクエスト・レスポンスを補完する4	37	サーバサイドアプリ構築演習4
15	リクエスト・レスポンスを補完する5	38	サーバサイドアプリ構築演習5
16	効果測定　サーバサイドフレームワーク1	39	サーバサイドアプリ構築演習6
17	データベースの利用1	40	サーバサイドアプリ構築演習7
18	データベースの利用2	41	サーバサイドアプリ構築演習8
19	データベースの利用3	42	サーバサイドアプリ構築演習9
20	データベースの利用4	43	サーバサイドアプリ構築演習10
21	演習3	44	サーバサイドアプリ構築演習11
22	Eloquent ORM1	45	効果測定　サーバサイドフレームワーク3
23	Eloquent ORM2		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITパスポートⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義３０時間、演習６０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	ITパスポート受験対策における基礎知識をを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	ITパスポート試験の基本的な内容が網羅できるレベルに達する
教科書	ITパスポート合格テキスト＆例題　ITパスポート問題集
特記	

授業計画

1	コンピュータアーキテクチャの基本	24	インターネット技術を支えるソフトウェア
2	コンピュータハードウェアの基本	25	インターネット技術を支えるサービス
3	CPUアーキテクチャの基本	26	ネットワークトポロジ
4	ディスクと周辺機器の基本	27	ネットワーク構成の種類，特徴
5	インタフェース技術の基本	28	OSI 基本参照モデル　物理層，データリンク層
6	ソフトウェアアーキテクチャ	29	OSI 基本参照モデル　ネットワーク層，トランスポート層
7	OSのアーキテクチャ	30	OSI 基本参照モデル　セション層，プレゼンテーション層
8	ミドルウェアの種類と特徴	31	OSI 基本参照モデル　アプリケーション層
9	コンピュータシステムの構成	32	伝送方式と回線
10	システムアーキテクチャの活用事例	33	ネットワーク接続
11	Webシステムのアーキテクチャ	34	伝送制御
12	OSSを活用した基盤設計ケースワーク	35	メディアアクセス制御
13	オープンソースシステムアーキテクチャ構築	36	マルチメディア
14	OSSの動作環境としてのハードウェア	37	音声処理
15	これからのオープンシステムアーキテクチャの動向	38	静止画処理
16	ネットワークの種類と特徴	39	動画処理
17	有線 LAN	40	情報の圧縮・伸張
18	無線 LAN	41	代表的な静止画ファイル形式の特徴
19	交換方式	42	コンピュータにおける画像表現
20	回線に関する計算 1	43	コンピュータにおける動画表現の仕組み
21	回線に関する計算 2	44	メディアの種類に応じた圧縮・伸張方法
22	インターネット技術を支えるプロトコル	45	圧縮の目的（効率的なデータ 保存，ネットワーク負荷の軽減）
23	インターネット技術を支えるハードウェア		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポートⅡ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	ITパスポート受験対策における基礎知識をを学ぶ			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義			
達成目標	ITパスポート試験に合格できるレベルに達する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別問題演習1	24	総合問題演習6
	2	項目別問題演習2	25	総合問題演習7
	3	項目別問題演習3	26	総合問題演習8
	4	項目別問題演習4	27	総合問題演習9
	5	項目別問題演習5	28	総合問題演習10
	6	項目別問題演習6	29	総合問題演習11
	7	項目別問題演習7	30	総合問題演習12
	8	項目別問題演習8	31	総合問題演習13
	9	項目別問題演習9	32	総合問題演習14
	10	項目別問題演習10	33	総合問題演習15
	11	項目別問題演習11	34	総合問題演習16
	12	項目別問題演習12	35	総合問題演習17
	13	項目別問題演習13	36	総合問題演習18
	14	項目別問題演習14	37	直前対策問題演習1
	15	項目別問題演習15	38	直前対策問題演習2
	16	項目別問題演習16	39	直前対策問題演習3
	17	項目別問題演習17	40	直前対策問題演習4
	18	項目別問題演習18	41	直前対策問題演習5
	19	総合問題演習1	42	直前対策問題演習6
	20	総合問題演習2	43	直前対策問題演習7
	21	総合問題演習3	44	直前対策問題演習8
	22	総合問題演習4	45	直前対策問題演習9
	23	総合問題演習5		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	MOS対策実習
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義３０時間、実習６０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	MOS攻略問題集付属の模擬試験問題を使用したMOS検定試験対策を行う
授業の進め方	MOS攻略問題集付属の模擬試験問題を繰り返し行い操作スキルを高めていく
達成目標	MOS試験に合格できるレベルを達成する
教科書	MOS攻略問題集
特記	

授業計画

1	模擬テスト1	24	模擬テスト24
2	模擬テスト2	25	模擬テスト25
3	模擬テスト3	26	模擬テスト26
4	模擬テスト4	27	模擬テスト27
5	模擬テスト5	28	模擬テスト28
6	模擬テスト6	29	模擬テスト29
7	模擬テスト7	30	模擬テスト30
8	模擬テスト8	31	模擬テスト31
9	模擬テスト9	32	模擬テスト32
10	模擬テスト10	33	模擬テスト33
11	模擬テスト11	34	模擬テスト34
12	模擬テスト12	35	模擬テスト35
13	模擬テスト13	36	模擬テスト36
14	模擬テスト14	37	模擬テスト37
15	模擬テスト15	38	模擬テスト38
16	模擬テスト16	39	模擬テスト39
17	模擬テスト17	40	模擬テスト40
18	模擬テスト18	41	模擬テスト41
19	模擬テスト19	42	模擬テスト42
20	模擬テスト20	43	模擬テスト43
21	模擬テスト21	44	模擬テスト44
22	模擬テスト22	45	模擬テスト45
23	模擬テスト23		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成1 2 文章の作成2 3 文章内の移動1 4 文章内の移動2 5 文章の書式設定1 6 文章の書式設定2 7 文章の書式設定3 8 文章の書式設定4 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ1 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ2 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ3 13 文章の印刷、保存1 14 文章の印刷、保存2 15 文章の印刷、保存3 16 文章の印刷、保存4 17 文字列・段落の挿入1 18 文字列・段落の挿入2 19 文字列・段落の挿入3 20 文字列・段落の挿入4 21 文字列・段落の書式設定1 22 文字列・段落の書式設定2 23 文字列・段落の書式設定3 24 文字列・段落の書式設定4 25 文字列・段落の書式設定5 26 文字列・段落の並び替え、グループ化1 27 文字列・段落の並び替え、グループ化2 28 文字列・段落の並び替え、グループ化3 29 文字列・段落の並び替え、グループ化4 30 文字列・段落の並び替え、グループ化5
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理1 2 ワークシートやブックの作成と管理2 3 セルやセル範囲のデータの管理1 4 セルやセル範囲のデータの管理2 5 テーブルの作成1 6 テーブルの作成2 7 テーブルの作成3 8 関数を使用してのデータ集計1 9 関数を使用してのデータ集計2 10 関数を使用してのデータ集計3 11 関数を使用しての条件付き計算1 12 関数を使用しての条件付き計算2 13 関数を使用しての条件付き計算3 14 関数を使用した文字列の整形や変更1 15 関数を使用した文字列の整形や変更2 16 関数を使用した文字列の整形や変更3 17 グラフの作成1 18 グラフの作成2 19 グラフの作成3 20 グラフの書式設定1 21 グラフの書式設定2 22 グラフの書式設定3 23 グラフの書式設定4 24 グラフの書式設定5 25 オブジェクトの挿入や書式設定1 26 オブジェクトの挿入や書式設定2 27 オブジェクトの挿入や書式設定3 28 オブジェクトの挿入や書式設定4 29 オブジェクトの挿入や書式設定5 30 オブジェクトの挿入や書式設定6
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義２０時間、演習４０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	wordを用いてビジネス文書の作成における基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	基本的なビジネス文書の作成ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合 2 手紙の用語 3 数字・句読点 4 分かりやすい文書 5 社内文書 6 社外文書 7 エチケット 8 用紙の種類 9 総合問題 10 記号について 11 ＰＣ用語1 12 ＰＣ用語2 13 ＰＣ用語3 14 ＰＣ用語4 15 ＰＣ用語5 16 総合演習1 17 総合演習2 18 総合演習3 19 総合演習4 20 総合演習5 21 総合演習6 22 総合演習7 23 総合演習8 24 総合演習9 25 総合演習10 26 総合演習11 27 総合演習12 28 総合演習13 29 総合演習14 30 総合演習15
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	事前講習、現場実技によるキャンプスキルの習得
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャンプ実習インストラクター認定
教科書	テキスト及び参考書
特記	フィットネスクラブのインストラクター職に従事する実務家による実習形式の授業
授業計画	1 キャンプの特性1（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性2（キャンプの組織と種類、キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの対象（人間と自然の関係） 4 キャンプの指導（コミュニケーションスキル） 5 キャンプの安全（キャンプにおける安全の考え方） 6 キャンプの基本装備（個人装備、団体装備） 7 キャンプの生活技術1（テントの設営、アウトドアクッキング、キャンプ道具） 8 キャンプの生活技術2（ロープワーク、キャンプと天気） 9 さまざまなアクティビティ1（冒険プログラム） 10 さまざまなアクティビティ2（オリエンテーリング活動） 11 さまざまなアクティビティ3（地域学習・生活文化体験） 12 さまざまなアクティビティ4（キャンプファイアー） 13 さまざまなアクティビティ5（荒天時の活動） 14 キャンプの安全1（事故対応マニュアル） 15 キャンプの安全2（危険予知とその対処）
成績評価方法 （試験実施方法）	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現場実技によるスキースキルの習得
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	スキー検定認定
教科書	特に使用はしない
特記	現役スキー指導者による実習形式の授業
授業計画	1　初歩動作から一人すべり　スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー 2　八の字から連続回転 3　連続回転からパラレル 4　パラレルターン1　リズム・タイミング・コース取り（大回り） 5　パラレルターン2　リズム・タイミング・コース取り（小回り） 6　八の字と平行を組み合わせる1　基礎技能の強化 7　八の字と平行を組み合わせる2　パラレルターンの基礎 8　八の字と平行を組み合わせる3　パラレルターンの応用 9　八の字と平行を組み合わせる4　パラレルターンの習得 10　スキーを揃えて滑る1　整地・コブ斜面（小回り・大回り） 11　スキーを揃えて滑る2　整地・コブ斜面　応用技能の強化 12　リズム変化1　状況対応能力の強化 13　リズム変化2　斜度変化 14　リズム変化3　スピード・不整地の対応 15　バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現場実技によるスノーボードスキルの習得
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	スノーボード検定認定
教科書	特に使用はしない
特記	現役スノーボード指導者による実習形式の授業
授業計画	1　初歩動作から一人すべり　スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー 2　ノーズドロップからの停止（ターンと停止） 3　ターンの形、サイズ変更1　ミドルターン 4　ターンの形、サイズ変更2　ロングターン 5　ターンの形、サイズ変更3　ショートターン 6　ターンの形、サイズ変更4　カービングターンロング 7　ターンの形、サイズ変更5　カービングターンショート 8　ターンの形、サイズ変更6　ベーシックカーブロング 9　ターンの形、サイズ変更7　フリーライディング 10　ターンの形、サイズ変更の応用1　ベーシックカーブショート 11　ターンの形、サイズ変更の応用2　ベーシックカーブロング 12　ターンの形、サイズ変更の応用3　フリーライディング 13　リズム変化1　斜度変化 14　リズム変化2　スピード・不整地の対応 15　バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツビジネスキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 スポーツ系販売・接客・営業職に適したスーツの着こなし 2 スポーツ系販売・接客・営業職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 スポーツ系販売・接客・営業職で良く聞かれる質疑応答1 5 スポーツ系販売・接客・営業職で良く聞かれる質疑応答2 6 筆記試験とは（一般常識試験）1 7 筆記試験とは（一般常識試験）2 8 筆記試験とは（適性検査試験）1 9 筆記試験とは（適性検査試験）2 10 作文の目的・形式と内容1 11 作文の目的・形式と内容2 12 作文の実践テクニック1 13 作文の実践テクニック2 14 作文の実践テクニック3 15 作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツビジネスキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集1 4 会社四季報、新聞からの情報収集2 5 総合職と一般職 6 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究1 7 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究2 8 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究3 9 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究4 10 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究5 11 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由1 12 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由2 13 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由3 14 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由4 15 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 スポーツ系接客職に適したスーツの着こなし 2 スポーツ系接客職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 スポーツ系接客職で良く聞かれる質疑応答1 5 スポーツ系接客職で良く聞かれる質疑応答2 6 筆記試験とは（一般常識試験）1 7 筆記試験とは（一般常識試験）2 8 筆記試験とは（適性検査試験）1 9 筆記試験とは（適性検査試験）2 10 作文の目的・形式と内容1 11 作文の目的・形式と内容2 12 作文の実践テクニック1 13 作文の実践テクニック2 14 作文の実践テクニック3 15 作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集1 4 会社四季報、新聞からの情報収集2 5 総合職と一般職 6 スポーツ系接客職職種研究1 7 スポーツ系接客職職種研究2 8 スポーツ系接客職職種研究3 9 スポーツ系接客職職種研究4 10 スポーツ系接客職職種研究5 11 スポーツ系接客職への志望理由1 12 スポーツ系接客職への志望理由2 13 スポーツ系接客職への志望理由3 14 スポーツ系接客職への志望理由4 15 スポーツ系接客職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ1 2 本支店会計Ⅰ2 3 本支店会計Ⅰ3 4 本支店会計Ⅰ4 5 本支店会計Ⅰ5 6 本支店会計Ⅰ6 7 組織再編会計Ⅰ1 8 組織再編会計Ⅰ2 9 組織再編会計Ⅰ3 10 組織再編会計Ⅰ4 11 建設業会計Ⅰ1 12 建設業会計Ⅰ2 13 連結会計Ⅰ1 14 連結会計Ⅰ2 15 連結会計Ⅰ3 16 連結会計Ⅰ4 17 製造業会計Ⅰ1 18 製造業会計Ⅰ2 19 製造業会計Ⅰ3 20 製造業会計Ⅰ4 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4 25 繰延資産Ⅰ1 26 繰延資産Ⅰ2 27 圧縮記帳Ⅰ1 28 圧縮記帳Ⅰ2 29 ストック・オプションⅠ 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 金利スワップ1 2 金利スワップ2 3 金利スワップ3 4 金利スワップ4 5 金利スワップ5 6 資産及び負債の貸借対照表能力1 7 資産及び負債の貸借対照表能力2 8 資産及び負債の貸借対照表能力3 9 資産及び負債の貸借対照表能力4 10 資産及び負債の貸借対照表能力5 11 投資のリスクからの解放1 12 投資のリスクからの解放2 13 投資のリスクからの解放3 14 投資のリスクからの解放4 15 投資のリスクからの解放5 16 配分と評価1 17 配分と評価2 18 配分と評価3 19 配分と評価4 20 配分と評価5 21 収益認識1 22 収益認識2 23 収益認識3 24 収益認識4 25 収益認識5 26 組織再1 27 組織再2 28 組織再3 29 組織再4 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 軽減税率1 2 軽減税率2 3 軽減税率3 4 軽減税率4 5 軽減税率5 6 軽減税率6 7 旧税率に関する経過措置1 8 旧税率に関する経過措置2 9 旧税率に関する経過措置3 10 旧税率に関する経過措置4 11 旧税率に関する経過措置5 12 旧税率に関する経過措置6 13 複数税率の場合の計算1 14 複数税率の場合の計算2 15 複数税率の場合の計算3 16 複数税率の場合の計算4 17 複数税率の場合の計算5 18 複数税率の場合の計算6 19 国等に対する特例1 20 国等に対する特例2 21 国等に対する特例3 22 国等に対する特例4 23 国等に対する特例5 24 国等に対する特例6 25 国等に対する特例7 26 国等に対する特例8 27 特殊項目1（事業承継があった場合の控除税額の調整等） 28 特殊項目2（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点） 29 特殊項目3（税抜経理方式） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利 2 未成年者控除・障害者控除（重ね受け） 3 相次相続控除 4 増改築等があった場合 5 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税 6 確認テスト1(理論) 7 無道路地 8 定期借地権等 9 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地） 10 土砂災害特別警戒区域内にある宅地 11 造成費相当額の算定（平坦地） 12 公社債 13 雇用主が保険料を負担している場合 14 保険金の評価 15 確認テスト2(理論) 16 定期金に関する権利 17 保証期間付定期金に関する権利 18 契約に基づかない定期金に関する権利 19 財産の所在 20 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額 21 相続税の外国税額控除 22 贈与税の外国税額控除 23 確認テスト3(理論) 24 養子の子の応用的な取扱い 25 農地等の相続税の納税猶予 26 非上場株式の贈与税の納税猶予 27 非上場株式の相続税の納税猶予 28 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 29 個人の事業用資産の相続税の納税猶予 30 確認テスト4(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結納税制度1 2 連結納税制度2 3 連結納税制度3 4 連結納税制度4 5 連結納税制度5 6 連結納税制度6 7 連結納税制度7 8 連結納税制度8 9 連結納税制度9 10 連結納税制度10 11 連結納税制度11 12 連結納税制度12 13 連結納税制度13 14 連結納税制度14 15 連結納税制度15 16 連結納税制度16 17 連結納税制度17 18 連結納税制度18 19 連結納税制度19 20 連結納税制度20 21 試験研究費の特別控除1 22 試験研究費の特別控除2 23 試験研究費の特別控除3 24 試験研究費の特別控除4 25 資産除去債務1 26 資産除去債務2 27 資産除去債務3 28 解散税制1 29 解散税制2 30 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金Ⅱ1	46	項目別答練2
2	現金預金Ⅱ2	47	項目別答練3
3	商品売買Ⅱ1	48	項目別答練4
4	商品売買Ⅱ2	49	項目別答練5
5	商品売買Ⅱ3	50	項目別答練6
6	固定資産Ⅱ1	51	基礎答練1
7	固定資産Ⅱ2	52	基礎答練2
8	固定資産Ⅱ3	53	基礎答練3
9	退職給付会計Ⅱ1	54	基礎答練4
10	退職給付会計Ⅱ2	55	基礎答練5
11	退職給付会計Ⅱ3	56	基礎答練6
12	債権債務Ⅱ1	57	基礎答練7
13	債権債務Ⅱ2	58	基礎答練8
14	税金Ⅱ	59	基礎答練9
15	社債Ⅱ1	60	基礎答練10
16	社債Ⅱ2	61	応用答練1
17	社債Ⅱ3	62	応用答練2
18	純資産会計Ⅱ1	63	応用答練3
19	純資産会計Ⅱ2	64	応用答練4
20	純資産会計Ⅱ3	65	応用答練5
21	有価証券Ⅱ1	66	応用答練6
22	有価証券Ⅱ2	67	応用答練7
23	有価証券Ⅱ3	68	応用答練8
24	外貨建会計Ⅱ1	69	応用答練9
25	外貨建会計Ⅱ2	70	応用答練10
26	リース会計Ⅱ1	71	過去問演習1
27	リース会計Ⅱ2	72	過去問演習2
28	試用販売Ⅱ1	73	過去問演習3
29	試用販売Ⅱ2	74	過去問演習4
30	割賦販売Ⅱ1	75	過去問演習5
31	割賦販売Ⅱ2	76	過去問演習6
32	割賦販売Ⅱ3	77	過去問演習7
33	未着品販売Ⅱ1	78	過去問演習8
34	未着品販売Ⅱ2	79	過去問演習9
35	委託販売・受託販売Ⅱ1	80	過去問演習10
36	委託販売・受託販売Ⅱ2	81	問題演習実践1
37	本支店会計Ⅱ1	82	問題演習実践2
38	本支店会計Ⅱ2	83	問題演習実践3
39	組織再編会計Ⅱ1	84	問題演習実践4
40	組織再編会計Ⅱ2	85	問題演習実践5
41	連結会計Ⅱ1	86	問題演習実践6
42	連結会計Ⅱ2	87	問題演習実践7
43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1	88	問題演習実践8
44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2	89	問題演習実践9
45	項目別答練1	90	模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	財務諸表論総まとめ1	46	総合問題対策6
2	財務諸表論総まとめ2	47	総合問題対策7
3	財務諸表論総まとめ3	48	総合問題対策8
4	財務諸表論総まとめ4	49	総合問題対策9
5	財務諸表論総まとめ5	50	総合問題対策10
6	財務諸表論総まとめ6	51	総合問題対策11
7	財務諸表論総まとめ7	52	総合問題対策12
8	財務諸表論総まとめ8	53	総合問題対策13
9	財務諸表論総まとめ9	54	総合問題対策14
10	財務諸表論総まとめ10	55	総合問題対策15
11	財務諸表論総まとめ11	56	総合問題対策16
12	財務諸表論総まとめ12	57	総合問題対策17
13	財務諸表論総まとめ13	58	総合問題対策18
14	財務諸表論総まとめ14	59	総合問題対策19
15	財務諸表論総まとめ15	60	総合問題対策20
16	財務諸表論総まとめ16	61	総合問題対策21
17	財務諸表論総まとめ17	62	総合問題対策22
18	財務諸表論総まとめ18	63	総合問題対策23
19	財務諸表論総まとめ19	64	総合問題対策24
20	財務諸表論総まとめ20	65	総合問題対策25
21	財務諸表論総まとめ21	66	総合問題対策26
22	財務諸表論総まとめ22	67	総合問題対策27
23	財務諸表論総まとめ23	68	総合問題対策28
24	財務諸表論総まとめ24	69	総合問題対策29
25	財務諸表論総まとめ25	70	総合問題対策30
26	財務諸表論総まとめ26	71	総合問題対策31
27	財務諸表論総まとめ27	72	総合問題対策32
28	財務諸表論総まとめ28	73	総合問題対策33
29	財務諸表論総まとめ29	74	総合問題対策34
30	財務諸表論総まとめ30	75	総合問題対策35
31	財務諸表論総まとめ31	76	総合問題対策36
32	財務諸表論総まとめ32	77	総合問題対策37
33	財務諸表論総まとめ33	78	総合問題対策38
34	財務諸表論総まとめ34	79	総合問題対策39
35	財務諸表論総まとめ35	80	総合問題対策40
36	財務諸表論総まとめ36	81	総合問題対策41
37	財務諸表論総まとめ37	82	総合問題対策42
38	財務諸表論総まとめ38	83	総合問題対策43
39	財務諸表論総まとめ39	84	総合問題対策44
40	財務諸表論総まとめ40	85	総合問題対策45
41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
44	総合問題対策4	89	模擬試験(計算)
45	総合問題対策5	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別問題対策1	46	総合問題対策19
	2	個別問題対策2	47	総合問題対策20
	3	個別問題対策3	48	総合問題対策21
	4	個別問題対策4	49	総合問題対策22
	5	個別問題対策5	50	総合問題対策23
	6	個別問題対策6	51	総合問題対策24
	7	個別問題対策7	52	総合問題対策25
	8	個別問題対策8	53	総合問題対策26
	9	個別問題対策9	54	総合問題対策27
	10	個別問題対策10	55	総合問題対策28
	11	個別問題対策11	56	総合問題対策29
	12	個別問題対策12	57	総合問題対策30
	13	個別問題対策13	58	総合問題対策31
	14	個別問題対策14	59	総合問題対策32
	15	理論問題対策1	60	総合問題対策33
	16	理論問題対策2	61	総合問題対策34
	17	理論問題対策3	62	総合問題対策35
	18	理論問題対策4	63	総合問題対策36
	19	理論問題対策5	64	総合問題対策37
	20	理論問題対策6	65	総合問題対策38
	21	理論問題対策7	66	総合問題対策39
	22	理論問題対策8	67	総合問題対策40
	23	理論問題対策9	68	総合問題対策41
	24	理論問題対策10	69	総合問題対策42
	25	理論問題対策11	70	総合問題対策43
	26	理論問題対策12	71	総合問題演習1
	27	理論問題対策13	72	総合問題演習2
	28	総合問題対策1	73	総合問題演習3
	29	総合問題対策2	74	総合問題演習4
	30	総合問題対策3	75	総合問題演習5
	31	総合問題対策4	76	総合問題演習6
	32	総合問題対策5	77	総合問題演習7
	33	総合問題対策6	78	総合問題演習8
	34	総合問題対策7	79	総合問題演習9
	35	総合問題対策8	80	総合問題演習10
	36	総合問題対策9	81	総合問題演習11
	37	総合問題対策10	82	総合問題演習12
	38	総合問題対策11	83	総合問題演習13
	39	総合問題対策12	84	総合問題演習14
	40	総合問題対策13	85	総合問題演習15
	41	総合問題対策14	86	総合問題演習16
	42	総合問題対策15	87	総合問題演習17
	43	総合問題対策16	88	総合問題演習18
	44	総合問題対策17	89	総合問題演習19
	45	総合問題対策18	90	総合問題演習20
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	相続税法総まとめ1	46	総合問題対策6
	2	相続税法総まとめ2	47	総合問題対策7
	3	相続税法総まとめ3	48	総合問題対策8
	4	相続税法総まとめ4	49	総合問題対策9
	5	相続税法総まとめ5	50	総合問題対策10
	6	相続税法総まとめ6	51	総合問題対策11
	7	相続税法総まとめ7	52	総合問題対策12
	8	相続税法総まとめ8	53	総合問題対策13
	9	相続税法総まとめ9	54	総合問題対策14
	10	相続税法総まとめ10	55	総合問題対策15
	11	相続税法総まとめ11	56	総合問題対策16
	12	相続税法総まとめ12	57	総合問題対策17
	13	相続税法総まとめ13	58	総合問題対策18
	14	相続税法総まとめ14	59	総合問題対策19
	15	相続税法総まとめ15	60	総合問題対策20
	16	相続税法総まとめ16	61	総合問題対策21
	17	相続税法総まとめ17	62	総合問題対策22
	18	相続税法総まとめ18	63	総合問題対策23
	19	相続税法総まとめ19	64	総合問題対策24
	20	相続税法総まとめ20	65	総合問題対策25
	21	相続税法総まとめ21	66	総合問題対策26
	22	相続税法総まとめ22	67	総合問題対策27
	23	相続税法総まとめ23	68	総合問題対策28
	24	相続税法総まとめ24	69	総合問題対策29
	25	相続税法総まとめ25	70	総合問題対策30
	26	相続税法総まとめ26	71	総合問題対策31
	27	相続税法総まとめ27	72	総合問題対策32
	28	相続税法総まとめ28	73	総合問題対策33
	29	相続税法総まとめ29	74	総合問題対策34
	30	相続税法総まとめ30	75	総合問題対策35
	31	相続税法総まとめ31	76	総合問題対策36
	32	相続税法総まとめ32	77	総合問題対策37
	33	相続税法総まとめ33	78	総合問題対策38
	34	相続税法総まとめ34	79	総合問題対策39
	35	相続税法総まとめ35	80	総合問題対策40
	36	相続税法総まとめ36	81	総合問題対策41
	37	相続税法総まとめ37	82	総合問題対策42
	38	相続税法総まとめ38	83	総合問題対策43
	39	相続税法総まとめ39	84	総合問題対策44
	40	相続税法総まとめ40	85	総合問題対策45
	41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
	42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
	43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
	44	総合問題対策4	89	総合問題対策49
	45	総合問題対策5	90	総合問題対策50

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	総合問題対策1	46	総合問題対策46
2	総合問題対策2	47	総合問題対策47
3	総合問題対策3	48	総合問題対策48
4	総合問題対策4	49	総合問題対策49
5	総合問題対策5	50	総合問題対策50
6	総合問題対策6	51	総合問題対策51
7	総合問題対策7	52	総合問題対策52
8	総合問題対策8	53	総合問題対策53
9	総合問題対策9	54	総合問題対策54
10	総合問題対策10	55	総合問題対策55
11	総合問題対策11	56	総合問題対策56
12	総合問題対策12	57	総合問題対策57
13	総合問題対策13	58	総合問題対策58
14	総合問題対策14	59	総合問題対策59
15	総合問題対策15	60	総合問題対策60
16	総合問題対策16	61	総合問題対策61
17	総合問題対策17	62	総合問題対策62
18	総合問題対策18	63	総合問題対策63
19	総合問題対策19	64	総合問題対策64
20	総合問題対策20	65	総合問題対策65
21	総合問題対策21	66	総合問題対策66
22	総合問題対策22	67	総合問題対策67
23	総合問題対策23	68	総合問題対策68
24	総合問題対策24	69	総合問題対策69
25	総合問題対策25	70	総合問題対策70
26	総合問題対策26	71	総合問題演習1（計算）
27	総合問題対策27	72	総合問題演習1（理論）
28	総合問題対策28	73	総合問題演習2（計算）
29	総合問題対策29	74	総合問題演習2（理論）
30	総合問題対策30	75	総合問題演習3（計算）
31	総合問題対策31	76	総合問題演習3（理論）
32	総合問題対策32	77	総合問題演習4（計算）
33	総合問題対策33	78	総合問題演習4（理論）
34	総合問題対策34	79	総合問題演習5（計算）
35	総合問題対策35	80	総合問題演習5（理論）
36	総合問題対策36	81	総合問題演習6（計算）
37	総合問題対策37	82	総合問題演習6（理論）
38	総合問題対策38	83	総合問題演習7（計算）
39	総合問題対策39	84	総合問題演習7（理論）
40	総合問題対策40	85	総合問題演習8（計算）
41	総合問題対策41	86	総合問題演習8（理論）
42	総合問題対策42	87	総合問題演習9（計算）
43	総合問題対策43	88	総合問題演習9（理論）
44	総合問題対策44	89	総合問題演習10（計算）
45	総合問題対策45	90	総合問題演習10（理論）

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ1 2 税効果会計Ⅰ2 3 税効果会計Ⅰ3 4 現在価値計算Ⅰ1 5 現在価値計算Ⅰ2 6 保険金Ⅰ1 7 保険金Ⅰ2 8 新株予約権付社債Ⅰ1 9 新株予約権付社債Ⅰ2 10 減損会計Ⅰ1 11 減損会計Ⅰ2 12 資産除去債務Ⅰ1 13 資産除去債務Ⅰ2 14 外貨建会計Ⅰ1 15 外貨建会計Ⅰ2 16 外貨建会計Ⅰ3 17 リース会計Ⅰ1 18 リース会計Ⅰ2 19 試用販売Ⅰ1 20 試用販売Ⅰ2 21 試用販売Ⅰ3 22 割賦販売Ⅰ1 23 割賦販売Ⅰ2 24 割賦販売Ⅰ3 25 未着品販売Ⅰ1 26 未着品販売Ⅰ2 27 未着品販売Ⅰ3 28 委託販売・受託販売Ⅰ1 29 委託販売・受託販売Ⅰ2 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正1 2 会計上の変更及び誤謬の訂正2 3 分配可能額1 4 分配可能額2 5 ストック・オプション1 6 ストック・オプション2 7 セール＆リースバック1 8 セール＆リースバック2 9 財務諸表等規則1 10 財務諸表等規則2 11 負債1 12 負債2 13 負債3 14 純資産会計1 15 純資産会計2 16 純資産会計3 17 企業結合会計1 18 企業結合会計2 19 企業結合会計3 20 事業分離会計1 21 事業分離会計2 22 事業分離会計3 23 四半期財務諸表1 24 四半期財務諸表2 25 ヘッジ会計1 26 ヘッジ会計2 27 包括利益1 28 包括利益2 29 包括利益3 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ1	46	純資産会計Ⅱ2
2	本支店会計Ⅰ2	47	有価証券Ⅱ1
3	本支店会計Ⅰ3	48	有価証券Ⅱ2
4	本支店会計Ⅰ4	49	外貨建会計Ⅱ1
5	本支店会計Ⅰ5	50	外貨建会計Ⅱ2
6	本支店会計Ⅰ6	51	リース会計Ⅱ1
7	組織再編会計Ⅰ1	52	リース会計Ⅱ2
8	組織再編会計Ⅰ2	53	試用販売Ⅱ1
9	組織再編会計Ⅰ3	54	試用販売Ⅱ2
10	組織再編会計Ⅰ4	55	割賦販売Ⅱ1
11	建設業会計Ⅰ1	56	割賦販売Ⅱ2
12	建設業会計Ⅰ2	57	未着品販売Ⅱ1
13	連結会計Ⅰ1	58	未着品販売Ⅱ2
14	連結会計Ⅰ2	59	委託販売・受託販売Ⅱ1
15	連結会計Ⅰ3	60	委託販売・受託販売Ⅱ2
16	連結会計Ⅰ4	61	本支店会計Ⅱ1
17	製造業会計Ⅰ1	62	本支店会計Ⅱ2
18	製造業会計Ⅰ2	63	組織再編会計Ⅱ1
19	製造業会計Ⅰ3	64	組織再編会計Ⅱ2
20	製造業会計Ⅰ4	65	連結会計Ⅱ1
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1	66	連結会計Ⅱ2
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4	69	項目別答練1
25	繰延資産Ⅰ1	70	項目別答練2
26	繰延資産Ⅰ2	71	項目別答練3
27	圧縮記帳Ⅰ1	72	項目別答練4
28	圧縮記帳Ⅰ2	73	項目別答練5
29	ストック・オプションⅠ1	74	項目別答練6
30	ストック・オプションⅠ2	75	基礎答練1
31	現金預金Ⅱ1	76	基礎答練2
32	現金預金Ⅱ2	77	基礎答練3
33	商品売買Ⅱ1	78	応用答練1
34	商品売買Ⅱ2	79	応用答練2
35	商品売買Ⅱ3	80	応用答練3
36	固定資産Ⅱ1	81	過去問演習1
37	固定資産Ⅱ2	82	過去問演習2
38	退職給付会計Ⅱ1	83	過去問演習3
39	退職給付会計Ⅱ2	84	過去問演習4
40	債権債務Ⅱ1	85	過去問演習5
41	債権債務Ⅱ2	86	問題演習実践1
42	税金Ⅱ	87	問題演習実践2
43	社債Ⅱ1	88	問題演習実践3
44	社債Ⅱ2	89	問題演習実践4
45	純資産会計Ⅱ1	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（講義１２０時間、演習６０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	財務諸表論総まとめ1	46	総合問題対策6
	2	財務諸表論総まとめ2	47	総合問題対策7
	3	財務諸表論総まとめ3	48	総合問題対策8
	4	財務諸表論総まとめ4	49	総合問題対策9
	5	財務諸表論総まとめ5	50	総合問題対策10
	6	財務諸表論総まとめ6	51	総合問題対策11
	7	財務諸表論総まとめ7	52	総合問題対策12
	8	財務諸表論総まとめ8	53	総合問題対策13
	9	財務諸表論総まとめ9	54	総合問題対策14
	10	財務諸表論総まとめ10	55	総合問題対策15
	11	財務諸表論総まとめ11	56	総合問題対策16
	12	財務諸表論総まとめ12	57	総合問題対策17
	13	財務諸表論総まとめ13	58	総合問題対策18
	14	財務諸表論総まとめ14	59	総合問題対策19
	15	財務諸表論総まとめ15	60	総合問題対策20
	16	財務諸表論総まとめ16	61	総合問題対策21
	17	財務諸表論総まとめ17	62	総合問題対策22
	18	財務諸表論総まとめ18	63	総合問題対策23
	19	財務諸表論総まとめ19	64	総合問題対策24
	20	財務諸表論総まとめ20	65	総合問題対策25
	21	財務諸表論総まとめ21	66	総合問題対策26
	22	財務諸表論総まとめ22	67	総合問題対策27
	23	財務諸表論総まとめ23	68	総合問題対策28
	24	財務諸表論総まとめ24	69	総合問題対策29
	25	財務諸表論総まとめ25	70	総合問題対策30
	26	財務諸表論総まとめ26	71	総合問題対策31
	27	財務諸表論総まとめ27	72	総合問題対策32
	28	財務諸表論総まとめ28	73	総合問題対策33
	29	財務諸表論総まとめ29	74	総合問題対策34
	30	財務諸表論総まとめ30	75	総合問題対策35
	31	財務諸表論総まとめ31	76	総合問題対策36
	32	財務諸表論総まとめ32	77	総合問題対策37
	33	財務諸表論総まとめ33	78	総合問題対策38
	34	財務諸表論総まとめ34	79	総合問題対策39
	35	財務諸表論総まとめ35	80	総合問題対策40
	36	財務諸表論総まとめ36	81	総合問題対策41
	37	財務諸表論総まとめ37	82	総合問題対策42
	38	財務諸表論総まとめ38	83	総合問題対策43
	39	財務諸表論総まとめ39	84	総合問題対策44
	40	財務諸表論総まとめ40	85	総合問題対策45
	41	総合問題対策1	86	総合問題対策46
	42	総合問題対策2	87	総合問題対策47
	43	総合問題対策3	88	総合問題対策48
	44	総合問題対策4	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策5	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義２０時間、演習７０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1	24	総合問題対策24
	2	総合問題対策2	25	総合問題対策25
	3	総合問題対策3	26	総合問題対策26
	4	総合問題対策4	27	総合問題対策27
	5	総合問題対策5	28	総合問題対策28
	6	総合問題対策6	29	総合問題対策29
	7	総合問題対策7	30	総合問題対策30
	8	総合問題対策8	31	総合問題対策31
	9	総合問題対策9	32	総合問題対策32
	10	総合問題対策10	33	総合問題対策33
	11	総合問題対策11	34	総合問題対策34
	12	総合問題対策12	35	総合問題対策35
	13	総合問題対策13	36	総合問題演習1
	14	総合問題対策14	37	総合問題演習2
	15	総合問題対策15	38	総合問題演習3
	16	総合問題対策16	39	総合問題演習4
	17	総合問題対策17	40	総合問題演習5
	18	総合問題対策18	41	総合問題演習6
	19	総合問題対策19	42	総合問題演習7
	20	総合問題対策20	43	総合問題演習8
	21	総合問題対策21	44	総合問題演習9
	22	総合問題対策22	45	総合問題演習10
	23	総合問題対策23		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ1 2 簿記の概要Ⅰ2 3 簿記の概要Ⅰ3 4 簿記の概要Ⅰ4 5 現金預金Ⅰ1 6 現金預金Ⅰ2 7 現金預金Ⅰ3 8 債権債務Ⅰ1 9 債権債務Ⅰ2 10 商品売買Ⅰ1 11 商品売買Ⅰ2 12 商品売買Ⅰ3 13 給料等Ⅰ1 14 給料等Ⅰ2 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎 2 個別注記表 3 現金及び預金 4 債権債務 5 関係会社概念 6 売上原価の算定 7 貸倒れ 8 給料等 9 その他の引当金 10 退職給付会計 11 有形固定資産 12 無形固定資産 13 株主資本 14 財務諸表論の基礎概念 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 課税の対象3 5 課税の対象4 6 非課税1 7 非課税2 8 非課税3 9 非課税4 10 輸出免税等1 11 輸出免税等2 12 輸出免税等3 13 輸出免税等4 14 資産の譲渡等の時期 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要 3 相続税法と民法 4 相続人、代襲相続 5 養子の子の取扱い 6 相続の承認と放棄 7 相続分（法定相続分、代襲相続分） 8 遺言による財産の取得 9 相続税の納税義務者 10 生命保険金等 11 相続税の非課税財産 12 相続税額の計算方法 13 生命保険金等の非課税金額 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 納税義務者 3 課税所得の範囲 4 交際費等の損金不算入 5 減価償却1 6 減価償却2 7 減価償却3 8 受取配当等の益金不算入 9 寄附金の損金不算入 10 租税公課等 11 納税充当金1 12 納税充当金2 13 別表四の作成 14 事業年度 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1 3 課税の対象2 4 非課税1 5 非課税2 6 輸出免税等1 7 輸出免税等2 8 資産の譲渡等の時期 9 控除対象仕入税額1 10 控除対象仕入税額2 11 売上げに係る対価の返還等 12 貸倒れが生じた場合 13 課税仕入れの範囲1 14 課税仕入れの範囲2 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ1	31	外貨建会計Ⅰ5
2	税効果会計Ⅰ2	32	外貨建会計Ⅰ6
3	税効果会計Ⅰ3	33	リース会計Ⅰ1
4	税効果会計Ⅰ4	34	リース会計Ⅰ2
5	税効果会計Ⅰ5	35	リース会計Ⅰ3
6	税効果会計Ⅰ6	36	リース会計Ⅰ4
7	税効果会計Ⅰ7	37	リース会計Ⅰ5
8	税効果会計Ⅰ8	38	リース会計Ⅰ6
9	現在価値計算Ⅰ1	39	試用販売Ⅰ1
10	現在価値計算Ⅰ2	40	試用販売Ⅰ2
11	現在価値計算Ⅰ3	41	試用販売Ⅰ3
12	保険金Ⅰ1	42	試用販売Ⅰ4
13	保険金Ⅰ2	43	試用販売Ⅰ5
14	保険金Ⅰ3	44	試用販売Ⅰ6
15	新株予約権付社債Ⅰ1	45	割賦販売Ⅰ1
16	新株予約権付社債Ⅰ2	46	割賦販売Ⅰ2
17	新株予約権付社債Ⅰ3	47	割賦販売Ⅰ3
18	新株予約権付社債Ⅰ4	48	割賦販売Ⅰ4
19	新株予約権付社債Ⅰ5	49	割賦販売Ⅰ5
20	新株予約権付社債Ⅰ6	50	割賦販売Ⅰ6
21	減損会計Ⅰ1	51	未着品販売Ⅰ1
22	減損会計Ⅰ2	52	未着品販売Ⅰ2
23	減損会計Ⅰ3	53	未着品販売Ⅰ3
24	減損会計Ⅰ4	54	未着品販売Ⅰ4
25	資産除去債務Ⅰ1	55	委託販売・受託販売Ⅰ1
26	資産除去債務Ⅰ2	56	委託販売・受託販売Ⅰ2
27	外貨建会計Ⅰ1	57	委託販売・受託販売Ⅰ3
28	外貨建会計Ⅰ2	58	委託販売・受託販売Ⅰ4
29	外貨建会計Ⅰ3	59	委託販売・受託販売Ⅰ5
30	外貨建会計Ⅰ4	60	確認テスト

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券	31	ゴルフ会員権
	2	満期保有目的の債券	32	売価還元法
	3	子会社株式・関連会社株式	33	製造業会計
	4	その他有価証券	34	研究開発費
	5	ソフトウェア	35	新株予約権
	6	法人税等・追徴還付	36	キャッシュ・フロー計算書
	7	現在価値計算	37	損益計算書総論
	8	社債	38	貸借対照表総論
	9	利益剰余金	39	資産総論
	10	自己株式	40	棚卸資産に関する会計基準
	11	配当	41	連続意見書
	12	外形基準、租税公課	42	引当金
	13	源泉所得税、社会保険料	43	会計観
	14	税効果会計	44	金融商品
	15	税効果注記	45	純資産会計1
	16	源泉所得税、社会保険料	46	純資産会計2
	17	株主資本等変動計算書	47	純資産会計3
	18	減損会計	48	純資産会計4
	19	配当を受けた株主の処理	49	純資産会計5
	20	圧縮記帳	50	企業結合会計1
	21	外貨建取引	51	企業結合会計2
	22	退職給付会計簡便法	52	企業結合会計3
	23	繰延資産	53	企業結合会計4
	24	為替予約	54	企業結合会計5
	25	仕入・売上げの計上基準	55	事業分離会計1
	26	消費税等	56	事業分離会計2
	27	他勘定振替	57	事業分離会計3
	28	外貨建有価証券	58	事業分離会計4
	29	リース会計	59	事業分離会計5
	30	証券投資信託	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額1	31	納税義務の免除1
	2	控除対象仕入税額2	32	納税義務の免除2
	3	控除対象仕入税額3	33	納税義務の免除3
	4	控除対象仕入税額4	34	納税義務の免除4
	5	控除対象仕入税額5	35	納税義務の免除5
	6	控除対象仕入税額6	36	国境を越えた役務の提供1
	7	売上げに係る対価の返還等1	37	国境を越えた役務の提供2
	8	売上げに係る対価の返還等2	38	国境を越えた役務の提供3
	9	貸倒れが生じた場合1	39	国境を越えた役務の提供4
	10	貸倒れが生じた場合2	40	国境を越えた役務の提供5
	11	課税仕入れの範囲1	41	中間申告に係る納付税額の計算1
	12	課税仕入れの範囲2	42	中間申告に係る納付税額の計算2
	13	課税仕入れの範囲3	43	課税仕入れ等の分類1
	14	課税仕入れの範囲4	44	課税仕入れ等の分類2
	15	課税仕入れ等の時期1	45	課税仕入れ等の分類3
	16	課税仕入れ等の時期2	46	課税仕入れ等の分類4
	17	課税仕入れ等の時期3	47	課税仕入れ等の分類5
	18	課税仕入れ等の時期4	48	仕入税額控除の特例1
	19	課税売上割合1	49	仕入税額控除の特例2
	20	課税売上割合2	50	仕入税額控除の特例3
	21	課税売上割合3	51	仕入税額控除の調整1
	22	課税売上割合4	52	仕入税額控除の調整2
	23	課税売上割合5	53	仕入税額控除の調整3
	24	課税売上割合6	54	仕入税額控除の調整4
	25	課税期間における課税売上高1	55	納税義務の免除の特例1
	26	課税期間における課税売上高2	56	納税義務の免除の特例2
	27	課税売上割合に準ずる割合1	57	納税義務の免除の特例3
	28	課税売上割合に準ずる割合2	58	納税義務の免除の特例4
	29	仕入れに係る対価の返還等1	59	納税義務の免除の特例5
	30	仕入れに係る対価の返還等2	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	贈与税の概要、贈与税の納税義務者	31	小規模宅地等の減額1
2	弔慰金等、債務控除	32	小規模宅地等の減額2
3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算	33	小規模宅地等の減額3
4	相続時精算課税適用財産、生前贈与加算相続税の総額	34	小規模宅地等の減額4
5	算出相続税額の計算、相続税額の加算	35	小規模宅地等の減額5
6	贈与税額控除（暦年）、配偶者の税額軽減	36	小規模宅地等の減額6
7	未成年者控除、障害者控除	37	確認テスト3(理論)
8	確認テスト1(理論)	38	取引相場のない株式1
9	特定納税義務者	39	取引相場のない株式2
10	特定納税義務者の債務控除、特定納税義務者の障害者控除	40	取引相場のない株式3
11	贈与税額控除（精算）	41	取引相場のない株式4
12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）	42	取引相場のない株式5
13	自用家屋、家屋と構造上一体となっている設備	43	取引相場のない株式6
14	特別養子制度、生命保険契約に関する権利	44	取引相場のない株式7
15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合	45	取引相場のない株式8
16	法定相続人の数、本来の財産	46	取引相場のない株式9
17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）	47	取引相場のない株式10
18	地区区分の異なる宅地	48	取引相場のない株式11
19	側方路線等に宅地の一部が接している場合	49	取引相場のない株式12
20	普通借地権（自用借地権）、貸宅地、貸家建付地	50	取引相場のない株式13
21	貸家建付借地権、貸家	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等
22	一般動産、たな卸商品等	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地
23	書画骨とう品、預貯金	53	相当の地代を支払っている場合の借地権
24	上場株式、構築物	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地
25	貸付金債権等、受取手形等	55	利用区分が異なる建物、建築中の家屋
26	間口が狭小な宅地等、角切り宅地の間口距離	56	不整形地、地積規模の大きな宅地
27	確認テスト2(理論)	57	がけ地等を有する宅地、旗竿状の宅地等
28	使用貸借により借り受けた宅地等	58	容積率の異なる宅地
29	使用貸借により貸し付けられた宅地等	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地
30	使用貸借により貸し付けられた家屋	60	確認テスト4(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義８０時間、演習４０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ
2	貸倒損失Ⅱ	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ
3	貸倒引当金Ⅰ	33	みなし配当金Ⅰ
4	貸倒引当金Ⅱ	34	みなし配当金Ⅱ
5	欠損金Ⅰ	35	資本等取引Ⅰ
6	欠損金Ⅱ	36	資本等取引Ⅱ
7	外貨建取引Ⅰ	37	交換差益Ⅰ
8	外貨建取引Ⅱ	38	交換差益Ⅱ
9	有価証券Ⅰ	39	交換差益Ⅲ
10	有価証券Ⅱ	40	別表五㈡Ⅰ
11	収用等Ⅰ	41	別表五㈡Ⅱ
12	収用等Ⅱ	42	別表五㈡Ⅲ
13	所得税額控除Ⅰ	43	別表五㈡Ⅳ
14	所得税額控除Ⅱ	44	リース取引Ⅰ
15	国庫補助金等Ⅰ	45	リース取引Ⅱ
16	国庫補助金等Ⅱ	46	リース取引Ⅲ
17	別表五㈠の作成Ⅰ	47	リース取引Ⅳ
18	別表五㈠の作成Ⅱ	48	繰延資産Ⅰ
19	圧縮記帳Ⅰ	49	繰延資産Ⅱ
20	圧縮記帳Ⅱ	50	繰延資産Ⅲ
21	役員判定Ⅰ	51	繰延資産Ⅳ
22	役員判定Ⅱ	52	確定決算型Ⅰ
23	役員給与Ⅰ	53	確定決算型Ⅱ
24	役員給与Ⅱ	54	確定決算型Ⅲ
25	使用人給与Ⅰ	55	確定決算型Ⅳ
26	使用人給与Ⅱ	56	グループ法人税制Ⅰ
27	特定資産の買換えⅠ	57	グループ法人税制Ⅱ
28	特定資産の買換えⅡ	58	資産の評価損益
29	外国税額控除Ⅰ	59	保険料
30	外国税額控除Ⅱ	60	確認テスト（理論）

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期1 2 課税仕入れ等の時期2 3 課税売上割合1 4 課税売上割合2 5 課税期間における課税売上高1 6 課税期間における課税売上高2 7 課税売上割合に準ずる割合1 8 課税売上割合に準ずる割合2 9 仕入れに係る対価の返還等 10 納税義務の免除 11 国境を越えた役務の提供1 12 国境を越えた役務の提供2 13 国境を越えた役務の提供3 14 中間申告に係る納付税額の計算 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 固定資産Ⅰ1 2 固定資産Ⅰ2 3 ソフトウェアⅠ 4 債権債務Ⅰ 5 貸倒れⅠ 6 退職給付会計Ⅰ1 7 退職給付会計Ⅰ2 8 税金Ⅰ 9 社債Ⅰ1 10 社債Ⅰ2 11 純資産会計Ⅰ1 12 純資産会計Ⅰ2 13 有価証券Ⅰ1 14 有価証券Ⅰ2 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正1 2 会計上の変更及び誤謬の訂正2 3 会計上の変更及び誤謬の訂正3 4 会計上の変更及び誤謬の訂正4 5 会計上の変更及び誤謬の訂正5 6 分配可能額1 7 分配可能額2 8 分配可能額3 9 分配可能額4 10 分配可能額5 11 ストック・オプション1 12 ストック・オプション2 13 ストック・オプション3 14 ストック・オプション4 15 ストック・オプション5 16 セール＆リースバック1 17 セール＆リースバック2 18 セール＆リースバック3 19 セール＆リースバック4 20 セール＆リースバック5 21 財務諸表等規則1 22 財務諸表等規則2 23 財務諸表等規則3 24 財務諸表等規則4 25 財務諸表等規則5 26 負債1 27 負債2 28 負債3 29 負債4 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算 2 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整1 3 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整2 4 課税標準1 5 課税標準2 6 課税標準3 7 課税標準4 8 簡易課税制度1 9 簡易課税制度2 10 簡易課税制度3 11 簡易課税制度4 12 簡易課税制度5 13 簡易課税制度6 14 簡易課税制度7 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 私道の用に供されている宅地、セットバックを必要とする宅地 2 上場株式（権利落）、株式の割り当てを受ける権利 3 宅地等の評価単位、契約者貸付金等がある場合の保険金 4 純農地、中間農地、純山林、中間山林 5 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林 6 立木、立木の評価減、配当期待権 7 贈与税が課税される場合、相続税が課税される場合 8 負担付遺贈・贈与、贈与税の非課税財産 9 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税 10 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例 11 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税 12 証券投資信託受益証券、ゴルフ会員権 13 不動産投資信託証券、措法70の非課税 14 権利義務の承継、贈与税の配偶者控除 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 設立事業年度 2 組織再編税制 3 工事の請負 4 修正申告 5 税効果会計 6 賃上げ・投資促進税制 7 スピンオフ税制 8 特定同族会社の特別税率 9 適用除外事業者 10 地方法人税 11 外国子会社配当 12 借地権等 13 償還差損益 14 未収還付税金 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類1 2 課税仕入れ等の分類2 3 課税仕入れ等の分類3 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2 7 納税義務の免除の特例1 8 納税義務の免除の特例2 9 納税義務の免除の特例3 10 納税義務の免除の特例4 11 納税義務の免除の特例5 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目 15 課税標準1 16 課税標準2 17 簡易課税制度1 18 簡易課税制度2 19 簡易課税制度3 20 簡易課税制度4 21 軽減税率1 22 軽減税率2 23 旧税率に関する経過措置1 24 旧税率に関する経過措置2 25 複数税率の場合の計算1 26 複数税率の場合の計算2 27 国等に対する特例1 28 国等に対する特例2 29 特殊項目 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理4 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理5 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理6 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 21 個人住民税の徴収及び納付1 22 個人住民税の徴収及び納付2 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要1 26 消費税法の概要2 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（講義１５時間、演習１５時間）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識1
	2	所得税の基礎知識2
	3	所得税の基礎知識3
	4	年末調整のしかた1
	5	年末調整のしかた2
	6	年末調整のしかた3
	7	法定調書の流れ1
	8	法定調書の流れ2
	9	法定調書の流れ3
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3
	13	労働保険の概要及び会計処理1
	14	労働保険の概要及び会計処理2
	15	労働保険の概要及び会計処理3
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	経理実務で必要な消費税の基礎知識ならびに法人税の基礎知識、別表の作成手順を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に消費税・法人税に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 消費税法の概要 2 納税義務者 3 課税対象取引 4 非課税取引・免税取引 5 基本税額計算 6 簡易課税制度 7 申告・納付 8 確認テスト 9 法人税の基礎知識 10 法人税の計算構造 11 別表四の作成 12 別表一の作成 13 法人事業税及び地方特別税の基礎知識 14 法人住民税の基礎知識 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで使用される基本的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ基礎編の位置付けで実施する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正1 8 誤字訂正2・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方1 11 漢字の意味・使い方2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う基礎編の位置付けで実施する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習1 3 電卓演習2 4 電卓演習3 5 電卓演習4 6 電卓演習5 7 電卓演習6 8 電卓演習7 9 電卓演習8 10 電卓演習9 11 電卓演習10 12 電卓演習11 13 電卓演習12 14 電卓演習13 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義８時間、演習２２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究1 4 企業研究2 5 志望動機の作り方1 6 志望動機の作り方2 7 志望動機の作り方3 8 志望動機の作り方4 9 志望動機の作り方5 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習1 14 内定後学習2 15 内定後学習3
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成1 4 テーブルの作成2 5 関数を使用してのデータ集計1 6 関数を使用してのデータ集計2 7 関数を使用しての条件付き計算1 8 関数を使用しての条件付き計算2 9 関数を使用しての条件付き計算3 10 関数を使用した文字列の整形や変更1 11 関数を使用した文字列の整形や変更2 12 グラフの作成1 13 グラフの作成2 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義８時間、演習２２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究1 4 企業研究2 5 志望動機の作り方1 6 志望動機の作り方2 7 志望動機の作り方3 8 志望動機の作り方4 9 志望動機の作り方5 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習1 14 内定後学習2 15 内定後学習3
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義８時間、演習２２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議1 6 時事研究・グループ討議2 7 時事研究・グループ討議3 8 時事研究・グループ討議4 9 時事研究・グループ討議5 10 時事研究・グループ討議6 11 時事研究・グループ討議7 12 時事研究・グループ討議8 13 時事研究・グループ討議9 14 発表1 15 発表2
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実務会計基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（講義４０時間、演習８０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	売掛債権管理1	31	月次業務管理3
	2	売掛債権管理2	32	月次業務管理4
	3	売掛債権管理3	33	税効果計算業務1
	4	売掛債権管理4	34	税効果計算業務2
	5	買掛債務管理1	35	税効果計算業務3
	6	買掛債務管理2	36	税効果計算業務4
	7	買掛債務管理3	37	税効果計算業務5
	8	買掛債務管理4	38	税効果計算業務6
	9	在庫管理1	39	税効果計算業務7
	10	在庫管理2	40	消費税申告業務1
	11	在庫管理3	41	消費税申告業務2
	12	在庫管理4	42	消費税申告業務3
	13	固定資産1	43	消費税申告業務4
	14	固定資産2	44	消費税申告業務5
	15	固定資産3	45	消費税申告業務6
	16	固定資産4	46	消費税申告業務7
	17	ソフトウェア管理1	47	法人税申告業務1
	18	ソフトウェア管理2	48	法人税申告業務2
	19	ソフトウェア管理3	49	法人税申告業務3
	20	ソフトウェア管理4	50	法人税申告業務4
	21	原価管理1	51	法人税申告業務5
	22	原価管理2	52	法人税申告業務6
	23	原価管理3	53	法人税申告業務7
	24	原価管理4	54	税務調査対応1
	25	経費管理1	55	税務調査対応2
	26	経費管理2	56	税務調査対応3
	27	経費管理3	57	税務調査対応4
	28	経費管理4	58	税務調査対応5
	29	月次業務管理1	59	税務調査対応6
	30	月次業務管理2	60	税務調査対応7

成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実務会計応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	決算書の構図を理解し、経営活動との関係性を学習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 現金出納帳管理 2 手形・小切手管理 3 有価証券管理 4 財務保証管理 5 貸付金業務 6 借入金業務 7 社債管理 8 デリバティブ取引管理 9 外貨建取引管理 10 資金管理 11 単年決算業務 12 連結決算管理 13 中長期軽々管理 14 年次予算管理1 15 年次予算管理2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	VBA基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの操作に関する実践的な知識を身に付ける学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	Excelの実践的な関数、マクロ・VBAの基礎知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 関数を使用してのデータ検索1 2 関数を使用してのデータ検索2 3 日付と時刻の関数を適用 4 マクロとVBA1 5 マクロとVBA2 6 マクロとVBA3 7 マクロの基本操作1 8 マクロの基本操作2 9 マクロの基本操作3 10 マクロ記録の活用1 11 マクロ記録の活用2 12 マクロ記録の活用3 13 オブジェクト操作1 14 オブジェクト操作2 15 オブジェクト操作3 16 セル操作1 17 セル操作2 18 セル操作3 19 VBAの基本構文1 20 VBAの基本構文2 21 VBAの基本構文3 22 VBAの基本構文4 23 VBAの基本構文5 24 VBA関数1 25 VBA関数2 26 VBA関数3 27 VBA関数4 28 VBA関数5 29 VBA関数6 30 VBA関数7
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成1 2 プレゼンテーションの作成2 3 スライドの挿入、書式設定1 4 スライドの挿入、書式設定2 5 配布資料、ノートの変更1 6 配布資料、ノートの変更2 7 配布資料、ノートの変更3 8 スライドの並べ替え、グループ化1 9 スライドの並べ替え、グループ化2 10 スライドの並べ替え、グループ化3 11 オプションの変更1 12 オプションの変更2 13 オプションの変更3 14 スライドショーの設定、実行1 15 スライドショーの設定、実行2 16 スライドショーの設定、実行3 17 テキストの挿入、書式設定1 18 テキストの挿入、書式設定2 19 テキストの挿入、書式設定3 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定1 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定2 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定3 23 図の挿入、書式設定1 24 図の挿入、書式設定2 25 図の挿入、書式設定3 26 図の挿入、書式設定4 27 図形の並び替え、グループ化1 28 図形の並び替え、グループ化2 29 図形の並び替え、グループ化3 30 図形の並び替え、グループ化4
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定1 3 グラフの挿入、書式設定2 4 SmartArtの挿入、書式設定1 5 SmartArtの挿入、書式設定2 6 メディアの挿入、管理1 7 メディアの挿入、管理2 8 画面切り替えの設定1 9 画面切り替えの設定2 10 アニメーションの設定1 11 アニメーションの設定2 12 複数のコンテンツの結合1 13 複数のコンテンツの結合2 14 プレゼンテーションの保護、共有1 15 プレゼンテーションの保護、共有2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ネットビジネス応用
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ネットショップ検定（レベル１）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ネットショップ事業の準備1 2 ネットショップ事業の準備2 3 ネットショップ事業の準備3 4 ネットショップの製作1 5 ネットショップの製作2 6 ネットショップの製作3 7 ネットショップの製作4 8 ネットショップのプロモーション1 9 ネットショップのプロモーション2 10 ネットショップのプロモーション3 11 ネットショップのプロモーション4 12 ネットショップの運用1 13 ネットショップの運用2 14 ネットショップの運用3 15 ネットショップの運用4 16 社会人としての基礎知識1 17 社会人としての基礎知識2 18 社会人としての基礎知識3 19 社会人としての基礎知識4 20 問題演習1 21 問題演習2 22 問題演習3 23 問題演習4 24 総合演習1 25 総合演習2 26 総合演習3 27 総合演習4 28 検定対策1 29 検定対策2 30 検定対策3
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理1 2 ワークシートやブックの作成と管理2 3 セルやセル範囲のデータの管理1 4 セルやセル範囲のデータの管理2 5 テーブルの作成1 6 テーブルの作成2 7 テーブルの作成3 8 関数を使用してのデータ集計1 9 関数を使用してのデータ集計2 10 関数を使用してのデータ集計3 11 関数を使用しての条件付き計算1 12 関数を使用しての条件付き計算2 13 関数を使用しての条件付き計算3 14 関数を使用した文字列の整形や変更1 15 関数を使用した文字列の整形や変更2 16 関数を使用した文字列の整形や変更3 17 グラフの作成1 18 グラフの作成2 19 グラフの作成3 20 グラフの書式設定1 21 グラフの書式設定2 22 グラフの書式設定3 23 グラフの書式設定4 24 グラフの書式設定5 25 オブジェクトの挿入や書式設定1 26 オブジェクトの挿入や書式設定2 27 オブジェクトの挿入や書式設定3 28 オブジェクトの挿入や書式設定4 29 オブジェクトの挿入や書式設定5 30 オブジェクトの挿入や書式設定6
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話入門
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 出会った時のあいさつ 2 初対面の人と話す 3 人を紹介する 4 別れる時のあいさつ 5 お礼を言う 6 おわびをする 7 依頼する 8 許可を求める 9 賛成・同意する 10 反対・否定する 11 聞き返す 12 あいづちをうつ 13 発話1 14 発話2 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営法務入門
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2 国際社会に関する事例学習1 3 国際社会に関する事例学習2 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9 経営に関する事例学習1 10 経営に関する事例学習2 11 ＩＴ社会に関する基礎用語 12 ＩＴ社会に関する事例学習1 13 ＩＴ社会に関する事例学習2 14 ＡＩに関する基礎用語 15 ＡＩに関する事例学習
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 基本の英会話1 2 基本の英会話2 3 基本の英会話3 4 基本の英会話4 5 基本の英会話5 6 基本の英会話6 7 覚えて便利な日常会話フレーズ1 8 覚えて便利な日常会話フレーズ2 9 覚えて便利な日常会話フレーズ3 10 覚えて便利な日常会話フレーズ4 11 覚えて便利な日常会話フレーズ5 12 場面別英会話1 13 場面別英会話2 14 場面別英会話3 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１６時間、演習１４時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	口頭練習と談話練習を重ね、実践的な会話を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	実際のビジネスの場面でスムーズなやり取りができるようになる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 新人を歓迎する1 2 新人を歓迎する2 3 新人を歓迎する3 4 新人を歓迎する4 5 取引先を訪問する1 6 取引先を訪問する2 7 取引先を訪問する3 8 面接を受ける1 9 面接を受ける2 10 面接を受ける3 11 面接を受ける4 12 営業報告会に出る1 13 営業報告会に出る2 14 営業報告会に出る3 15 営業報告会に出る4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理1 2 文書の作成と管理2 3 文書の作成と管理3 4 一般的なビジネス文書の作成1 5 一般的なビジネス文書の作成2 6 一般的なビジネス文書の作成3 7 シンプルなレポートや報告書の作成1 8 シンプルなレポートや報告書の作成2 9 シンプルなレポートや報告書の作成3 10 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ1 11 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ2 12 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ3 13 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ4 14 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ5 15 表、画像、図形を使った文書の作成Ｉ6
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い1 2 学校と職場の違い2 3 学校と職場の違い3 4 職場のマナー1 5 職場のマナー2 6 職場のマナー3 7 仕事の進め方1 8 仕事の進め方2 9 仕事の進め方3 10 報告、連絡、相談1 11 報告、連絡、相談2 12 報告、連絡、相談3 13 挨拶1 14 挨拶2 15 挨拶3 16 笑顔、お辞儀1 17 笑顔、お辞儀2 18 笑顔、お辞儀3 19 敬語1 20 敬語2 21 敬語3 22 応対の基本1 23 応対の基本2 24 応対の基本3 25 電話応対1 26 電話応対2 27 電話応対3 28 効果測定1 29 効果測定2 30 効果測定3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ1 7 接遇の流れ2 8 演習1 9 演習2 10 演習3 11 演習4 12 演習5 13 演習6 14 効果測定1 15 効果測定2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで使用される基本的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ基礎編の位置付けで実施する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正1 8 誤字訂正2・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方1 11 漢字の意味・使い方2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２時間、演習２８時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う基礎編の位置付けで実施する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習1 3 電卓演習2 4 電卓演習3 5 電卓演習4 6 電卓演習5 7 電卓演習6 8 電卓演習7 9 電卓演習8 10 電卓演習9 11 電卓演習10 12 電卓演習11 13 電卓演習12 14 電卓演習13 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理1 2 文章の作成と管理2 3 文章の作成と管理3 4 表作成の基本操作1 5 表作成の基本操作2 6 表作成の基本操作3 7 表、画像、図形を使った文書の作成Ⅱ1 8 表、画像、図形を使った文書の作成Ⅱ2 9 表、画像、図形を使った文書の作成Ⅱ3 10 見やすく使いやすい表にする編集操作1 11 見やすく使いやすい表にする編集操作2 12 見やすく使いやすい表にする編集操作3 13 見やすく使いやすい表にする編集操作4 14 見やすく使いやすい表にする編集操作5 15 見やすく使いやすい表にする編集操作6
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　文書の作成と管理1 2　文書の作成と管理2 3　文書の作成と管理3 4　数式・関数を活用した集計表の作成1 5　数式・関数を活用した集計表の作成2 6　数式・関数を活用した集計表の作成3 7　ワークシート間の集計1 8　ワークシート間の集計2 9　ワークシート間の集計3 10　グラフの基本1 11　グラフの基本2 12　グラフの基本3 13　目的に応じたグラフの作成と編集1 14　目的に応じたグラフの作成と編集2 15　目的に応じたグラフの作成と編集3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１０時間、実習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　文書の作成と管理1 2　文書の作成と管理2 3　文書の作成と管理3 4　データベース機能の利用1 5　データベース機能の利用2 6　データベース機能の利用3 7　データの抽出1 8　データの抽出2 9　データの抽出3 10　ピボットテーブル1 11　ピボットテーブル2 12　ピボットテーブル3 13　マクロによる作業の自動化1 14　マクロによる作業の自動化2 15　マクロによる作業の自動化3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計ソフト実習
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	３０時間（講義１５時間、実習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 振替伝票の入力操作 2 入出金伝票の入力操作 3 仕訳帳の入力操作 4 売掛帳・買掛帳の入力操作 5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作 6 勘定科目の追加登録 7 付箋機能 8 決算手続きの操作1 9 決算手続きの操作2 10 決算手続きの操作3 11 決算手続きの操作4 12 決算書の作成1 13 決算書の作成2 14 決算書の作成3 15 翌期繰越処理
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 事務職の1日の流れ 2 電話応対応用1 3 電話応対応用2 4 電話応対応用3 5 接遇の流れ1 6 接遇の流れ2 7 接遇の流れ3 8 演習1 9 演習2 10 演習3 11 演習4 12 演習5 13 演習6 14 効果測定1 15 効果測定2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４０時間、演習２０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役税理士の講師が、実務者の観点から会計処理の方法と、税金の納付事務作業に関する講義を行う。
授業計画	1　経理・総務の年間カリキュラム 2　小切手・手形の実務上のポイント 3　入出金伝票と現金出納帳 4　当座預金出納帳と手形記入帳 5　交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 7　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 8　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 9　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理4 10　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理5 11　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理6 12　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 13　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 14　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 15　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 16　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 17　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 18　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 19　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 20　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 21　個人住民税の徴収及び納付1 22　個人住民税の徴収及び納付2 23　印紙税の基礎知識 24　受取利息の会計処理 25　消費税法の概要1 26　消費税法の概要2 27　消費税の会計処理 28　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 29　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 30　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）3
成績評価方法 （試験実施方法）	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１５時間、演習１５時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	現役税理士の講師が、実務者の観点から給与計算に関連する基礎知識を体系的に学ぶ講義を行う。
授業計画	1　所得税の基礎知識1 2　所得税の基礎知識2 3　所得税の基礎知識3 4　年末調整のしかた1 5　年末調整のしかた2 6　年末調整のしかた3 7　法定調書の流れ1 8　法定調書の流れ2 9　法定調書の流れ3 10　個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1 11　個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2 12　個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3 13　労働保険の概要及び会計処理1 14　労働保険の概要及び会計処理2 15　労働保険の概要及び会計処理3
成績評価方法 （試験実施方法）	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 外貨建会計1 2 外貨建会計2 3 外貨建会計3 4 外貨建会計4 5 リース取引1 6 リース取引2 7 リース取引3 8 リース取引4 9 キャッシュ・フロー計算書1 10 キャッシュ・フロー計算書2 11 キャッシュ・フロー計算書3 12 キャッシュ・フロー計算書4 13 キャッシュ・フロー計算書5 14 キャッシュ・フロー計算書6 15 税効果会計1 16 税効果会計2 17 税効果会計3 18 税効果会計4 19 税効果会計5 20 税効果会計6 21 退職給付会計1 22 退職給付会計2 23 退職給付会計3 24 退職給付会計4 25 退職給付会計5 26 消費税法1 27 消費税法2 28 消費税法3 29 消費税法4 30 消費税法5 31 消費税法6 32 消費税法7 33 消費税法8 34 消費税法9 35 消費税法10 36 法人税法1 37 法人税法2 38 法人税法3 39 法人税法4 40 法人税法5 41 法人税法6 42 法人税法7 43 法人税法8 44 法人税法9 45 法人税法10
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上1 3 納品書の作成と売上計上2 4 請求書の作成と代金回収管理1 5 請求書の作成と代金回収管理2 6 請求書の作成と代金回収管理3 7 複数の得意先との取引1 8 複数の得意先との取引2 9 複数の得意先との取引3 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳1 12 仕入管理の記帳2 13 仕入代金の支払いと買掛金管理1 14 仕入代金の支払いと買掛金管理2 15 仕入代金の支払いと買掛金管理3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義２０時間、演習１０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　用語知識1 2　用語知識2 3　用語知識3 4　用語知識4 6　考え方1 7　考え方2 8　考え方3 9　考え方4 10　発表1 11　発表2 12　発表3 13　個人研究1 14　個人研究2 15　個人研究3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文化リテラシーⅢ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	日本文化を理解する(知る)
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 自己紹介 2 時事研究1 3 時事研究2 4 時事研究3 5 時事研究4 6 グループディスカッション1 7 グループディスカッション2 8 グループディスカッション3 9 グループディスカッション4 10 発表・ディベート1 11 発表・ディベート2 12 発表・ディベート3 13 発表・ディベート4 14 発表・ディベート5 15 発表・ディベート6
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	販売職に従事する実務家による講義形式の授業
授業計画	1 顧客満足1 2 顧客満足2 3 マーケティングの必要性1 4 マーケティングの必要性2 5 情報収集と分析1 6 情報収集と分析2 7 流通チャネル1 8 流通チャネル2 9 プロモーション1 10 プロモーション2 11 財務知識1 12 財務知識2 13 事例研究1 14 事例研究2 15 事例研究3
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義２０時間、演習４０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	販売職に従事する実務家による講義形式の授業
授業計画	1 店舗データの理解1 2 店舗データの理解2 3 マーケティングの流れ1 4 マーケティングの流れ2 5 売上構成分析1 6 売上構成分析2 7 来店客分析1 8 来店客分析2 9 商品分析1 10 商品分析2 11 費用分析1 12 費用分析2 13 課題抽出1 14 課題抽出2 15 アンケート調査分析1 16 アンケート調査分析2 17 企画作成1 18 企画作成2 19 企画作成3 20 企画作成4 21 様々なマーケティング1 22 様々なマーケティング2 23 プレ卒業研究1 24 プレ卒業研究2 25 プレ卒業研究3 26 プレ卒業研究4 27 プレ卒業研究5 28 プレ卒業研究6 29 プレ卒業研究7 30 プレ卒業研究8
成績評価方法 (試験実施方法)	実務家による総評および授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売職ビジネスマナー			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	接客に関する実践的な学習をする			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	接客販売、営業マナーとは1	24	演習1
	2	接客販売、営業マナーとは2	25	演習2
	3	接客販売、営業マナーとは3	26	演習3
	4	接客販売の心得1	27	商談の進め方1
	5	接客販売の心得2	28	商談の進め方2
	6	接客販売の心得3	29	商談の進め方3
	7	お客様の心理1	30	商談の進め方4
	8	お客様の心理2	31	商品説明1
	9	お客様の心理3	32	商品説明2
	10	店内接客の基本1	33	商品説明3
	11	店内接客の基本2	34	商品説明4
	12	店内接客の基本3	35	商品説明5
	13	演習1	36	演習1
	14	演習2	37	演習2
	15	演習3	38	演習3
	16	営業の心得1	39	演習4
	17	営業の心得2	40	総合演習1
	18	営業の心得3	41	総合演習2
	19	営業の心得4	42	総合演習3
	20	訪問の流れ1	43	効果測定1
	21	訪問の流れ2	44	効果測定2
	22	訪問の流れ3	45	効果測定3
	23	訪問の流れ4		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１０時間、演習２０時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画1 4 企画2 5 企画3 6 情報収集1 7 情報収集2 8 情報収集3 9 シナリオ作成1 10 シナリオ作成2 11 シナリオ作成3 12 コンテンツ作成1 13 コンテンツ作成2 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	１８０時間（講義３０時間、実習１５０時間）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	業界分析1	46	調査・検証2
	2	業界分析2	47	調査・検証3
	3	業界分析3	48	調査・検証4
	4	業界分析4	49	調査・検証5
	5	情報収集1	50	調査・検証6
	6	情報収集2	51	調査・検証7
	7	情報収集3	52	調査・検証8
	8	情報収集4	53	調査・検証9
	9	情報収集5	54	調査・検証10
	10	情報収集6	55	企画案作成1
	11	情報収集7	56	企画案作成2
	12	情報収集8	57	企画案作成3
	13	店舗分析1	58	企画案作成4
	14	店舗分析2	59	企画案作成5
	15	店舗分析3	60	企画案作成6
	16	店舗分析4	61	企画案作成7
	17	店舗分析5	62	企画案作成8
	18	店舗分析6	63	企画案作成9
	19	店舗分析7	64	企画案作成10
	20	店舗分析8	65	中間発表1
	21	店舗見学1	66	中間発表2
	22	店舗見学2	67	中間発表3
	23	店舗見学3	68	中間発表4
	24	店舗見学4	69	中間発表5
	25	店舗見学5	70	再検証1
	26	店舗見学6	71	再検証2
	27	店舗見学7	72	再検証3
	28	店舗見学8	73	再検証4
	29	課題抽出1	74	再検証5
	30	課題抽出2	75	再検証6
	31	課題抽出3	76	再検証7
	32	課題抽出4	77	再検証8
	33	課題抽出5	78	再検証9
	34	課題抽出6	79	再検証10
	35	課題抽出7	80	最終発表1
	36	課題抽出8	81	最終発表2
	37	仮説1	82	最終発表3
	38	仮説2	83	最終発表4
	39	仮説3	84	最終発表5
	40	仮説4	85	代表によるコンテストの実施1
	41	仮説5	86	代表によるコンテストの実施2
	42	仮説6	87	代表によるコンテストの実施3
	43	仮説7	88	代表によるコンテストの実施4
	44	仮説8	89	代表によるコンテストの実施5
	45	調査・検証1	90	代表によるコンテストの実施6

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義４２時間、演習１８時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	就職活動において採用試験に合格する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 求人研究1 2 面接トレーニング1 3 業界研究1 4 業界研究2 5 業界研究3 6 求人研究2 7 面接トレーニング2 8 職種研究1 9 職種研究2 10 職種研究3 11 求人研究3 12 面接トレーニング3 13 企業研究1 14 企業研究2 15 企業研究3 16 求人研究4 17 面接トレーニング4 18 適性試験対策1 19 適性試験対策2 20 適性試験対策3 21 求人研究5 22 面接トレーニング5 23 エントリーシート対策1 24 エントリーシート対策2 25 エントリーシート対策3 26 求人研究6 27 面接トレーニング6 28 グループディスカッション対策1 29 グループディスカッション対策2 30 効果測定　面接
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義３２時間、演習２８時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	就職活動において採用試験に合格する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 求人研究1 2 面接トレーニング1 3 面接トレーニング2 4 適性試験対策1 5 適性試験対策2 6 求人研究2 7 面接トレーニング3 8 面接トレーニング4 9 エントリーシート対策1 10 エントリーシート対策2 11 求人研究3 12 面接トレーニング5 13 面接トレーニング6 14 グループディスカッション対策1 15 グループディスカッション対策2 16 求人研究4 17 面接トレーニング7 18 面接トレーニング8 19 適性試験対策3 20 適性試験対策4 21 求人研究5 22 面接トレーニング9 23 面接トレーニング10 24 エントリーシート対策3 25 エントリーシート対策4 26 求人研究6 27 面接トレーニング11 28 面接トレーニング12 29 企業研究レポート作成 30 効果測定　企業研究レポート
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナーⅠ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（講義１８時間、演習１２時間）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基本的なビジネスマナーについて学習する
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	社会人として必要なビジネスマナーを理解し身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 学校と職場の違い 3 職場のマナー 4 仕事の進め方 5 「ほう・れん・そう」とは 6 挨拶の種類 7 笑顔・お辞儀 8 正しい敬語の使い方 9 応対の基本 10 電話応対のマナー 11 電話の受け方 12 電話のかけ方 13 状況別の電話応対 14 効果測定対策 15 効果測定　電話応対実技
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	AI基礎プログラミング
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	Pythonにより最低限のライブラリで実装するAIシステムの実装
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な演習
達成目標	深層学習システムに必須な基本的技術の実装に対応できる
教科書	PythonによるAIプログラミング入門
特記	

授業計画				
	1	人工知能の概要	24	自然言語処理1
	2	教師あり学習を用いた分類と回帰1	25	自然言語処理2
	3	教師あり学習を用いた分類と回帰2	26	自然言語処理3
	4	教師あり学習を用いた分類と回帰3	27	連続データの確率的推論1
	5	アンサンブル学習を用いた予測分析1	28	連続データの確率的推論2
	6	アンサンブル学習を用いた予測分析2	29	連続データの確率的推論3
	7	教師なし学習を用いたパターン検出1	30	音声認識1
	8	教師なし学習を用いたパターン検出2	31	音声認識2
	9	教師なし学習を用いたパターン検出3	32	音声認識3
	10	推薦エンジンを作る1	33	物体検出と追跡1
	11	推薦エンジンを作る2	34	物体検出と追跡2
	12	論理プログラミング1	35	物体検出と追跡3
	13	論理プログラミング2	36	人工ニューラルネットワーク1
	14	ヒューリスティック探索1	37	人工ニューラルネットワーク2
	15	ヒューリスティック探索2	38	人工ニューラルネットワーク3
	16	ヒューリスティック探索3	39	強化学習1
	17	遺伝的アルゴリズム1	40	強化学習2
	18	遺伝的アルゴリズム2	41	強化学習3
	19	遺伝的アルゴリズム3	42	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング1
	20	人工知能を使ったゲーム1	43	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング2
	21	人工知能を使ったゲーム2	44	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング3
	22	人工知能を使ったゲーム3	45	第2回効果測定
	23	第1回効果測定		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	IoTシステム基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（講義４０時間、演習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	IoTの仕組みを学び、PythonおよびIoT関連ライブラリを使用してIoTの基礎的実装を演習する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な演習
達成目標	IoTの仕組みの理解、IoT関連ライブラリを使用したIoTシステム実装の理解
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書
特記	
授業計画	1 IoTの概要 2 IoTの仕組み 3 Raspberry　Piのセットアップ 4 Raspberry Piの初期化 5 Raspberry Piにリモートアクセスする1 6 Raspberry Piにリモートアクセスする2 7 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる1 8 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる2 9 演習1 10 演習2 11 演習3 12 センサーによるデータの取得1 13 センサーによるデータの取得2 14 演習4 15 演習5 16 演習6 17 クラウドストレージにデータを保存する1 18 クラウドストレージにデータを保存する2 19 演習7 20 演習8 21 演習9 22 第1回効果測定 23 IoTとデータの可視化1 24 IoTとデータの可視化2 25 演習10 26 演習11 27 演習12 28 IoTとアクチュエーターの遠隔操作1 29 IoTとアクチュエーターの遠隔操作2 30 演習13 31 演習14 32 演習15 33 IoTとAI1 34 IoTとAI2 35 IoTとAI3 36 IoTとAI4 37 演習16 38 演習17 39 演習18 40 IoTとセキュリティ1 41 IoTとセキュリティ2 42 演習19 43 演習20 44 演習21 45 第2回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	クラウドコンピューティング
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義４０時間、実習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装
教科書	AWS Academy提供 テキスト
特記	

授業計画

1	オンプレミス環境の構築 基礎講義	24	Amazon DynamoDB
2	オンプレミス環境の構築 基礎実習1	25	DynamoDB環境構築実習
3	オンプレミス環境の構築 基礎実習2	26	Redshift/Aurora 概要
4	オンプレミス環境の構築 応用講義	27	高可用性DB 構築実習1
5	オンプレミス環境の構築 応用実習1	28	高可用性DB 構築実習2
6	オンプレミス環境の構築 応用実習2	29	Elastic Load Balancing (ELB)
7	オンプレミスとクラウドの比較	30	Amazon CloudWatch
8	クラウドコンピューティング概要	31	Auto Scaling
9	クラウドエコノミクス	32	負荷分散とScalingの実装実習1
10	AWSインフラストラクチャと主要なサービス	33	負荷分散とScalingの実装実習2
11	コンピューティングサービス	34	クラウドのセキュリティ
12	Amazon EC2 コンピューティング実習	35	I AMロールとポリシー
13	ストレージサービス:EBS	36	ベストプラクティスとコンプライアンス
14	EBS ストレージ構築・活用実習	37	AWSセキュリティ実装実習1
15	ストレージサービス:Amazon S3	38	AWSセキュリティ実装実習2
16	Amazon S3 ストレージ構築・活用実習	39	クラウドアーキテクチャの設計1
17	ストレージサービス: EFS・Glacier概要	40	クラウドアーキテクチャの設計2
18	AWS VPC概要	41	クラウドの請求とサポートサービス
19	AWS セキュリティグループ	42	総合実習1
20	VPC+Webサーバ構築実習	43	総合実習2
21	AWS Cloud Front概要	44	総合実習3
22	Amazon RDS	45	効果測定2
23	RDS環境構築実習		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	クラウドネイティブ開発
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義４０時間、実習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	AWS Lambdaを使用したクラウドネイティブシステムの基礎を実習する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	AWS Lambdaを通じてクラウドネイティブシステム構築の基礎を理解する
教科書	AWS Lambda実践ガイド
特記	
授業計画	1 Lambda で実現するサーバーレスシステム 2 サンプル用 Lambda 関数の仕様 3 Lambda の利用に必要なアクセス権 4 Lambda 関数の作成 5 Lambda 関数の実行 6 実習1 7 実習2 8 実習3 9 イベントの発生とLambda 関数 10 Lambda コンテナ 11 Lambda 関数の実行 12 Lambda 関数を呼び出すイベントソース 13 定期的に Lambda 関数を実行する例 14 実習4 15 実習5 16 実習6 17 S3 のイベント事例 18 S3 バケットの作成 19 バケットに対するイベント 20 ライブラリ込みの Lambda 関数の作成 21 実習7 22 実習8 23 実習9 24 第1回効果測定 25 API Gateway のイベント事例 26 API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる 27 API Gateway から実行される Lambda 関数を作る 28 DynamoDB の基本 29 Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする 30 署名付き URL を発行する 31 メールの送信 32 クロスオリジンの場合の注意点 33 実習10 34 実習11 35 実習12 36 実習13 37 SQS と SNS トピックのイベント事例 38 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理 39 S3 バケットとSQS を構成する 40 SQS からメッセージを取り出してメールを送信する 41 バウンスメールを処理する 42 実習14 43 実習15 44 実習16 45 第2回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	９０時間（講義４０時間、実習５０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図を完成させる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	卒業研究とは	24	ユースケースモデリングの実践
	2	業界研究1	25	ユースケースモデリング分析1
	3	業界研究2	26	ユースケースモデリング分析2
	4	業界研究3	27	ユースケースモデリング分析3
	5	企画立案1	28	ユースケースモデリング分析4
	6	企画立案2	29	ユースケースモデリング分析5
	7	企画立案3	30	ユースケースモデリング分析6
	8	企画立案4	31	ユースケースモデリング分析7
	9	企画立案5	32	ユースケースモデリング分析8
	10	企画立案6	33	ユースケースモデリング分析9
	11	企画書の作成1	34	ユースケースモデリング分析10
	12	企画書の作成2	35	ユースケースモデリング分析11
	13	企画書の作成3	36	ユースケースモデリング分析12
	14	企画書の作成4	37	ユースケースモデリング分析13
	15	中間発表準備1	38	ユースケースモデリング分析14
	16	中間発表準備2	39	要求レビューの理論
	17	中間発表準備3	40	要求レビューの実践
	18	中間発表1	41	要求レビュー1
	19	ドメインモデリングの理論	42	要求レビュー2
	20	ドメインモデリングの実践	43	要求レビュー3
	21	ドメインモデリング分析1	44	要求レビュー4
	22	ドメインモデリング分析2	45	要求レビュー5
	23	ユースケースモデリングの理論		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究開発Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義４０時間、実習５０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作成、シーケンス図の作成
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	ロバストネス図の完成
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	中間発表準備1	24	予備設計レビュー7
	2	中間発表準備2	25	予備設計レビュー8
	3	中間発表準備3	26	テクニカルアーキテクチャの理論
	4	中間発表準備4	27	テクニカルアーキテクチャの実践
	5	中間発表	28	シーケンス図作成の理論
	6	ロバストネス分析の理論	29	シーケンス図作成の実践
	7	ロバストネス分析の実践	30	シーケンス図作成1
	8	ロバストネス分析1	31	シーケンス図作成2
	9	ロバストネス分析2	32	シーケンス図作成3
	10	ロバストネス分析3	33	シーケンス図作成4
	11	ロバストネス分析4	34	シーケンス図作成5
	12	ロバストネス分析5	35	シーケンス図作成6
	13	ロバストネス分析6	36	シーケンス図作成7
	14	ロバストネス分析7	37	シーケンス図作成8
	15	ロバストネス分析8	38	シーケンス図作成9
	16	予備設計レビューの理論	39	シーケンス図作成10
	17	予備設計レビューの実践	40	シーケンス図作成11
	18	予備設計レビュー1	41	シーケンス図作成12
	19	予備設計レビュー2	42	シーケンス図作成13
	20	予備設計レビュー3	43	シーケンス図作成14
	21	予備設計レビュー4	44	シーケンス図作成15
	22	予備設計レビュー5	45	シーケンス図作成16
	23	予備設計レビュー6		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	９０時間（講義４０時間、実習５０時間）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図の作成、ソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	シーケンス図の作成			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	シーケンス図作成1	24	詳細設計レビュー6
	2	シーケンス図作成2	25	詳細設計レビュー7
	3	シーケンス図作成3	26	詳細設計レビュー8
	4	シーケンス図作成4	27	詳細設計レビュー9
	5	シーケンス図作成5	28	詳細設計レビュー10
	6	シーケンス図作成6	29	詳細設計からコードへ
	7	シーケンス図作成7	30	実装の実践
	8	シーケンス図作成8	31	プログラミング(開発)1
	9	シーケンス図作成9	32	プログラミング(開発)2
	10	シーケンス図作成10	33	プログラミング(開発)3
	11	シーケンス図作成11	34	プログラミング(開発)4
	12	シーケンス図作成12	35	プログラミング(開発)5
	13	シーケンス図作成13	36	プログラミング(開発)6
	14	シーケンス図作成14	37	プログラミング(開発)7
	15	シーケンス図作成15	38	プログラミング(開発)8
	16	シーケンス図作成16	39	プログラミング(開発)9
	17	詳細設計レビューの理論	40	プログラミング(開発)10
	18	詳細設計レビューの実践	41	プログラミング(開発)11
	19	詳細設計レビュー1	42	プログラミング(開発)12
	20	詳細設計レビュー2	43	プログラミング(開発)13
	21	詳細設計レビュー3	44	プログラミング(開発)14
	22	詳細設計レビュー4	45	プログラミング(開発)15
	23	詳細設計レビュー5		
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	１２０時間（講義４０時間、実習８０時間）			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ソースコードの作成（最終目標の５０％）			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	プログラミング(開発)1	31	プログラミング(開発)31
	2	プログラミング(開発)2	32	プログラミング(開発)32
	3	プログラミング(開発)3	33	プログラミング(開発)33
	4	プログラミング(開発)4	34	プログラミング(開発)34
	5	プログラミング(開発)5	35	プログラミング(開発)35
	6	プログラミング(開発)6	36	プログラミング(開発)36
	7	プログラミング(開発)7	37	プログラミング(開発)37
	8	プログラミング(開発)8	38	プログラミング(開発)38
	9	プログラミング(開発)9	39	プログラミング(開発)39
	10	プログラミング(開発)10	40	プログラミング(開発)40
	11	プログラミング(開発)11	41	プログラミング(開発)41
	12	プログラミング(開発)12	42	プログラミング(開発)42
	13	プログラミング(開発)13	43	プログラミング(開発)43
	14	プログラミング(開発)14	44	プログラミング(開発)44
	15	プログラミング(開発)15	45	プログラミング(開発)45
	16	プログラミング(開発)16	46	プログラミング(開発)46
	17	プログラミング(開発)17	47	プログラミング(開発)47
	18	プログラミング(開発)18	48	プログラミング(開発)48
	19	プログラミング(開発)19	49	プログラミング(開発)49
	20	プログラミング(開発)20	50	プログラミング(開発)50
	21	プログラミング(開発)21	51	プログラミング(開発)51
	22	プログラミング(開発)22	52	プログラミング(開発)52
	23	プログラミング(開発)23	53	プログラミング(開発)53
	24	プログラミング(開発)24	54	プログラミング(開発)54
	25	プログラミング(開発)25	55	プログラミング(開発)55
	26	プログラミング(開発)26	56	プログラミング(開発)56
	27	プログラミング(開発)27	57	プログラミング(開発)57
	28	プログラミング(開発)28	58	プログラミング(開発)58
	29	プログラミング(開発)29	59	プログラミング(開発)59
	30	プログラミング(開発)30	60	プログラミング(開発)60
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究開発Ｖ
実務家教員	○
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	１２０時間（講義４０時間、実習８０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	ソースコードの完成、テストの実践
教科書	テキスト及び参考書
特記	講師は現役でIT企業に勤めるITエンジニア。 実務者の観点からプログラミングコンテストに向け、システム開発、テストの実践、プレゼンテーションといった実践的知識・技術の習得を目的とした実習を行う。

授業計画				
	1	卒業研究発表会準備1	31	テストの実践4
	2	卒業研究発表会準備2	32	テストの実践5
	3	卒業研究発表会準備3	33	テストの実践6
	4	卒業研究発表会準備4	34	テストの実践7
	5	卒業研究発表会	35	テストの実践8
	6	プログラミング(開発)1	36	テストの実践9
	7	プログラミング(開発)2	37	テストの実践10
	8	プログラミング(開発)3	38	テストの実践11
	9	プログラミング(開発)4	39	テストの実践12
	10	プログラミング(開発)5	40	テストの実践13
	11	プログラミング(開発)6	41	テストの実践14
	12	プログラミング(開発)7	42	テストの実践15
	13	プログラミング(開発)8	43	テストの実践16
	14	プログラミング(開発)9	44	プログラミングコンテスト準備1
	15	プログラミング(開発)10	45	プログラミングコンテスト準備2
	16	プログラミング(開発)11	46	プログラミングコンテスト準備3
	17	プログラミング(開発)12	47	プログラミングコンテスト準備4
	18	プログラミング(開発)13	48	プログラミングコンテスト準備5
	19	プログラミング(開発)14	49	プログラミングコンテスト準備6
	20	プログラミング(開発)15	50	プログラミングコンテスト準備7
	21	プログラミング(開発)16	51	プログラミングコンテスト準備8
	22	プログラミング(開発)17	52	プログラミングコンテスト1
	23	プログラミング(開発)18	53	プログラミングコンテスト2
	24	プログラミング(開発)19	54	プログラミングコンテスト3
	25	プログラミング(開発)20	55	プログラミングコンテスト4
	26	設計駆動テストの理論	56	プログラミングコンテスト5
	27	設計駆動テストの実践	57	プログラミングコンテスト6
	28	テストの実施1	58	プログラミングコンテスト7
	29	テストの実施2	59	プログラミングコンテスト8
	30	テストの実施3	60	卒業研究振り返り

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価

備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	IT基礎知識Ｖ
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（講義１０時間、演習５０時間）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する
教科書	答案作成練習問題
特記	
授業計画	1 総合答案練習問題1 2 総合答案練習問題2 3 総合答案練習問題3 4 総合答案練習問題4 5 総合答案練習問題5 6 総合答案練習問題6 7 総合答案練習問題7 8 総合答案練習問題8 9 総合答案練習問題9 10 総合答案練習問題10 11 総合答案練習問題11 12 総合答案練習問題12 13 総合答案練習問題13 14 総合答案練習問題14 15 総合答案練習問題15 16 総合答案練習問題16 17 総合答案練習問題17 18 総合答案練習問題18 19 総合答案練習問題検証 20 総合答案練習問題検証 21 総合答案練習問題検証 22 直前答案練習問題1 23 直前答案練習問題2 24 直前答案練習問題3 25 直前答案練習問題4 26 直前答案練習問題5 27 直前答案練習問題6 28 直前答案練習問題検証 29 直前答案練習問題検証 30 直前答案練習問題検証
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Java
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	１２０時間（講義４０時間、実習８０時間）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門、Java８問題集
特記	

授業計画

1	はじめてのJava	31	抽象クラス1
2	変数を使う	32	抽象クラス2
3	制御構文・分岐1　if文1	33	インタフェース1
4	制御構文・分岐2　if文2	34	インタフェース2
5	制御構文・分岐3　switch文 キーワード・識別子・演算子	35	演習2
6	制御構文・繰り返し1　do-while文	36	文字と文字列1
7	制御構文・繰り返し2　while文	37	文字と文字列2
8	制御構文・繰り返し3　for文	38	例外処理1
9	制御構文・繰り返し4	39	例外処理2
10	基本型と演算	40	効果測定　Java3
11	配列1	41	総合演習　ようこそJavaの世界へ
12	配列2	42	総合演習　はじめてのJavaプログラム
13	配列3	43	総合演習　基本的なJavaプログラムの構造
14	演習1	44	総合演習　コンピュータで扱うデータ表現
15	効果測定　Java1	45	総合演習　変数／定数と型
16	メソッド1	46	総合演習　演算と演算子
17	メソッド2	47	総合演習　配列の宣言・生成1
18	メソッド3	48	総合演習　配列の宣言・生成2
19	クラスの基本1	49	総合演習　制御文1
20	クラスの基本2	50	総合演習　制御文2
21	日付クラスの作成1	51	総合演習　クラスとオブジェクト1
22	日付クラスの作成2	52	総合演習　クラスとオブジェクト2
23	クラス変数とクラスメソッド1	53	総合演習　クラスの関係を深める1
24	クラス変数とクラスメソッド2	54	総合演習　クラスの関係を深める2
25	クラス変数とクラスメソッド3	55	総合演習　クラスの継承1
26	パッケージ	56	総合演習　クラスの継承2
27	クラスの派生と多相性	57	総合演習　例外処理1
28	クラスの派生と多相性	58	総合演習　例外処理2
29	クラスの派生と多相性	59	まとめ
30	効果測定　Java2	60	効果測定　Java4

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	PHP
実務家教員	
学部・学科	経理本科学科２年制　税理士コース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	９０時間（講義３０時間、実習６０時間）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる
教科書	詳細！PHP７＋MySQL 入門ノート
特記	

授業計画				
	1	PHPの概要と準備	24	各種フォームの使用3
	2	変数	25	各種フォームの使用4
	3	演算子	26	セッションとクッキー1
	4	制御構造・分岐文	27	セッションとクッキー2
	5	制御構造・繰り返し文	28	セッションとクッキー3
	6	関数1	29	効果測定　PHP2
	7	関数2	30	ファイルの読み込みと書き出し1
	8	文字列操作1	31	ファイルの読み込みと書き出し2
	9	文字列操作2	32	ファイルの読み込みと書き出し3
	10	文字列操作3	33	phpMyAdminを使う1
	11	配列1	34	phpMyAdminを使う2
	12	配列2	35	MySQLを操作する1
	13	配列3	36	MySQLを操作する2
	14	効果測定　PHP1	37	MySQLを操作する3
	15	オブジェクト指向プログラミング1	38	MySQLを操作する4
	16	オブジェクト指向プログラミング2	39	総合演習1
	17	オブジェクト指向プログラミング3	40	総合演習2
	18	オブジェクト指向プログラミング4	41	総合演習3
	19	フォーム処理の基本1	42	総合演習4
	20	フォーム処理の基本2	43	総合演習5
	21	フォーム処理の基本3	44	総合演習6
	22	各種フォームの使用1	45	効果測定　PHP3
	23	各種フォームの使用2		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な技能を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	